

EOS M3

カメラユーザーガイド

- ご使用前に必ず本書および、本書の「安全上のご注意」(📖 14)をお読みください。
- 本書をよく読んで、正しくお使いください。
- 将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

日本語

お使いになる前に

最初にお読みください

カメラと付属品の確認

お使いになる前に、次のものが入っていることを確認してください。万が一、不足のものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。



カメラ
(ボディキャップ付き)



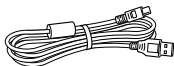
バッテリーパック
LP-E17
(保護カバー付き)



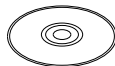
バッテリーチャージャー
LC-E17



ネックストラップ
EM-200DB





インターフェース
ケーブル
IFC-400PCU



ソフトウェア CD-ROM
(EOS DIGITAL
Solution Disk)

- 上記のほか印刷物一式が入っています。
- レンズキットのレンズについては、カメラが入っている箱もご確認ください。
- メモリーカードは付属されていません。

ソフトウェアとその使用説明書について

- CD に収納されているソフトウェアの概要、インストール方法については「ソフトウェアについて」（304）を参照してください。
- ソフトウェアの使用説明書は、下記の弊社 Web サイトからダウンロードしてください（305）。
<http://cweb.canon.jp/manual/eosd/soft.html>

レンズの使用説明書について

- レンズの使用説明書は、下記の弊社 Web サイトからダウンロードできます。
<http://cweb.canon.jp/manual/ef/index.html>

使えるカード（市販品）について

以下のカードが容量に制限なくお使いになれます。

- SD（エスディー）メモリーカード*¹
- SDHC（エスディーエイチシー）メモリーカード*¹*²
- SDXC（エスディーエックスシー）メモリーカード*¹*²



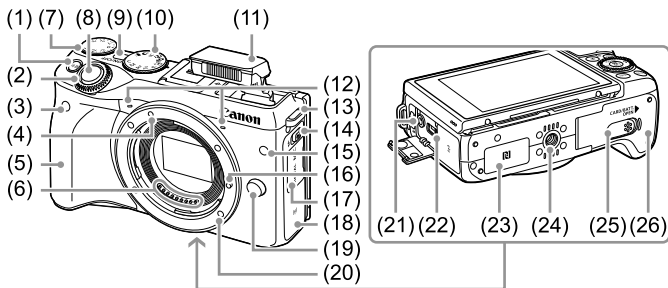
*1 SD 規格に準拠したカードです。カードによっては、正しく動作しないことがあります。


*2 UHS-I 対応のメモリーカードも使えます。

お使いになる前にお読みください

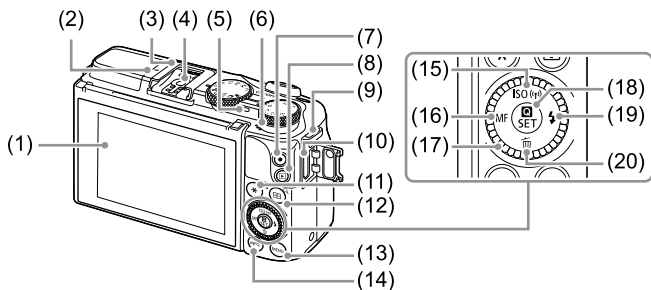
- 必ず事前に試し撮りをし、撮影後は画像を再生して画像が正常に記録されていることを確認してください。万が一、カメラやメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みができなかったときの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- このカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示会などには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限していることがありますのでご注意ください。
- このカメラの保証書は国内に限り有効です。万が一、海外旅行先で故障や不具合が生じたときは、帰国したあと、別紙の修理受付センターへご相談ください。
- 液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており 99.99% 以上の有効画素がありますが、画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。
- 液晶モニターに保護シートが貼られているときは、はがしてからご使用ください。
- このカメラは、長い時間お使いになっていると、カメラの温度が高くなる場合があります。これは故障ではありません。

各部の名称



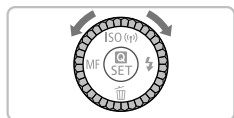
- | | |
|---|------------------------|
| (1) [M-Fn (マルチファンクション)]
ボタン | (20) レンズマウント |
| (2) 電子ダイヤル | (21) 外部マイク入力端子 |
| (3) リモコン受信部 | (22) デジタル端子 |
| (4) EF-M レンズ取り付け指標 | (23) N (N マーク)* |
| (5) グリップ | (24) 三脚ねじ穴 |
| (6) 接点 | (25) DC カプラー端子カバー |
| (7) 露出補正ダイヤル | (26) カード / 電池室ふた |
| (8) シャッターボタン | |
| (9) 電源ボタン | |
| (10) モードダイヤル | |
| (11) ストロボ | |
| (12) マイク | |
| (13) ストラップ取り付け部 | |
| (14) [ (ストロボポップアップ)] スイッチ | |
| (15) ランプ (前面) | |
| (16) レンズロックピン | |
| (17) 端子カバー | |
| (18) Wi-Fi 通信部 | |
| (19) レンズロック解除ボタン | |

* NFC 機能 ( 219) で使います。



- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| (1) 液晶モニター／タッチパネル | (12) [AF] (AF フレーム選択) / [Q] (拡大) ボタン |
| (2) 撮像面マーク | (13) [MENU] (メニュー) ボタン |
| (3) アクセサリーシュー | (14) [INFO.] (インフォメーション) ボタン |
| (4) シンクロ接点 | (15) [ISO] / [(Wi-Fi)] / 上ボタン |
| (5) ランプ (背面) | (16) [MF] (マニュアルフォーカス) / 左ボタン |
| (6) スピーカー | (17) コントローラーホイール |
| (7) 動画ボタン | (18) [Q] (クイック設定メニュー/設定) ボタン |
| (8) [再生] ボタン | (19) [ストロボ] / 右ボタン |
| (9) ストラップ取り付け部 | (20) [消去] / 下ボタン |
| (10) HDMI™ 端子 | |
| (11) [AE ロック] / [インデックス] ボタン | |

* 画面に保護シートを貼るとタッチ操作が感知されにくいことがあります。

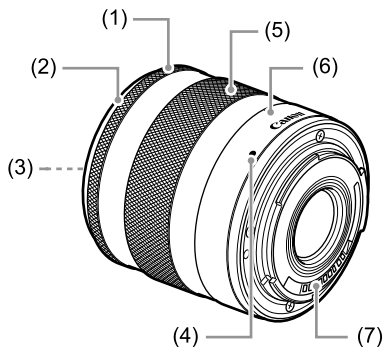


- コントローラーホイールを回すと、項目を選んだり画像の切り換えなどができます。また、一部の操作を除き、[▲]、[▼]、[◀]、[▶] と同じ操作ができます。

レンズ

EF-M レンズの例

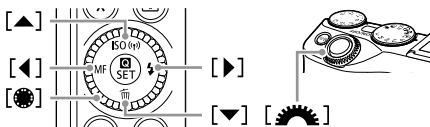
(フォーカスモードスイッチ、手ブレ補正スイッチが付いていないレンズ)



- (1) フォーカスリング
- (2) フード取り付け部
- (3) フィルター取り付けねじ部 (レンズ前面)
- (4) レンズ取り付け指標
- (5) ズームリング
- (6) ズーム指標
- (7) 接点

このガイドの記載について

- カメラのボタンやダイヤルは、ボタンやダイヤルに表記されている絵文字を使って示しています。
- 次の操作部材は、絵文字で示しています。



- 撮影モード、画面に表示される絵文字や文言は、[] つきで示しています。
- ①：知っておいていただきたい重要事項を示しています。
- 鉛筆：上手に使うためのヒントや補足事項を示しています。
- も：画面をタッチして操作する方法を示しています。
- 本 xx：参照ページを示しています。xx はページ数を示しています。
- すべての機能が初期状態になっていることを前提に説明しています。
- レンズやマウントアダプターは、レンズキットに入っているか別売かにかかわらず、「レンズ」「マウントアダプター」と記載しています。
- 本文中のイラストは、EF-M18-55mm F3.5-5.6 IS STM レンズを取り付けた状態で説明しています。
- このカメラで使えるメモリーカードのことを「カード」と表記しています。
- タイトルの下にある「▶ 静止画」「▶ 動画」は、その機能が静止画や動画を撮るときや見るときに使えるかを示しています。

目次

お使いになる前に

最初にお読みください	2
カメラと付属品の確認.....	2
使えるカード（市販品） について.....	3
お使いになる前にお読み ください.....	4
各部の名称.....	5
このガイドの記載について.....	8
やりたいこと目次.....	12
安全上のご注意.....	14

基本編

カメラの基本操作	19
準備する.....	20
使ってみる.....	33

活用編

1 カメラを知る	41
電源の入れかた／切りかた.....	42
シャッターボタンの押しかた.....	44
撮影モードの切り換えかた.....	45
液晶モニターの角度調整.....	46
撮影時の画面表示の 切り換えかた.....	48
クイック設定メニューの 表示と操作方法.....	49
MENU（メニュー）の表示と 操作方法.....	51
文字の入力方法.....	54
ランプの表示.....	58
2 オートモード / プラスムービー オートモード	59
カメラまかせで撮る.....	60

よく使う機能や便利な機能 を使う.....	70
自分好みの画像を撮るための 機能を使う.....	75
水準器を使う（デュアル アクシス電子水準器）.....	82
自分好みに機能を変える.....	83

3 いろいろな撮影モード.....85

好みの設定で撮る （クリエイティブアシスト）.....	86
いろいろなシーンで撮る.....	91
効果をつけて撮る （クリエイティブフィルター）.....	94
動画用のモードで動画を 撮る.....	104

4 Pモード.....109

プログラム AE で撮る （[P] モード）.....	110
撮影機能を一覧にして設 定する.....	111
明るさ（露出）に関する 機能を使う.....	112
色に関する機能を使う.....	119
ピント合わせに関する 機能を使う.....	128
ストロボに関する 機能を使う.....	138
撮影スタイルにあわせて 機能を変える.....	144

5 Tv、Av、M、Cモード...151

シャッタースピードを 決めて撮る（[Tv] モード）.....	152
絞り数値を決めて撮る （[Av] モード）.....	153
シャッタースピードと絞り数値を 決めて撮る（[M] モード）.....	155

長時間露光（バルブ）撮影.....	157	8 設定メニュー.....	263
ストロボ発光量を設定する.....	158	カメラの基本機能を変える.....	264
シャッタースピードと絞り		9 アクセサリー.....	281
数値を決めて動画を撮る.....	159	システムマップ.....	282
撮影スタイルにあわせて		別売アクセサリー.....	284
カメラをカスタマイズする.....	161	別売アクセサリーの	
6 再生モード.....	173	使いかた.....	289
見る.....	174	ソフトウェアを使う.....	304
画像を探したり、特定の画像		印刷する.....	309
だけを見る.....	182	10 付録.....	323
いろいろな方法で画像を		故障かな？と思ったら.....	324
見る.....	188	画面に表示される	
保護する.....	191	メッセージ一覧.....	331
消す.....	197	画面の表示内容一覧.....	335
回転する.....	201	機能／メニュー一覧.....	340
お気に入り設定をする		日ごろの取り扱いについて.....	364
（レーティング）.....	204	主な仕様.....	366
静止画を編集する.....	206	索引.....	382
動画を編集する.....	213	Wi-Fi（無線 LAN）	
7 Wi-Fi 機能.....	217	について.....	388
Wi-Fi ができること.....	218		
スマートフォンに画像を			
取り込む.....	219		
Web サービスを登録して			
画像を送る.....	234		
メディアプレーヤーで			
画像を閲覧する.....	241		
プリンターにつないで			
画像を印刷する.....	244		
別のカメラに画像を送る.....	247		
画像送信について.....	249		
画像を自動で送る			
（クラウドシンクロ）.....	252		
リモート撮影をする.....	255		
Wi-Fi の設定を編集 /			
消去する.....	257		



やりたいこと目次

📷 撮る




- カメラまかせで写真を撮りたい（オートモード、プラスムービーオートモード）
- 📖60、📖63
- 自分好みに効果をつけて撮りたい（クリエイティブアシスト）
- 📖86
- 背景をぼかした写真を撮りたい / 背景まで鮮明な写真を撮りたい（Avモード）
- 📖153
- 動きを止めた写真を撮りたい / 流動感のある写真を撮りたい（Tvモード）
- 📖152
- 効果をつけて撮影したい（クリエイティブフィルター）
- 📖94
- 連続して写真を撮りたい（連続撮影）
- 📖73
- ストロボ禁止の場所で撮りたい（ストロボ発光禁止）
- 📖61
- 自分も一緒に写りたい（セルフタイマー撮影）
- 📖70

▶ 見る

- 画像を見たい
- 📖174
- 自動再生で見たい（スライドショー）
- 📖190
- テレビで見たい
- 📖289
- パソコンで見たい
- 📖305

- 画像を素早く探したい
 -  182
- 画像を消したい
 -  197


動画を撮る／見る

- 動画を撮りたい
 -  60、 104
- 動画を見たい
 -  174




印刷する

- 写真を印刷したい
 -  309

残す

- ケーブルでつないで画像をパソコンに取り込みたい
 -  307

Wi-Fi 機能を使う

- スマートフォンに画像を送りたい
 -  219
- Web サービスで画像を共有したい
 -  234
- 画像をパソコンに送りたい
 -  252

安全上のご注意

- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、製品を正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
- 別売アクセサリーをお持ちのときは、付属の使用説明書もあわせて参照してください。



警告

死亡または重傷を負う可能性がある内容です。

- ストロボを人の目に近づけて発光しない。

視力障害の原因となります。特に、乳幼児を撮影するときは 1m 以上離れてください。

- お子様や幼児の手の届くところで保管しない。

ストラップを誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。電源コードを使用する製品では、電源コードを誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。

アクセサリーシューカバーを誤って飲み込むと危険です。万が一飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

- 指定外の電源は使わない。
- 分解、改造したり、加熱しない。
- 外装としてラベルが貼り付けられているバッテリーでは、ラベルをはがさない。
- 落とすなどして強い衝撃を与えない。
- 落下などで破損したときは、内部には触れない。
- 煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは使わない。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤で手入れしない。
- 液体で濡らしたり、内部に液体や異物を入れない。

感電、火災の原因となります。

液体で濡れたり、内部に液体や異物が入ったときは、バッテリーや電池を使用する製品では、それらを取り外し、家庭用電源を使用する製品では、コンセントから抜いてください。

- ファインダーがある製品でファインダーを通して、または交換式レンズを使う製品でレンズを通して、強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）を見ない。

視力障害の原因となることがあります。

- 交換式レンズを使う製品では、レンズを取り付けたカメラやレンズを日光のもとにレンズキャップを取り付けずに放置しない。火災の原因となることがあります。

- 家庭用電源を使用する製品では、雷が鳴り出したら製品に触れない。感電、火災の原因となります。すぐに使用をやめ、製品から離れてください。

- 指定外のバッテリーや電池は使わない。

- バッテリーや電池は火に近づけたり、火の中に投げ込まない。

バッテリーや電池が破裂や液漏れし、感電、けが、火災の原因となることがあります。漏れた電解液が、衣服、皮膚、目、口についたときは、ただちに洗い流してください。

- バッテリーチャージャーを使用する製品では、次のことに注意する。

- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったホコリや汚れを乾いた布で拭き取る。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない。また、電源プラグが傷んでいたり、差し込みが不十分なまま使わない。
- 電源プラグや端子に金属製のピンやゴミを付着させない。
- 電源コードを使用する製品では、電源コードに重いものをのせたり、傷つけたり、破損させたり、加工しない。

感電、火災の原因となります。

- カメラの使用が禁止されている場所では、カメラの電源を切る。カメラが発生する電磁波により、計器や機器に影響を与える恐れがあります。特に飛行機内や医療機関など、電子機器の使用が制限されている場所では十分注意してください。

- 長時間、身体と同じ部位に触れたまま使わない。熱いと感じなくても、皮膚が赤くなったり、水ぶくれができたりするなど、低温やけどの原因となることがあります。気温の高い場所で使うときや、血行の悪い方や皮膚感覚の弱い方などが使うときは、三脚などを使ってください。

- 付属の CD-ROM は、CD-ROM 対応ドライブ以外では絶対に再生しない。音楽用 CD プレーヤーで再生してヘッドフォンなどを使用したときは、大音量により聴力障害の原因となります。また、音楽用 CD プレーヤーで使用したときは、スピーカーなどの破損の原因となります。



注意

傷害を負う可能性がある内容です。

- ストラップで下げているときは、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えない。
- レンズを強く押したり、ぶつけたりしない。けがやカメラの故障の原因となることがあります。
- 液晶モニターに強い衝撃を与えない。液晶モニターが割れると、破片でけがをすることがあります。
- ストロボを指や布などで覆ったまま、発光させない。やけどや故障の原因となることがあります。

- 次の場所で使用・保管しない。
 - 直射日光のあたるところ
 - 40℃を超える高温になるところ
 - 湿気やホコリの多いところ

バッテリーや電池の液漏れ、発熱、破裂により、感電、やけど、けが、火災の原因となることがあります。

発熱、破損により、感電、やけど、けが、火災の原因となることがあります。

- 長時間画面を見ていると、不快感を感じるがありますのでご注意ください。
- 別売のオプションレンズ、レンズフィルター、フィルターアダプターを使用する製品では、確実に取り付ける。

緩んで脱落して割れると、ガラスの破片でけがをすることがあります。

- ストロボが自動昇降する製品では、ストロボが下がる時に指をはさまないようにする。

けがの原因となることがあります。

注意

物的損害を負う可能性がある内容です。

- カメラを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けない。

撮像素子やカメラの内部が損傷することがあります。

- 砂浜や風の強い場所で使用するときは、カメラの内部にホコリや砂が入らないようにする。
- ストロボが自動昇降する製品では、ストロボを押し込んだり、つまみ上げたりしない。

故障の原因となることがあります。

- ストロボに汚れやホコリなどの異物がついたときは、綿棒などで取り除く。

そのまま発光させると、発光熱により、付着物の発煙や故障の原因となることがあります。

- 使用しないときは、製品からバッテリーや電池を取り外して保管する。液漏れにより故障の原因となることがあります。

- バッテリーや電池を廃却するときは、接点にテープを貼るなどして絶縁する。

他の金属と接触すると、発火、破裂の原因となることがあります。

- バッテリーチャージャーを使用する製品では、使用しないときはコンセントから外す。また、布などをかけたまま使用しない。

長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となることがあります。

- 専用バッテリーを使用する製品では、ペットの近くにバッテリーを置かない。

バッテリーに噛みついたとき、バッテリーの液漏れ、発熱、破裂により、故障や火災の原因となることがあります。

- 複数の電池を使用する製品では、充電状態の異なる電池、購入時期の異なる電池を混ぜて使用しない。また、電池の「+」「-」端子を逆にして入れない。

故障の原因となることがあります。

- ズボンのポケットにカメラを入れたまま椅子などに座らない。

液晶モニターの破損の原因となります。

- かばんにカメラを入れるときは、硬いものが液晶モニターにあたらないようにする。また、液晶モニターが閉じられる製品では、液晶モニターを内側に向けて閉じる。

- ストラップにアクセサリーを付けない。

硬いものが液晶モニターにあたると破損の原因になります。



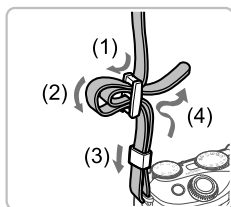
カメラの基本操作

準備から、撮影、再生までの説明や、各種の基本情報を掲載しています。

準備する

ここでは、撮影前の準備について説明します。

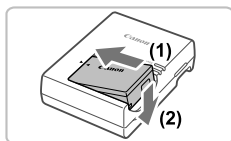
ストラップを取り付ける



- 付属のストラップを図のようにカメラに取り付けます。
- 反対側も同じようにして取り付けます。

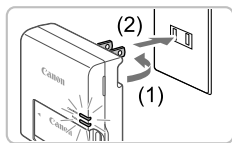
バッテリーを充電する

カメラに付属のバッテリーチャージャー（充電器）を使って、付属のバッテリーを充電します。お買い上げ時はバッテリーが充電されていないので、必ず充電してからお使いください。



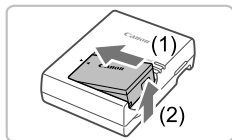
1 バッテリーを取り付ける

- バッテリーのカバーを外し、バッテリーとバッテリーチャージャーの▲をあわせて、(1)の方向へ押しながら、(2)の方向へ取り付けます。



2 充電する

- プラグを(1)の方向へおこして、(2)コンセントに差し込みます。
- 充電がはじまり、ランプがオレンジ色に点灯します。
- 充電が完了すると、ランプが緑色に点灯します。



3 バッテリーを取り外す

- バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、(1)の方向へ押しながら、(2)の方向へ取り外します。



- バッテリーチャージャーをコンセントから取り外したときは、約5秒間、バッテリーチャージャーのプラグに触れないようにしてください。
- バッテリーを保護し、性能の劣化を防ぐため、24時間以上連続して充電しないでください。
- バッテリーチャージャーに異常が発生すると、保護回路が働いて充電が中止され、ランプがオレンジ色に点滅します。そのときは、バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、バッテリーの取り外し/取り付けを行い、しばらく経ってからもう一度コンセントに差し込んでください。

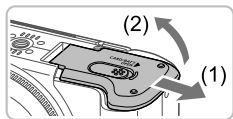


- 充電に必要な時間については「バッテリーチャージャー LC-E17」(📖380) を、フル充電したバッテリーで撮影できる枚数と時間については「電源」(📖376) を参照してください。
- 充電したバッテリーは、使わなくても自然放電によって少しずつ残量が減るため、充電は使う前日が当日にしてください。
- バッテリーのカバーを取り付けるときは、充電したバッテリーは▲が見えるように、充電前のバッテリーは▲が隠れるようにすると、充電状態を見分けることができます。
- バッテリーチャージャーは、AC100 - 240 V 50/60 Hz の地域で使えます。プラグの形状があわないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。

バッテリーとカードを入れる

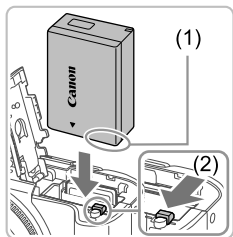
付属のバッテリーとカード（市販品）をカメラに入れます。

なお、新しく買ったカードや他のカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化（フォーマット）(📖265) することをおすすめします。



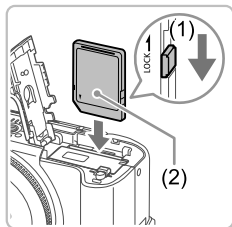
1 ふたを開ける

- (1) の方向にふたを動かして、(2) の方向へふたを開けます。



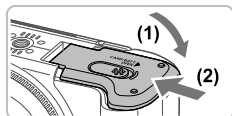
2 バッテリーを入れる

- バッテリーの端子部(1)を図の位置にして、バッテリーロックを(2)の方向へ動かしたまま、「カチッ」と音がしてロックされるまで入れます。
- 間違った向きでバッテリーを入れるとロックされません。必ずバッテリーがロックされる正しい向きで入れてください。



3 カードのスイッチを確認して、カードを入れる

- スイッチがあるカードでは、スイッチが「LOCK」側になっていると撮影できません。スイッチを(1)の方向に動かします。
- カードのラベル面(2)を図の向きにして、「カチッ」と音がするまで差し込みます。
- カードは、必ず正しい向きで入れてください。間違った向きで入れると、カメラの故障の原因となります。



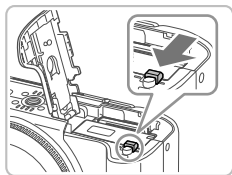
4 ふたを閉める

- ふたを(1)の方向にたおして押さえたまま、(2)の方向へ「カチッ」と音がするまで動かして閉めます。



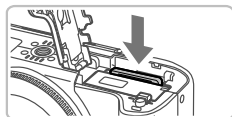
- 1枚のカードに撮影できる枚数や時間は、画面表示で確認できません (34)。

バッテリーとカードを取り出す



バッテリーを取り出す

- ふたを開け、バッテリーロックを矢印の方向に動かします。
- バッテリーが出てきます。

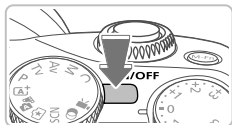


カードを取り出す

- 「カチッ」と音がするまでカードを押し込み、ゆっくり指を放します。
- カードが出てきます。

日付／時刻を設定する

電源を入れたときに「日付／時刻」画面が表示されたときは、現在の日時に正しく設定してください。ここで設定した情報は撮影する画像に記録され、撮影日による管理や、日付を入れて印刷するときなどに使用できます。



1 電源を入れる

- 電源ボタンを押します。
- 「日付／時刻」画面が表示されます。



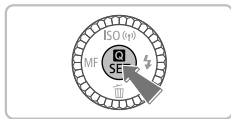
2 日付／時刻を設定する

- [◀] か [▶] を押して項目を選びます。
- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して設定します。
- すべての項目を設定したら、[●] を押します。



3 自宅のエリアを設定する

- [◀] か [▶] を押して自宅のあるエリアを選びます。



4 設定を終える

- **[SET]** を押すと設定されて、確認画面が表示されたあと、設定画面が消えます。
- 電源ボタンを押すと電源が切れます。



- 日付／時刻や自宅エリアを設定しないと、電源を入れるたびに [日付／時刻] 画面が表示されます。正しく設定してください。



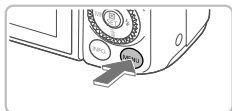
- 手順2で **[OFF]** を選び、**[▲]** か **[▼]** を押すか **[●]** ホイールを回して **[ON]** にすると、サマータイム(1時間プラスされます)に設定されます。



- 手順2の画面で、設定する項目をタッチして、**[▲]** か **[▼]** をタッチして設定したあと、**[SET]** をタッチすることでも日付／時刻を設定できます。また、手順3の画面で、**[◀]** か **[▶]** をタッチして設定したあと、**[SET]** をタッチすることでも自宅のエリアを設定できます。

日付／時刻を変える

日付／時刻を、現在の設定から変えられます。



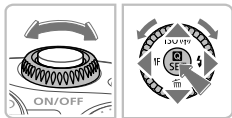
1 メニューを表示する

- [MENU] ボタンを押します。



2 [日付／時刻] を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [☀] ダイアルを回して、[2] タブを選びます。
- [▲] か [▼] を押すか [⦿] ホイールを回して [日付／時刻] を選び、[OK] を押します。



3 日付／時刻を変える

- 「日付／時刻を設定する」の手順2 (書24) の操作で設定します。
- [MENU] ボタンを押すと、メニュー画面が消えます。



- カメラには日付／時刻用電池（バックアップ電池）が内蔵されています。バッテリーを取り出してから約3週間は、設定した日付／時刻が保持されます。
- 日付／時刻用電池は、充電したバッテリーをカメラに入れるか、ACアダプターキット（別売）(書284) を使うと、カメラの電源を入れなくても約4時間で充電されます。
- 日付／時刻用電池がなくなると、カメラの電源を入れたときに [日付／時刻] 画面が表示されます。「日付／時刻を設定する」(書24) の操作で正しく設定してください。

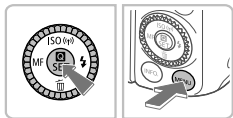
表示言語を選ぶ

画面に表示される言語を変えられます。



1 再生モードにする

- [▶] ボタンを押します。



2 設定画面を表示する

- [SE] を押したまま、[MENU] ボタンを押します。



3 言語を設定する

- [◀] か [▶] を押すか [OK] ホイールを回して言語を選び、[SE] を押します。
- 表示言語が設定され、設定画面が消えます。



- 言語設定は、[MENU] ボタンを押すと表示されるメニュー画面で、[2] タブの [言語 (9)] を選んで設定することもできます。



- 手順3で表示したい言語をタッチして選び、もう一度同じ言語をタッチすることでも設定できます。

レンズを取り付ける

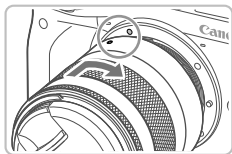
このカメラでは、EF-M レンズを使用できます。また、マウントアダプター EF-EOS M を使用すると、EF レンズ、EF-S レンズも使用できます (30)。

1 カメラの電源を切る



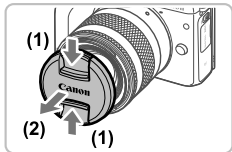
2 キャップを外す

- レンズのキャップとボディキャップを矢印の方向に回して外します。



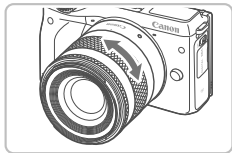
3 レンズを取り付ける

- レンズとカメラにある白い丸の取り付け指標を合わせ、レンズを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回します。



4 レンズキャップを外す

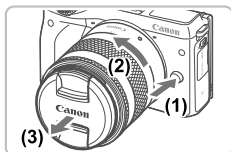
- ズーム操作は、レンズのズームリングを手で回します。
- ズーム操作は、ピント合わせの前に行います。ピントを合わせたあとでズーム操作を行うと、ピントがズれることがあります。





- レンズ保護のため、撮影しないときはレンズキャップを取り付けてください。

レンズを取り外す



- カメラの電源を切ります。
- レンズロック解除ボタン(1)を押しながら、レンズを(2)の方向に回します。
- 回転が止まるまで回してから、(3)の方向に取り外します。
- 取り外したレンズにキャップを取り付けます。



- ゴミやほこりについて、普段から以下のことに注意してください
 - レンズの交換は、ほこりの少ない場所で素早く行う
 - レンズを取り外してカメラを保管するときは、ボディキャップを必ずカメラに取り付ける
 - ボディキャップは、ゴミやほこりを落としてからカメラに取り付ける



- 撮影画面は、35mm判カメラの撮影画面より小さいため、取り付けたレンズの焦点距離(有効撮影画角)は、「表記焦点距離×約1.6倍」相当になります。例えば、焦点距離が18-55mmのレンズは、35mm判カメラ換算で焦点距離が約29-88mmになります。

レンズの使用説明書について

レンズの電子マニュアルは以下の URL からダウンロードすることができます。

<http://cweb.canon.jp/manual/ef/index.html>

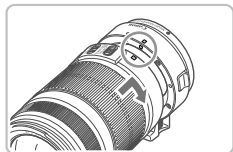
EF レンズ、EF-S レンズを取り付ける

マウントアダプター EF-EOS M を使用すると、EF レンズ、EF-S レンズも使用できます。

1 カメラの電源を切る

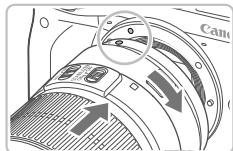
2 キャップを外す

- 「レンズを取り付ける」(P.28)の手順2の操作でキャップを外します。



3 アダプターにレンズを取り付ける

- EF レンズを取り付けるときは、レンズとアダプターにある赤い丸の取り付け指標を合わせ、レンズを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回します。
- EF-S レンズを取り付けるときは、レンズとアダプターの白い四角の取り付け指標を合わせ、レンズを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回します。



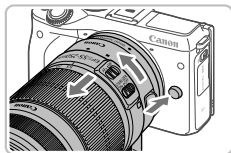
4 カメラにアダプターを取り付ける

- アダプターとカメラにある白い丸の取り付け指標を合わせ、レンズを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回します。



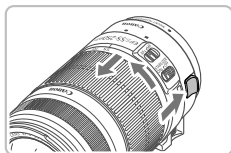
- カメラより重いレンズを使うときは、レンズ側を支えて、持ち運び・撮影をしてください。
- アダプターを使うため、レンズの最短撮影距離が長くなり、最大撮影倍率や撮影範囲が変わることがあります。
- 自動ピント合わせのときに、レンズの先端（フォーカスリング）が動くレンズは、動いている部分に触れないでください。
- 一部の超望遠レンズのフォーカスプリセット機能は使えません。また、パワーズーム EF35-80mm F4-5.6 POWERZOOM を取り付けてもパワーズームは動作しません。

レンズを取り外す



1 アダプターを取り外す

- カメラの電源を切ります。
- レンズロック解除ボタンを押しながら、レンズを取り付けたままのアダプターを矢印の方向に回します。
- 回転が止まるまで回してから、取り外します。

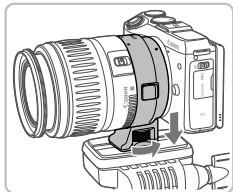


2 レンズを取り外す

- アダプターの取り外しレバーをスライドしながらレンズを反時計回りに回します。
- 回転が止まるまで回してから、取り外します。
- 取り外したレンズにキャップを取り付けます。

三脚を使う

三脚を使うときは、カメラの三脚ねじ穴は使わず、アダプターに付属の三脚座を使ってください。



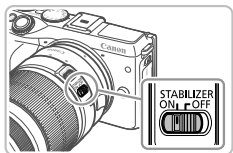
- 三脚座をアダプターに取り付けます。つまみでしっかり締め付けてください。
- 三脚座のねじ穴に三脚を取り付けます。



- 超望遠レンズなど、三脚座が付いた EF レンズを使うときは、レンズの三脚座に三脚を取り付けてください。

手ブレ補正を使う

手ブレ補正機能のあるレンズを取り付けると、撮影するときのわずかなカメラの動き（手の揺れ）を補正できます。なお、手ブレ補正機能のあるレンズの名称には「IS」が付いています。



- レンズの手ブレ補正スイッチを [ON] にします。

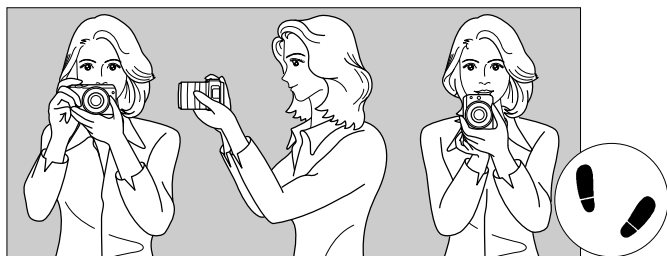
使ってみる

▶ 静止画 ▶ 動画

ここでは、電源を入れてから静止画や動画を撮影し、その画像を見るまでの手順について説明しています。

カメラの構え方

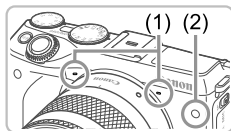
手ブレのない鮮明な画像を撮るために、カメラが動かないようにしっかり構えて撮影します。



横位置

縦位置

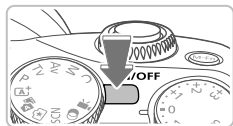
- (1) 右手でグリップを包むようにしっかりと握ります。
- (2) 左手でレンズを下から支えるように持ちます。
- (3) 右手人差し指の腹をシャッターボタンに軽くのせます。
- (4) 脇をしっかり締め、両ひじを軽く体の前に付けます。
- (5) 片足を軽く踏み出して、体を安定させます。



- 動画撮影時には、マイク (1) をふさがないようにしてください。
- 暗いところでシャッターボタンを半押ししたときに、ピントを合わせやすくするためランプ (前面) (2) が光ることがありますので、光をさえぎらないようにしてください。

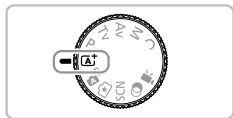
撮る (シーンインテリジェントオート)

カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。



1 電源を入れる

- 電源ボタンを押します。



2 [A+] モードにする

- モードダイヤルを [A+] にします。
- 画面の左上にカメラが判別したシーンのアイコン (1) が表示されます。
- 画面の上部には、カードに記録できる枚数 (2)、動画の撮影時間 (3) が表示されます。
- 人の顔や被写体が検出されると、枠が表示されてピントを合わせます。



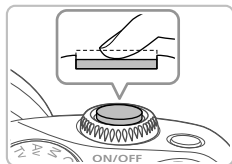
3 撮りたいものの大きさを決める

- ズームできるレンズでは、レンズのズームリングを手で回します。

4 撮影する

静止画を撮る

1) ピントを合わせる

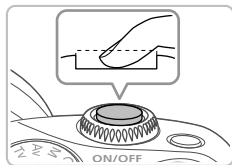


- シャッターボタンを浅く押して、ピントが合うと電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ピントが合った位置にAFフレームが表示されます。



- [⚡] アイコンが点滅したときは、[⚡]スイッチを動かして、ストロボを上げてください。撮影時にストロボが光ります。ストロボを指で押し下げて収納すると、ストロボは光りません。

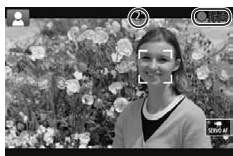
2) 撮影する



- シャッターボタンを深く押し込むと撮影されます（暗いところでストロボを上げているときは、自動的にストロボが光ります）。
- 撮影した画像が約2秒間表示されます。
- 画像が表示されている状態でも、シャッターボタンを押すと次の撮影ができます。

動画を撮る

1) 撮影をはじめる



- 動画ボタンを押すと、撮影が始まり、**【● 録画】**と撮影時間が表示されます。
- 画面上下に黒い帯が表示されます。なお、黒い帯の部分は撮影できません。
- 人の顔が検出されているときは、枠が表示されてピントを合わせます。
- 撮影が始まったら動画ボタンから指を放します。

2) 撮影を終える



- もう一度動画ボタンを押すと撮影が終わります。



- シャッターボタンを浅く押してピントが合わないときは、オレンジ色の AF フレームと **【!** が表示され、シャッターボタンを深く押し込んでも撮影できません。
- ダイナミック IS (145) に対応したレンズを取り付けているときは、動画撮影を開始すると画面に表示される範囲が変わり被写体が大きくなります。

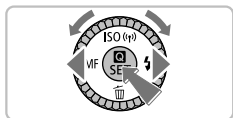
見る

撮影した画像を画面で見ることができます。



1 再生モードにする

- [▶] ボタンを押します。
- 最後に撮影した画像が表示されます。

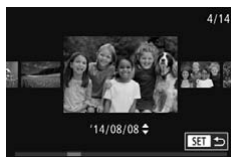


2 画像を選ぶ

- [◀] を押すか [●] ホイールを反時計方向に回すと前の画像が表示され、[▶] を押すか [●] ホイールを時計方向に回すと次の画像が表示されます。
- [◀] か [▶] を押したままにすると、画像が速く切り換わります。



- [●] ホイールを速く回すとこの画面が表示されます（スクロール再生）。この状態で [●] ホイールを回して画像を選びます。
- [●] を押すと 1 枚表示に戻ります。



- 動画では、[SET▶] が表示されます。動画を再生するときには手順 3 に進みます。





3 動画を再生する

- [⏪] を押したあと、[▲] か [▼] を押して [▶] を選び、もう一度 [⏪] を押します。
- 動画が再生され、再生が終わると [SET ▶] が表示されます。
- 音量は再生中に [▲] か [▼] を押して調節します。



- 再生モードの状態です「シャッターボタンを半押し (44) する」、「[▶] ボタンを押す」、「モードダイヤルを回す」のどれかの操作で撮影モードになります。



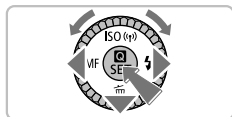
- [▶] をタッチすることでも動画を再生できます。また、再生中に画面を上下方向に素早くドラッグすると音量を調節できます。

消す

不要な画像を 1 枚ずつ選んで消せます。消した画像はもとに戻すことはできません。十分に確認してから消してください。

1 消したい画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して画像を選びます。



2 消す

- [▼] を押します。
- [消去しますか?] が表示されたら、[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [消去] を選び、[●] を押します。
- 表示していた画像が消えます。
- 中止するときには、[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [キャンセル] を選び、[●] を押します。



- 画像をまとめて消すこともできます (197)。

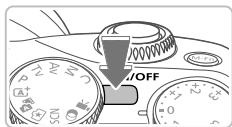


- 手順 2 の画面で [消去] をタッチすることでも表示していた画像を消すことができます。

カメラを知る

カメラの基本操作をはじめ各種の撮影や再生の他、カメラを活用するための情報などを内容ごとに章分けして説明しています。

電源の入れかた／切りかた



撮影モード

- 電源ボタンを押すと電源が入り、撮影できます。
- 電源ボタンをもう一度押すと、電源が切れます。



再生モード

- [▶] ボタンを押すと電源が入り、撮影した画像を見ることができます。
- [▶] ボタンをもう一度押すと、撮影モードになります。
- 電源ボタンを押すと、電源が切れます。




- EF-M レンズを取り付けていると、電源が切れているときは、カメラ内部保護のため、絞りを絞り込んでカメラ内部に光が入りにくいようになっています。そのため、電源を入り切りしたときに絞りが動く小さな音がします。
- 電源を入り切りしたときに、撮像素子の自動清掃が行われます（小さな音が鳴ることがあります）。また、電源が切れたときは、清掃中に液晶モニターに [.] が表示されます。なお、電源の入り切りを短い時間で繰り返すと、[.] が表示されないことがあります。
- 再生モードの状態です「シャッターボタンを半押し (44) する」、「[▶] ボタンを押す」、「モードダイヤルを回す」のどれかの操作で撮影モードになります。

節電機能（オートパワーオフ）

バッテリーの消費を防ぐため、カメラを操作しない状態で一定の時間がたつと、自動的に画面を消したり（ディスプレイオフ）、電源を切ったりする機能です。




撮影モードでの節電機能

約 1 分間カメラを操作しないと画面が消え、さらに約 2 分たつと電源が切れます。画面が消えた状態でもランプ（背面）が点灯しているときは、シャッターボタンを半押し（ 44）すると画面が表示され、撮影できます。

再生モードでの節電機能

約 5 分間カメラを操作しないと、電源が切れます。

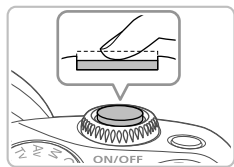


- 節電機能を切ったり、画面が消えるまでの時間を変えたりすることができます（ 269）。
- Wi-Fi でほかの機器と接続しているとき（ 217）、パソコンとつないでいるとき（ 307）は、節電機能は働きません。

シャッターボタンの押しかた

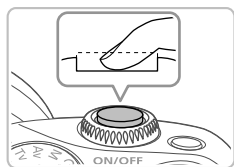
意図した被写体にピントが合った画像を撮るために、シャッターボタンを浅く押す「半押し」をしてピントを合わせてから、そのまま深く押す「全押し」をして撮影します。

なお、シャッターボタンの操作に関する記載は以降「半押し」、「全押し」と表記しています。



1 半押し（浅く押してピントを合わせる）

- 電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ピントが合った位置に枠が表示されるまで、浅く押します。



2 全押し（そのまま深く押して撮影する）

- 撮影されます。

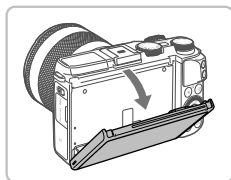


- シャッターボタンを半押ししないで撮影すると、意図した被写体にピントが合わない画像になることがあります。

液晶モニターの角度調整

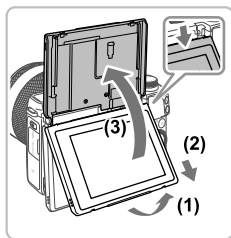
撮影シーンや目的に応じて、液晶モニターの向きや角度を調整することができます。

下向きに開く

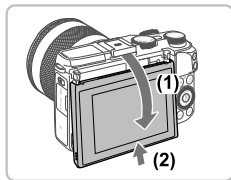


- 液晶モニターの上部を手前に引き下げます。
- 約 45° まで開くことができます。

上向きに開く



- 液晶モニターの下をカチッと音がするまで手前に引き (1)、下にスライドしたあと (2) 上まで持ち上げます (3)。
- 約 180° まで開くことができます。
- 撮影モードで液晶モニターを開き、画面をレンズ側に向けると、画像が鏡像 (左右反転) で表示されます。



- 使い終わったら液晶モニターを下げ (1)、上にスライドさせて (2) からカチッと音がするまで動かして閉じます。



- カメラを使わないときは、閉じた状態で保管してください。
- 液晶モニターは、故障の原因となるため無理に広げないでください。



- MENU (📖51) の [📷1] タブの [鏡像表示] で [切] を選ぶと、鏡像表示されません。

撮影時の画面表示の切り換えかた

[INFO.] ボタンを押すと、撮影情報、グリッドラインや水準器の表示 / 非表示が切り替わります。

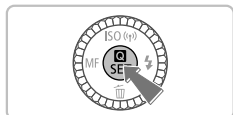
[📷 1] タブの [撮影情報表示設定] で、より詳しく表示内容を設定することができます (📖 161)。



- 暗い場所では、自動的に画面が明るくなって構図を確認しやすくなります (ナイトビュー機能)。ただし、撮影される画像の明るさとは異なるほか、粗い感じ、またはややぎこちない表示になることがあります (記録される画像に影響はありません)。
- 再生時の画面表示については、「表示を切り換える」(📖 178) を参照してください。

クイック設定メニューの表示と操作方法

よく使う機能は、**Q**（クイック設定）メニューで設定できます。
なお、表示されるメニュー項目や項目は、選んでいる撮影モード（[344](#)）や再生モード（[362](#)）によって変わります。



1 Qメニューのメニュー項目を表示する

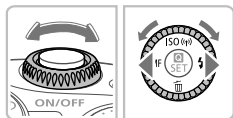
- **[Q]** を押します。



2 メニュー項目を選ぶ

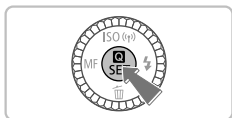
- **[▲]** か **[▼]** を押してメニュー項目 (1) を選びます。
- 選んだメニュー項目の項目 (2) が、画面の下部に表示されます。

(1) (2)



3 項目を選ぶ

- **[◀]** か **[▶]** を押すか **[●]** ホイールか **[☀]** ダイアルを回して項目を選びます。
- **[INFO]** が表示される項目では、**[INFO]** ボタンを押して設定することができます。



4 設定を終える

- **[SE]** を押します。
- 手順 1 で **[SE]** を押す前の画面に戻り、設定した項目が画面に表示されます。



- 設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます (P279)。
- メニュー項目で **[↶]** を選んで **[SE]** を押すことでも設定を終えることができます。

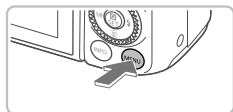
画面をタッチして設定する



- 画面右上の **[Q]** をタッチしてクイック設定メニューを表示します。
- メニュー項目、項目の順にタッチして設定します。
- メニュー項目の **[↶]** をタッチするか、選択中の項目をもう一度タッチすると元の画面に戻ります。
- **[INFO]** が表示される項目では、**[INFO]** をタッチして画面を切り換えることができます。

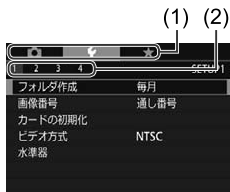
MENU (メニュー) の表示と操作方法

カメラの各種機能をメニューで設定できます。



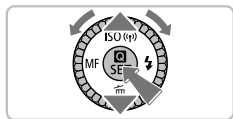
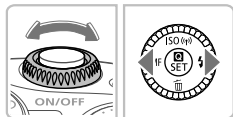
1 メニューを表示する

- [MENU] ボタンを押します。



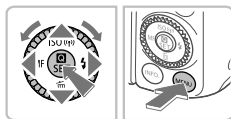
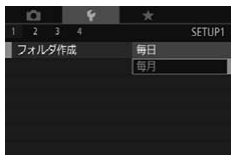
2 タブを選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [☀] ダイアルを回して、タブを選びます。
- タブには、撮影 [📷]、再生 [▶]、設定 [⚙] などの系統タブ (1) と、系統ごとのページタブ (2) があります。なお、本文中では、系統タブとページタブをつなげて「[⚙ 1] タブ」のように表記しています。



3 項目を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して項目を選び [Ⓢ] を押します。
- 内容が表示されていない項目では、[Ⓢ] を押して画面を切り換えたあと、さらに [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して項目を選びます。
- [MENU] ボタンを押すと切り換える前の画面に戻ります。



4 内容を選ぶ

- 内容が縦に並んでいる項目では [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して内容を選びます。
- 内容が横に並んでいる項目では [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して内容を選びます。

5 設定を終える

- [⏪] を押すと設定されて項目を選ぶ画面に戻ります。
- [MENU] ボタンを押すと、手順 1 で [MENU] ボタンを押す前の画面に戻ります。



- 設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます (📖279)。
- 表示される項目は、選んでいる撮影モードや再生モード (📖348 ~ 📖362) によって変わります。

画面をタッチして操作する

- **[MENU]** ボタンを押してメニューを表示したあと、系統タブ、ページタブの順にタッチして、タブを選びます。
- 項目をタッチして選び、もう一度タッチします。
- 内容をタッチすると設定されて項目を選ぶ画面に戻ります。
- 内容が表示されていない項目では、項目をタッチして画面を切り換えて設定します。**[MENU↶]** をタッチすると、切り換える前の画面に戻ります。
- チェックボックスや文字の入力欄をタッチして選んだり、キーボードをタッチして文字を入力することもできます。
- **[INFO.]** や **[MENU]** の表示をタッチすると、**[INFO.]** ボタンや **[MENU]** ボタンと同じ操作ができます。
- メニュー表示を消すには、もう一度 **[MENU]** ボタンを押します。

文字の入力方法

Wi-Fi 機能 (📖 217) などでは文字を入力するときは、キーボード画面を使います。入力できる文字数や文字の種類は、機能によって異なります。

(1) 文字を入力する



- 文字が表示されているキーを何回かタッチして目的の文字を入力します。
- [確定] をタッチして文字を確定します。
- 入力できる文字数 (1) は機能によって異なります。

入力位置を移動する

- [←] か [→] をタッチします。

改行する

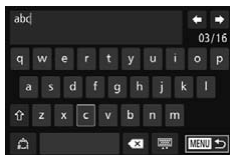
- [↵] をタッチします。

文字の種類を変える

- [ABC] [123] [# \$ %] をタッチします。
- 文字の種類は機能によって異なります。

文字を消す

- [✕] をタッチすると、前の 1 文字が消去されます。



キーボードの種類を変える

- [📄] をタッチするとこの画面が表示されます。
- 文字をタッチして入力します。
- この画面で [🔢] をタッチすると、数字や記号など文字の種類を切り換えることができます。
- [↑] をタッチすると、大文字を入力できます。

もとの画面に戻る

- [MENU↩] をタッチします。



- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して文字やアイコンを選び、[👉] を押して操作することもできます。また、[🔧] ダイアルを回して文字を入力する位置を移動することもできます。元の画面に戻るときは [MENU] ボタンを押します。

漢字やひらがなを入力する

Wi-Fi 機能のコメント入力 (📖 251) にはひらがなや漢字も使うことができます。



文字の種類を変える

- [あいう] をタッチします。

文字を入力する

- 文字が表示されているキーを何回かタッチして目的の文字を入力します。

文字を変換する

- [変換] をタッチします。

文字を確定する

- [確定] をタッチします。

文字入力の設定を変える

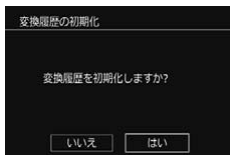
文字入力に関する設定を変えることができます。

半角スペースを使う



- [MENU] ボタンを押して、[F2] タブの [日本語入力設定] を選び、[F9] を押します (書51)。
- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [スペースの設定] を選び [F9] を押して表示された画面で、[▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [常に半角を使う] を選んで [F9] を押します。

変換履歴を初期化する



- [MENU] ボタンを押して、[F2] タブの [日本語入力設定] を選び、[F9] を押します (書51)。
- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [変換履歴の初期化] を選び [F9] を押して表示された画面で、[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [はい] を選び [F9] を押します。

ランプの表示

カメラ背面のランプ (📖6) は、カメラの状態に連動して、点灯／点滅状態が変わります。

色	状態	操作状態
緑	点灯	パソコン接続時 (📖307)、画面消灯時 (ディスプレイオフ) (📖42、📖268、📖269)
	点滅	起動中、カードへの記録／読み出し中、各種通信中、長秒時の撮影中 (📖152、📖155)、Wi-Fi 接続中／データ送受信中



- ランプ (背面) が緑色に点滅しているときは、「電源を切る」、「カード／バッテリー収納部のふたを開ける」、「振動や衝撃を与える」ことは絶対にしないでください。画像が壊れて表示できなくなったり、カメラやカードが故障する原因になります。

2

オートモード / プラスムービーオートモード

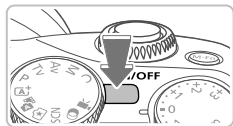
かんたん操作で手軽に撮ったり、いろいろな機能を使ってもう少しこだわった画像を撮る

カメラまかせで撮る

カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。

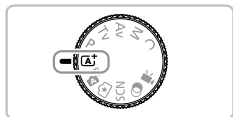
オートモードで撮る (シーンインテリジェントオート)

▶ 静止画 ▶ 動画



1 電源を入れる

- 電源ボタンを押します。



2 [A+] モードにする

- モードダイヤルを [A+] にします。
- 画面の左上にカメラが判別したシーンのアイコンが表示されます (P67)。
- 人の顔や被写体が検出されると、枠が表示されてピントを合わせます。



3 撮りたいものの大きさを決める

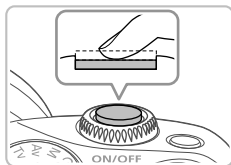
- ズームできるレンズでは、レンズのズームリングを手で回します。



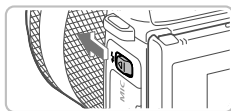
4 撮影する

静止画を撮る

1) ピントを合わせる

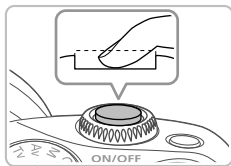


- シャッターボタンを半押しして、ピントが合うと電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ピントが合った位置に AF フレームが表示されます。



- [AF-ON] アイコンが点滅したときは、[AF-L] スイッチを動かして、ストロボを上げてください。撮影時にストロボが光ります。ストロボを指で押し下げて収納すると、ストロボは光りません。

2) 撮影する



- シャッターボタンを全押しすると撮影されます（暗いところでストロボを上げているときは、自動的にストロボが光ります）。
- 撮影した画像が約 2 秒間表示されます。
- 画像が表示されている状態でも、シャッターボタンを押すと次の撮影ができます。



動画を撮る

1) 撮影をはじめる

- 動画ボタンを押すと撮影が始まり、**【●録画】**と撮影時間が表示されます。
- 画面上下に黒い帯が表示されます。なお、黒い帯の部分は撮影されません。
- 人の顔が検出されているときは、枠が表示されてピントを合わせます。
- 撮影が始まったら動画ボタンから指を放します。

2) 撮りたいものの大きさを変えたり、構図を変える

- 撮りたいものの大きさを変えるときは手順3と同じ操作で変えます。ただし、操作音は録音されます。
- 撮影中に構図を変えると、ピント位置、明るさ、色あいが自動的に調整されます。



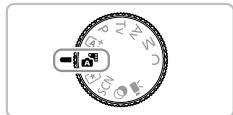
3) 撮影を終える

- もう一度動画ボタンを押すと、撮影が終わります。
- カード容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終わります。

プラスムービーオートモードで撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

静止画を撮影するだけで、静止画が記録されると同時に撮影直前の約2～4秒のシーンも動画として記録され、1日をまとめた短編動画（ダイジェスト動画）ができます。



1 【A+】モードにする

- 「オートモードで撮る（シーンインテリジェントオート）」の手順2（[📖60](#)）の操作で【A+】を選びます。



2 構図を決める

- 「オートモードで撮る（シーンインテリジェントオート）」の手順3～4（[📖60](#)）の操作で構図を決めてピントを合わせます。
- 静止画を撮影する約4秒前からカメラを被写体に向けておくと、ダイジェスト動画もきれいに撮影できます。

3 撮影する

- 「オートモードで撮る（シーンインテリジェントオート）」の手順4（[📖61](#)）の操作で静止画を撮影します。
- 静止画と動画が記録されます。動画の1シーンの最後に撮影した静止画がシャッター音と一緒に動画の一部としても記録され、1つのチャプターになります。



- 静止画と一緒にダイジェスト動画が撮影されるため、**[A+]** モードよりバッテリーの消耗が早くなります。
- 電源を入れたり **[A+]** モードを選ぶなど、カメラを操作した直後に静止画を撮影したときは、ダイジェスト動画が記録されないことがあります。
- ダイジェスト動画には、カメラやレンズを操作したときの音と振動が記録されます。



- ダイジェスト動画の画質は、**[HD 29.97P]** (NTSC 時) または **[HD 25.00P]** (PAL 時) です。ビデオ方式 (📖266) の設定によって異なります。
- シャッターボタンを半押ししたときやセルフタイマーなどの電子音は鳴りません。
- 次のときは、同じ日に **[A+]** モードで作成されたダイジェスト動画でも、別ファイルとして保存されます。
 - ダイジェスト動画の容量が約 4 GB になるか、記録時間が約 13 分 20 秒になったとき
 - ダイジェスト動画を保護したとき (📖191)
 - サマータイムの設定 (📖24)、ビデオ方式 (📖266)、エリア設定 (📖271)、著作権の情報 (📖277) を変えたとき
 - フォルダが新しく作成されたとき (📖264)
- 記録されるシャッター音は、変えたり消すことはできません。
- 事前に設定すると、静止画なしのダイジェスト動画にすることもできます。MENU (📖51) で **[📷 4]** タブの **[ダイジェスト形式]** を選び、**[静止画なし]** を選んでください (📖51)。
- チャプターを使って編集することもできます (📖216)。

ダイジェスト動画の再生について

[A+] モードで撮影した静止画を表示して同じ日に作成されたダイジェスト動画を再生したり、日付を選んで再生することができます (📖180)。

静止画／動画



- [MENU] ボタンを押したまま電源を入ると音が鳴らなくなります。音が鳴るようにするには、[MENU] ボタンを押して、[F3] タブの [電子音] を選び、[▲] か [▼] を押して [入] を選びます。

静止画



- シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、オレンジ色の AF フレームと [!] が表示され、全押ししても撮影できません。
- 人や被写体が検出されないときや、暗い被写体、明暗差（コントラスト）のない被写体、非常に明るいシーンでは、ピントが合うまでに時間がかかったり、適切なピント合わせができないことがあります。
- [G] が点滅表示したときは手ブレしやすいため、カメラが動かないように三脚などでカメラを固定してください。
- ストロボが光ったのに暗い画像になるときは、被写体までの距離が遠すぎます。ストロボ撮影できる範囲については、「内蔵ストロボで撮影できる距離の目安」(P379) を参照してください。
- 暗いところでシャッターボタンを半押しすると、ピント合わせのためや人の目が赤く写るのを緩和するため、ランプ（前面）が点灯することがあります。
- ストロボが発光したときに、お使いのレンズによっては画像の一部や周辺部が暗くなることがあります。
- 撮影しようとしたときに [F] が点滅表示したときは、ストロボ充電のため撮影できません。充電が終わると撮影できますので、シャッターボタンを全押ししたまま待つか、一度シャッターボタンを放してもう一度押ししてください。
- 撮影画面に戻る前でも次の撮影はできますが、ピント、明るさ、色あいは、直前の撮影に固定されることがあります。

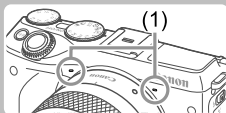


- 撮影直後、記録された画像が表示されるまでの表示では、画面周辺が暗く見えます。
- 撮影直後に画像が表示される時間を変えることができます (84)。

動画



- 長時間の動画撮影を繰り返し行くと、カメラの温度が高くなる場合がありますが故障ではありません。
- 動画撮影するときは、マイク (1) をふさがないように注意してください。マイクをふさぐと音声録音されなかったり、こもった音声で録音されることがあります。



- 動画撮影中に動画ボタンや画面のタッチ以外を操作すると、操作音が録音されるので、注意してください。撮影中の設定変更などはタッチ操作で行うことをお勧めします。
- レンズやカメラの動作音も録音されます。外部マイク (別売) (302) を使うと軽減することがあります。
- ダイナミック IS (145) に対応したレンズを取り付けているときは、大きな手ブレを補正するため、撮影をはじめると、画面に表示される範囲が変わり被写体が大きくなります。撮影前と同じ大きさで撮影したいときは、手ブレ補正の設定を変えてください (144)。



- 音声はステレオで録音されます。
- 動画撮影中、ピント位置が自動的に調整されるため、レンズの動作音も録音されることがあります。録音されるレンズの動作音は、外部マイク（別売）を使うと軽減されることがあります。なお、音声を録音しないときは、MENU (📄51) で [📷5] タブの [録音] を選び、[しない] を選んでください。
- MENU (📄51) で [📷5] タブの [動画サーボ AF] で [しない] を選ぶと、動画撮影中、ピント位置を固定できます。
- 1 回の撮影で容量が 4GB を超える動画はファイルが分割されます。容量が 4GB になる約 30 秒前から、撮影画面に表示されている撮影時間が点滅します。そのまま撮影を続けて容量が 4GB を超えると、新しい動画ファイルが自動的に作成され、撮影時間は点灯表示に戻ります。なお、分割された動画を自動で連続再生することはできません。動画ごとに再生してください。

シーンのアイコン

▶ 静止画 ▶ 動画

[A+] [A+] モードでは、カメラが判別したシーンを示すアイコンが表示され、ピント合わせや被写体の明るさ、色あいが最適になるよう自動設定されます。

背景	被写体：人		背景色
	人	動いているとき	
明るい			灰色
明るい (逆光)			
青空を含む			水色
青空を含む (逆光)			
スポットライト		—	紺色
暗い		—	
暗い (三脚を使用しているとき)		—	

背景	被写体：人以外			背景色
	人以外	動いているとき	近いとき	
明るい				灰色
明るい（逆光）				
青空を含む				水色
青空を含む（逆光）				
夕景		—	—	オレンジ色
スポットライト		—		紺色
暗い				
暗い（三脚を使用しているとき）		—	—	

- セルフタイマー（ 70）設定時、 モード、動画撮影では、「動いているとき」のアイコンは表示されません。
- レンズをMFに設定していたり、オートフォーカスできないレンズを装着しているときは、「被写体：人」や「動いているとき」のアイコンは表示されません。



- 撮影シーンによっては、実際のシーンと異なるシーンのアイコンが表示されたり、思いどおりの効果、色あい、明るさで撮影できないことがあります。そのときは、**[P]** モード（ 109）で撮影することをおすすめします。

画面に表示される枠

▶ 静止画 ▶ 動画

カメラを被写体に向けて被写体を検出すると、画面上にいろいろな枠が表示されます。

- カメラを被写体に向けると主被写体として検出された顔やものには白の枠が表示されて、一定の範囲で追尾しピントを合わせ続けます。
- シャッターボタンを半押ししたとき、ピントが合うとフレームが緑色に変わります。
- [A+] モードでは被写体が動いていると判別されたときにシャッターボタンを半押しすると、枠が青色になってピントと明るさが再調整され（サーボ AF）、ピントが合うと緑色に変わります。
- シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、オレンジ色のフレームと [❗] が表示されます。



- 撮影シーンや被写体によっては、「枠が表示されない」、「撮りたい被写体に枠が表示されない」、「背景などに枠が表示される」ことがあります。そのときは、[P] モード (📖 109) で撮影することをおすすめします。



- [📷 4] タブの [AF 自動切り換え] を [しない] にするとサーボ AF は機能しません。また、「動いているとき」のアイコン (📖 67) は表示されなくなります。なお、セルフタイマー (📖 70) を [👉] 以外に設定すると [AF 自動切り換え] は [しない] 固定になります。



- ピントを合わせたい被写体を選びたいときは、画面上の被写体にタッチして [👉] を表示します (タッチ AF)。

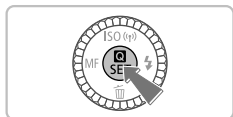
よく使う機能や便利な機能を使う

▶ 静止画 ▶ 動画





セルフタイマーを使う

▶ 静止画 ▶ 動画

集合写真などで撮影する人も一緒に写るときは、シャッターボタンを押してから約 10 秒後に撮影されるセルフタイマーを使って撮影します。



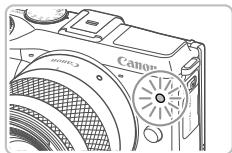
1 設定する

- **[] を押して、メニュー項目の **[MFn]** を選んだあと、項目の **[SE]** を選びます (書 49)。**
- 設定されると **[SE]** が表示されます。



2 撮影する

- 静止画を撮影するときは、シャッターボタンを半押しして被写体にピントを合わせ、シャッターボタンを全押しします。
- 動画を撮影するときは、動画ボタンを押します。



- タイマーがはじまるとランプ（前面）が点滅して、電子音が鳴ります。
- 撮影の2秒前になると、ランプ（前面）の点滅（ストロボ発光時は点灯）と電子音が速くなります。
- タイマーがはじまったあとに撮影を中止するときは、[MENU] ボタンを押します。
- 戻すときは、手順1の操作で [C] を選びます。

セルフタイマーを使って手ブレを防ぐ

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッターボタンを押してから約2秒後に撮影するため、シャッターボタンを押すときのカメラの手ブレを防ぐことができます。

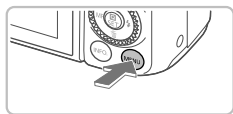


- 「セルフタイマーを使う」の手順1 (70) の操作で [C] を選びます。
- 設定されると [C] が表示されます。
- 「セルフタイマーを使う」の手順2 (70) の操作で撮影します。

画面をタッチして撮る（タッチシャッター）

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッターボタンを押す代わりに、画面をタッチするだけで被写体にピントと明るさを合わせ、かんたんに撮影することができます。



1 タッチシャッター機能を使えるようにする

- [MENU] ボタンを押して、[カメラ 1] タブの [タッチシャッター] を選び、[する] を選びます (51)。



2 撮影する

- 画面上の被写体を指で触れると撮影されます。
- タッチシャッターを使わないようにするときは、手順 1 の操作で [しない] を選びます。



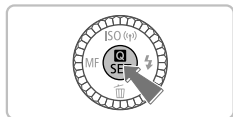
- ピントが合わないときは、AF フレームがオレンジ色で表示されて撮影できません。
- 撮影した画像が表示されている状態でも、[戻る] をタッチすると、次の撮影ができます。

連続して撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

〔A+〕モードでは、シャッターボタンを全押ししたままにすると、連続撮影ができます。

連続撮影の速度は「ドライブ、セルフタイマー関係」(370) を参照してください。



1 設定する

- 〔Q〕を押して、メニュー項目の〔□〕を選んだあと、項目の〔□〕を選びます(49)。
- 設定されると〔□〕が表示されます。

2 撮影する

- シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影されます。



- 連続撮影中はシャッターボタンを半押ししたときのピント位置、露出、色あいで固定されます。
- セルフタイマー (📖 70) とは一緒に使えません。
- 撮影シーン、カメラの設定、ズーム位置によっては、一定の間隔で撮影されなかったり、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- 撮影枚数が多くなると、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- 撮影条件、カードの種類、連続撮影した枚数によっては、次の撮影までにしばらく時間がかかることがあります。
- ストロボが発光するときは、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- タッチシャッター機能 (📖 72) では、画面に触れている間、連続撮影されます。連続撮影中は 1 枚目のピント位置、露出、色あいで固定されます。
- 連続撮影中の画面表示は撮影された画像と異なり、ピントが合っていないように見えることがあります。また、レンズによっては連続撮影中の画面表示が暗く見えることがありますが、撮影した画像は標準的な明るさで記録されます。



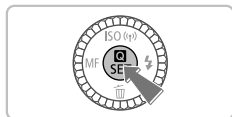
- 連続撮影できる枚数 (バースト撮影枚数) が 1 ~ 9 枚のときは、画面上部の撮影可能枚数 (📖 335) の右に枚数が表示されます。10 枚以上撮影できるときには表示されません。
- 撮影シーン、カメラの設定によっては連続撮影できる枚数が少なくなることがあります。

自分好みの画像を撮るための機能を使う

記録画質を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の記録画素数（大きさ）と画質（圧縮率）を、8種類の組み合わせから選べます。また、RAW 画像（[76](#)）を記録するかどうかも設定できます。それぞれの記録画質で1枚のカードに撮影できる枚数については「1枚のカードに撮影できる枚数」（[377](#)）を参照してください。



- [MENU] を押して、メニュー項目の [L] を選び、目的の項目を選びます（[49](#)）。
- 設定した項目が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で [L] を選びます。



- [L] [L] は、圧縮率による画質の違いを表しています。同じ記録画素数のときは、[L]の方が高画質です。[L]では画質が少し落ちますが、記録枚数を多くできます。なお、[S2] [S3] は [L]の画質です。
- [A]モードでは設定できません。

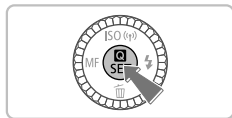
用紙の大きさと記録画素数を選ぶときは次の表を目安にしてください（縦横比 3:2 のとき）。

L	A2 相当
M	A3 相当
S1	A4 相当
S2	2L 判、はがき、L 判相当
S3	電子メールで画像を送るときなど

RAW 画像を記録する

このカメラでは、JPEG 画像と RAW 画像を記録できます。

JPEG 画像	最適な画質になるようカメラ内で画像処理を行い、ファイルサイズを圧縮して記録されています。非可逆圧縮方式のため、「生データ」の状態には戻せません。また、画像処理を行うと画質が劣化することがあります。
RAW 画像	カメラ内での画像処理による劣化がほとんどない「生データ」です。そのままの状態ではパソコンで見たり印刷したりできないため、ソフトウェア「Digital Photo Professional」(P.304) を使って一般的な JPEG 画像や TIFF 画像に変換（現像）する必要があります。また、現像時に画質劣化を最小限におさえた画像調整を行うことができます。



- [SET] を押して、メニュー項目の [RAW] を選びます (49)。
- RAW 画像だけを記録するときは、内容で [RAW] を選びます。
- JPEG 画像と RAW 画像を同時に記録するときは、内容で JPEG の記録画質を選んだあと、[INFO.] ボタンを押して [RAW] に [✓] を付けます。元に戻すときは、同じ手順で [RAW] の [✓] を外します。

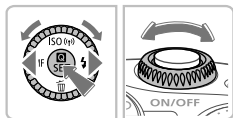


- RAW 画像や同時に記録された JPEG 画像をパソコンに取り込むときは、必ず専用のソフトウェア「EOS Utility (イオスユーティリティ)」(304) をお使いください。



- 記録画素数や撮影できる枚数については、「1枚のカードに撮影できる枚数」(377) を参照してください。
- JPEG 画像の拡張子は「.JPG」、RAW 画像の拡張子は「.CR2」です。同時に記録した JPEG 画像と RAW 画像は、同じ画像番号のファイルになります。
- ソフトウェア「Digital Photo Professional」「EOS Utility」については、「ソフトウェアについて」(304) を参照してください。なお、ソフトウェアの使用説明書は弊社 Web サイトからダウンロードしてください。ダウンロードの方法については「ソフトウェアの使用説明書」(305) を参照してください。

メニューから操作する



- **[MENU]** ボタンを押して、**[CAMERA 1]** タブの **[記録画質]** を選び、**[SE]** を押しします (書51)。
- **[歯車]** ダイヤルを回して **[RAW 画像設定]** で **[RAW]** を選ぶと RAW 画像も同時記録されます。**[-]** を選ぶと JPEG 画像だけを記録する設定になります。
- **[◀]** か **[▶]** を押すか **[歯車]** ホイールを回して **[JPEG 画像設定]** で記録画素数と圧縮率を選びます。**[-]** を選ぶと、RAW 画像だけを記録する設定になります。
- **[SE]** を押すと設定されてメニュー画面に戻ります。

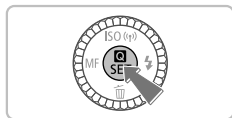


- **[RAW 画像設定]** と **[JPEG 画像設定]** の両方を同時に **[-]** に設定することはできません。

縦横比（アスペクト比）を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の縦横の比率を変えられます。



- [SET] を押して、メニュー項目の **[3:2]** を選んだあと、目的の項目を選びます (49)。
- 設定されると画面の縦横比が変わります。
- 戻すときは、上記の操作で **[3:2]** を選びます。

16:9	HD（ハイビジョン）対応テレビなどのワイド画面へ表示するときに適しています。
3:2	このカメラの画面や 35mm フィルムと同じ縦横比です。2L 判、はがきなどでの印刷に適しています。
4:3	L 判、A 判などでの印刷に適しています。
1:1	正方形です。

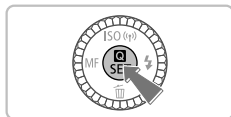


- [A] モードでは設定できません。
- MENU (51) の [1] タブの [静止画アスペクト比] で設定することもできます。

動画の画質を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

動画の画質（画像サイズとフレームレート）を設定できます。なお、フレームレートとは1秒間に何コマ記録するかのことです。ビデオ方式の設定（[266](#)）によって自動的に切り換わります。それぞれの画質で1枚のカードに撮影できる時間については「[1枚のカードに撮影できる時間](#)」（[378](#)）を参照してください。



- [] を押して、メニュー項目の [動画記録サイズ] を選んだあと、目的の項目を選びます（[49](#)）。
- 設定した項目が表示されます。










ビデオ方式の設定が [NTSC] のとき

画質	記録画素数	フレームレート	内容
29.97P	1920 x 1080 画素	29.97 フレーム / 秒	Full HD (フルハイビジョン) 画質で撮影できます。 [23.98P] では、映画と同じようなフレームレートで撮影できます。
23.98P	1920 x 1080 画素	23.98 フレーム / 秒	
59.94P	1280 x 720 画素	59.94 フレーム / 秒	HD (ハイビジョン) 画質で撮影できます。
29.97P	640 x 480 画 素	29.97 フレーム / 秒	SD (スタンダード) 画質で撮影できます。

ビデオ方式の設定が [PAL] のとき

画質	記録画素数	フレームレート	内容
	1920 x 1080 画素	25.00 フレーム / 秒	Full HD (フルハイビジョン) 画質で撮影できます。
	1280 x 720 画素	50.00 フレーム / 秒	HD (ハイビジョン) 画質で撮影できます。
	640 x 480 画素	25.00 フレーム / 秒	SD (スタンダード) 画質で撮影できます。

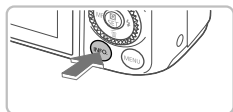


-   では画面の左右に、     では画面の上下に、黒帯が表示されます。この部分は撮影できません。
- MENU (📖 51) の [📷 5] タブの [動画記録サイズ] で設定することもできます。

水準器を使う（デュアルアクシス電子水準器）

▶ 静止画 ▶ 動画

カメラの前後（あおり）と左右（水平）の傾きを確認するための目安となる水準器を表示することができます。



1 水準器を表示する

- [INFO] ボタンを何回か押して水準器を表示します。



(1) (2)

2 カメラの傾きを調整する

- (1) は前後方向、(2) は左右方向の傾きを表しています。
- 赤い線が緑色に変わるようにカメラを動かして調整します。



- 手順 1 で水準器が表示されないときは、MENU (51) の [1] タブの [撮影情報表示設定] (161) の設定を確認してください。
- [動画] モード、動画撮影中は水準器が表示されません。
- カメラを縦位置で構えると、水準器の向きが変わります。
- 水準器を使っても傾きが気になるときは、水準器を調整します (267) 。

自分好みに機能を変える

MENUの[📷] タブで、カメラの撮影機能を好みの設定に変えることができます。

なお、メニュー機能の操作方法は、「MENU（メニュー）の表示と操作方法」（📖51）を参照してください。

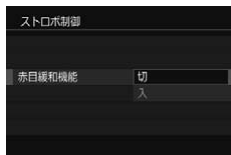
赤目緩和機能（ランプ）を切る

▶ 静止画 ▶ 動画

暗いところでのストロボ撮影では、人の目が赤く撮影されることを緩和するため、ランプ（前面）が点灯します。このランプを点灯しないようにすることができます。

1 [ストロボ制御] 画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[📷 3] タブの[ストロボ制御]を選び、[🔍]を押します（📖51）。



2 設定する

- [赤目緩和機能]を選んでから、[切]を選びます（📖51）。
- 戻すときは、上記の操作で[入]を選びます。

撮影直後の画像表示時間を変える

▶ 静止画 ▶ 動画



- [MENU] ボタンを押して、[📷 1] タブの [撮影画像の確認時間] で目的の項目を選びます。
- 戻すときは、上記の操作で [2秒] を選びます。

2秒、4秒、 8秒	設定した時間だけ画像を表示します。画像が表示されている状態でも、シャッターボタンを半押しすると、次の撮影ができます。
ホールド	シャッターボタンを半押しするまで画像を表示します。
切	画像は表示されません。

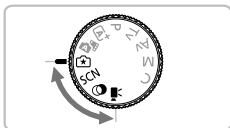


- 撮影直後に画像が表示されているときに [INFO.] ボタンを押すと、表示情報を切り換えられます。

3

いろいろな撮影モード

いろいろなシーンをより効果的に撮ったり、ユニークな効果や特殊な機能で演出された画像を撮る









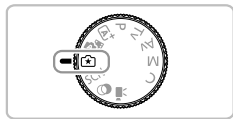
好みの設定で撮る（クリエイティブアシスト）

カメラ用語の知識がなくても、わかりやすい言葉で表現された項目を、画面を見ながら設定することで、背景をぼかしたり明るさを変えたりして自分好みの写真を撮ることができます。好みの設定を登録しておけば、簡単に読み込めます。また、[☆] モードで撮影された画像から、設定を反映して撮影することもできます。

[☆] モードで撮影された画像をカメラで表示すると、[☆] モードでの各設定が、カメラのどの設定に相当するかを確認できるので、クリエイティブゾーンの撮影モード（[P]、[Tv]、[Av]、[M]）にステップアップしやすくなります。

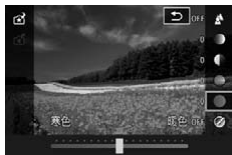
設定できるのは次の項目です。

 背景	背景の写り具合を設定できます。設定値が大きいほど背景がくっきりし、小さいほど背景がぼけた画像になります。
 明るさ	画像の明るさを設定できます。値が大きいほど明るくなります。
 コントラスト	コントラスト（明暗差）の強さを設定できます。値が大きいほどコントラストの強い画像になります。
 鮮やかさ	色の鮮やかさを設定できます。値が大きいほど鮮やかにになり、小さいほどすっきりした画像になります。
 色あい	色合いを設定できます。値が大きいほど暖色が強くなり、小さいほど寒色が強くなります。
 モノクロ	モノクロで撮影するときの色調を、[BW 白黒] [S セピア] [B 青] [P 紫] [G 緑] から選べます。[OFF] ではカラーで撮影されます。なお、[OFF] 以外にしたときは、[鮮やかさ] と [色あい] は選べません。



1 [☆] モードにする

- モードダイヤルを [☆] にします。



2 設定する

- [Ⓢ] を押したあと、[▲] か [▼] を押して設定したい項目を選び、[◀] か [▶] を押すか [⚙️] ダイアルか [🌀] ホイールを回して設定します (📖49)。
- 設定したい項目をすべて設定したら [MENU] ボタンを押して撮影画面に戻ります。

3 撮影する



- ストロボ撮影時、[背景] は設定できません。



- 撮影画面で、横に [⚙️] が表示されている設定項目は、撮影画面で [⚙️] ダイアルを回して値を変えることができます。[▲] か [▼] を押すと [⚙️] を移動して設定する項目を変えることもできます。
- 電源を切ると、設定した内容は初期設定に戻りますが、[📷4] の [☆設定記憶] を [する] に設定すると電源を切っても設定が保持されるようになります。
- 画面右上の [Q] をタッチして設定画面を表示したり、設定画面で項目をタッチして設定することもできます。[↩] をタッチすると撮影画面に戻ります。

設定の登録・呼び出し

好みの設定を登録したり、登録した設定を読み込んだりして繰り返し使えます。

登録する



- 「好みの設定で撮る（クリエイティブアシスト）」（書87）の手順1～2の操作で [☆] を選んで設定します。
- [Ⓜ] を押したあと、[▲] か [▼] を押して [☆] を選び、[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールか [☀] ダイアルを回して登録先を選びます。
- 最大6つの設定を登録できます。
- すでに登録されている登録先を選ぶと [INFO比較] が表示されます。この登録先を選んで [INFO.] ボタンを押している間、登録されている設定で画面が表示されるので、現在の設定と比べることができます。
- [Ⓜ] を押すと確認画面が表示されるので、[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[Ⓜ] を押します。

読み込む



- 「好みの設定で撮る（クリエイティブアシスト）」（87）の手順1の操作で「読み込む」を選びます。
- 「読み込む」を押したあと、「戻る」か「進む」を押して「読み込む」を選び、「戻る」か「進む」を押すか「モードダイヤル」ホイールか「モードダイヤル」を回して読み込む設定を選びます。
- 「読み込む」を押すと登録されている設定が反映されます。
- 「戻る」を選んで「読み込む」を押すと設定を反映しないで戻ります。

画像の設定を使う

「読み込む」モードで撮影した画像の設定を読み込んで撮影することができます。

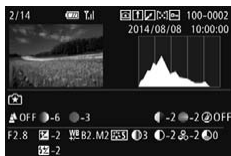


- 「好みの設定で撮る（クリエイティブアシスト）」（87）の手順1の操作で「画像の設定を使う」を選びます。
- 「再生」ボタンを押して再生モードにしたあと、「読み込む」モードで撮影した画像を選んで表示します。
- 「読み込む」を押してメニュー項目の「画像の設定を使う」を選び、もう一度「読み込む」を押します。
- 設定が反映されて、撮影モードになります。



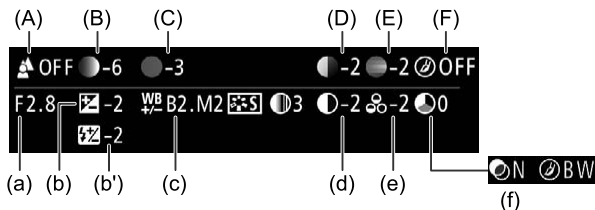
- モードダイヤルを「読み込む」以外にしているときに設定を反映しようとする、メッセージが表示されますが撮影モードにはなりません。モードダイヤルを「読み込む」にすると設定が反映されています。
- 「読み込む」モード以外で撮影した画像では「読み込む」は表示されません。

再生について



- **[☆]** モードで撮影した画像を再生しているときに、**[INFO]** ボタンで表示を切り換えると左の画面が表示され、撮影時の設定を確認できます。

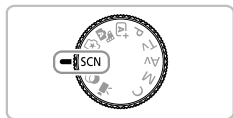
[☆] モードとクリエイティブゾーンの設定の対応



[☆] モードの設定	クリエイティブゾーンの設定
(A) 背景	(a) 絞り数値 (153)
(B) 明るさ	(b) 露出補正 (112) ただし、ストロボ発光時は (b') 調光補正 (140)
(C) 色あい	(c) WB 補正 (119)
(D) コントラスト	(d) ピクチャースタイルのコントラスト (125)
(E) 鮮やかさ	(e) ピクチャースタイルの色の濃さ (125)
(F) モノクロ	(f) ピクチャースタイル B2.M2 のフィルター効果と調色 (125)

いろいろなシーンで撮る

撮影シーンにあったモードを選ぶと、最適な撮影ができるようにカメラが自動的に設定を行います。



1 [SCN] モードにする

- モードダイヤルを [SCN] にします。



2 撮影モードを選ぶ

- [MENU] を押してメニュー項目の [SCN] を選び、撮影モードを選びます (49)。

3 撮影する



人撮り (ポートレート)

▶ 静止画 ▶ 動画

- 人をやわらかい感じで撮影できます。



風景を撮る (風景)

▶ 静止画 ▶ 動画

- 広がりのある風景などを、近くから遠くまでピントを合わせて、空や緑が鮮やかに撮影できます。



🌸 花や小物を大きく撮る（クローズアップ）

▶ 静止画 ▶ 動画

- 花や小物などに近づいて大きく撮影できます。
- マクロレンズ（別売）を使うと、小さなものをより大きく写すことができます。
- 被写体に近づくことができる距離（最短撮影距離）は、取り付けているレンズで確認してください。なお、最短撮影距離は、カメラの上面の [⊖]（撮像面マーク）から被写体までの距離です。



🏊 動きのある被写体を撮る（スポーツ）

▶ 静止画 ▶ 動画

- レンズの名称に「STM」がついているレンズを取り付けているときは、ピントを合わせながら連続撮影ができます。それ以外のレンズでは、シャッターボタンを半押ししたときのピント位置に固定されて連続撮影されます。



📷 三脚を使わずに夜景を撮る（手持ち夜景）

▶ 静止画 ▶ 動画

- 三脚などでカメラを固定しなくても夜景や夜景を背景にした人をきれいに撮影できます。
- 連続撮影した画像を1枚に合成することで、手ブレやノイズが軽減されます。



- [P] モードでは、他のモードに比べて被写体が大きく表示されます。
- [P] [P] モードでは、撮影シーンによってはISO感度(114)が高くなるため、画像が粗くなることがあります。
- [P] モードでは連続撮影するため、撮影中はカメラをしっかりと構え続けてください。
- [P] モードでは、ブレが大きすぎるときや撮影シーンによっては、思いどおりの効果が得られない画像が保存されることがあります。



- 三脚を使って夜景を撮影するときは、[P] モードではなく、[A+] モードで撮影することをおすすめします(60)。

料理を明るく鮮やかに撮る (料理)

▶ 静止画 ▶ 動画

料理を明るく、鮮やかな色あいに撮影できます。

1 [P] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順1～2(91)の操作で [P] を選びます。



2 色あいを変える

- [色あい] ダイヤルを回して色あいを変えます。

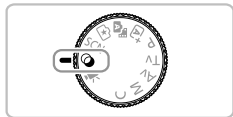
3 撮影する




- 人は適切な色あいにならないことがあります。
- ストロボ撮影時は、色あいの設定が標準設定に切り換わります。

効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）

いろいろな効果をつけて撮影することができます。





1 【】モードにする

- モードダイヤルを【】にします。



2 撮影モードを選ぶ

- 【】を押してメニュー項目の【HDR】を選び、撮影モードを選びます（49）。

3 撮影する

明暗差の大きいシーンで撮る（ハイダイナミックレンジ）

▶ 静止画 ▶ 動画

明るさの異なる3枚の画像を連続撮影し、明るさが適切な部分を合成して1枚の画像にします。明暗差の大きい風景などでの白トビや黒ツブレをおさえることができます。

1 [HDR] を選ぶ

- 「効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）」の手順1～2（[1094](#)）の操作で [HDR] を選びます。



2 撮影する

- シャッターボタンを全押しすると、3枚連続して撮影されたあと、画像が合成されるため、撮影中はカメラをしっかりと構え続けてください。





- ブレが大きすぎるときや撮影シーンによっては、思いどおりの効果が得られない画像が保存されることがあります。



- 手ブレが大きくてうまく撮影できないときは、三脚などでカメラが動かないように固定することをおすすめします。また、三脚などでカメラを固定するときは、手ブレ補正の機能を使わず撮影することをおすすめします（[1144](#)）。
- 被写体が動くとブレた画像になります。
- 撮影後に合成処理を行うため、次の撮影までにしばらく時間がかかります。

効果をつける



- 「効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）」の手順 1～2（ 94）の操作で [HDR] を選びます。
- [] ダイアルを回して効果を選びます。
- 設定した効果で画面が表示されます。


ナチュラル	自然な印象で撮影できます。
絵画調標準	コントラストをおさえて絵画のように撮影できます。
グラフィック調	鮮やかなグラフィックアートのように撮影できます。
油彩調	輪郭を強調し、鮮やかな油絵のように撮影できます。
ビンテージ調	輪郭を強調し、暗い感じにすることで、古い写真のように撮影できます。

魚眼レンズのような効果をつけて撮る（魚眼風）

▶ 静止画 ▶ 動画

魚眼レンズで撮ったようなデフォルメ効果をつけて撮影します。

1 [魚眼] を選ぶ

- 「効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）」の手順 1～2（ 94）の操作で [魚眼] を選びます。



2 効果を選ぶ

- [魚眼] のダイヤルを回して効果のレベルを選びます。
- 設定した効果で画面が表示されます。

3 撮影する




- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

油絵のような画像にする（油彩風）

▶ 静止画 ▶ 動画

被写体の立体感を強調して油絵のように撮影できます。

1 [油彩] を選ぶ

- 「効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）」の手順 1～2（ 94）の操作で [油彩] を選びます。



2 効果を選ぶ

- [🔧] ダイアルを回して効果のレベルを選びます。
- 設定した効果で画面が表示されます。

3 撮影する

水彩画のような画像にする（水彩風）

▶ 静止画 ▶ 動画

水彩画のようなやわらかい感じの色の画像を撮影できます。

1 [🎨] を選ぶ

- 「効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）」の手順 1～2 (📖94) の操作で [🎨] を選びます。



2 効果を選ぶ

- [🔧] ダイアルを回して効果のレベルを選びます。
- 設定した効果で画面が表示されます。

3 撮影する

ミニチュア模型のように撮る（ジオラマ風）

▶ 静止画 ▶ 動画

指定した範囲の上下をぼかして撮ることで、ミニチュア模型のような効果をつけて撮影します。

また、「再生時の速さ」を選んで動画を撮影すると、再生時には風景の中の人やものが早送りで動くので、ミニチュア模型のように見えます。なお、音声は録音されません。

1 [👁️] を選ぶ

- 「効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）」の手順 1～2（📖94）の操作で [👁️] を選びます。
- 画面に白い枠（ぼかさない範囲）が表示されます。



2 ピントの合う範囲と位置を指定する

- [▲] を押します。
- [INFO] ボタンを押して枠の大きさを変えたり、[▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して枠の位置を変えます。

3 動画を撮るときは再生時の速さを選ぶ

- [🌀] ダイアルを回して倍速（速さ）を選びます。

4 撮影画面に戻り、撮影する

- [📷] を押して撮影画面に戻り、撮影します。

倍速と再生時間の目安（動画を1分間撮影したとき）

倍速	再生時間
5x	約 12 秒
10x	約 6 秒
20x	約 3 秒



- 撮影シーンによっては思い通りの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。



- 手順2の画面で [◀] か [▶] を押すと枠が縦になり、[◀] か [▶] を押して位置を変えられます。[▲] か [▼] を押すと枠が横に戻ります。
- カメラを縦位置で構えると、枠の向きが変わります。
- 動画の画質はビデオ方式 (📖266) と静止画の縦横比 (📖79) によって異なります。
- ビデオ方式が [NTSC] のとき、縦横比を [16:9] にすると [HD 29.97P]、[4:3] にすると [VGA 29.97P] になります。
- ビデオ方式が [PAL] のとき、縦横比を [16:9] にすると [HD 25.00P]、[4:3] にすると [VGA 25.00P] になります。



- 画面をタッチしたりドラッグして枠の位置を変えることもできます。

トイカメラのような効果をつけて撮る（トイカメラ風）

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の四隅を暗くぼかして、全体の色調を変えることで、トイカメラで撮影したような効果をつけて撮影できます。

1 [📷] を選ぶ

- 「効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）」の手順 1～2 (📖94) の操作で [📷] を選びます。



2 色調を選ぶ

- [🌞] ダイアルを回して色調を選びます。
- 設定した色調で画面が表示されます。

3 撮影する

標準	トイカメラ風の画像になります。
暖色	[標準] より暖色系のトイカメラ風画像になります。
寒色	[標準] より寒色系のトイカメラ風画像になります。



- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

優しい雰囲気撮る（ソフトフォーカス）

▶ 静止画 ▶ 動画

ソフトフィルターを使ったような効果をつけて、優しい雰囲気の写真撮影ができます。効果の強さを設定できます。

1 [👤] を選ぶ

- 「効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）」の手順 1～2（📖94）の操作で [👤] を選びます。



2 効果を選ぶ

- [☀️] ダイアルを回して効果のレベルを選びます。
- 設定した効果で画面が表示されます。

3 撮影する




- 撮影シーンによっては思い通りの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

単色で撮る（ラフモノクロ）

▶ 静止画 ▶ 動画


ざらついた感じのモノクロ画像を撮影できます。

1 [L] を選ぶ

- 「効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）」の手順 1～2（ 94）の操作で [L] を選びます。



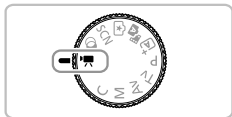
2 効果を選ぶ

- [>] ダイヤルを回して効果のレベルを選びます。
- 設定した効果で画面が表示されます。





3 撮影する

動画用のモードで動画を撮る

▶ 静止画 ▶ 動画



1 【】モードにする


- モードダイヤルを【】にします。
- 画面上下に黒い帯が表示されます。なお、黒い帯の部分は撮影できません。
- 【】を押してメニュー項目の【】を選び、【】を選びます (📖49)。

2 目的に応じて各機能を設定する (📖340)




3 撮影する

- 動画ボタンを押します。
- 動画ボタンをもう一度押すと撮影が終わります。



- ダイナミック IS (📖145) に対応したレンズを取り付けているときは、【】モードを選ぶと画面に表示される範囲が変わり被写体が大きくなります。



- 撮影前や撮影中に【AF】をタッチすると【MF】と表示され、ピント位置を固定することができます。
- 撮影前や撮影中に画面上の【】をタッチすると、撮影中にピント位置を自動調整するか固定するかを切り換えられます (自動調整のときは【】の左上の○が緑色になります)。ただし、MENUの【5】タブの【動画サーボ AF】(📖67)が【しない】のときは表示されません。

動画撮影中に静止画を撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

動画の撮影中でも静止画を撮ることができます（フォト・イン・ムービー）。



1 動画撮影中に、ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押しすると、ピントと露出が再調整されます（電子音は鳴りません）。
- 動画撮影は継続されます。

2 撮影する

- シャッターボタンを全押しします。
- 静止画が撮影されます。



- カードの記録速度が遅いときや、内部メモリーの空きがないときは、静止画を撮れないことがあります。
- 動画にはシャッター音が記録されます。
- シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、オレンジ色の AF フレームと [!] が表示され、全押ししても撮影できません。
- ストロボは発光しません。
- 静止画を撮ると内部メモリーの空きがなくなり、動画撮影が止まることがあります。



- MENU (📖 51) で [📷 5] タブの [動画記録中のシャッターボタン AF] で [しない] を選ぶと、動画撮影中にシャッターボタンを半押ししてもピント合わせが行われなくなります。
- [FHD 29.97P] [FHD 23.98P] [FHD 59.94P] [FHD 25.00P] [FHD 50.00P]（縦横比 16:9）のときは縦横比が [16:9] の静止画が撮影されます。
- [VGA 29.97P] [VGA 25.00P]（縦横比 4:3）のときは縦横比が [4:3] の静止画が撮影されます。

明るさを固定したり変えて撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影前や撮影中に露出を固定したり、露出を 1/3 段ずつ、-3 段から+3 段の範囲で変えられます。



- **[★]** ボタンを押すと露出が固定されます。もう一度 **[★]** ボタンを押すと解除されます。
- 画面を見ながら、露出補正ダイヤルを回して露出を変えます。



- 画面上の **[★]** をタッチすることでも露出の固定、解除ができます。
- 撮影中、画面下部の露出補正バーをタッチしたあと、**[◀]** か **[▶]** をタッチして露出を変えることもできます。
- タッチ操作で露出補正を行ったときの補正量は露出補正ダイヤルの設定と異なります。画面上で確認してください。

音声を設定する

▶ 静止画 ▶ 動画

録音レベル（録音音量）を設定する

〔オート〕では録音レベル（録音音量）が自動調整されますが、撮影シーンにあわせて録音レベルを手動で設定することができます。

1 〔録音〕画面を表示する

- 〔MENU〕ボタンを押して、〔 5〕タブの〔録音〕を選び、〔〕を押します（51）。



2 設定する

- 〔録音〕を選んで〔〕を押して表示される画面で、〔▲〕か〔▼〕を押すか〔〕ホイールを回して〔マニュアル〕を選び、〔〕を押します。
- 〔▼〕を押して〔録音レベル〕を選び〔〕を押して表示された画面で、〔◀〕か〔▶〕を押すか〔〕ホイールを回してレベルを設定したあと、〔〕を押します。
- 戻すときは、上記の操作で〔オート〕を選びます。

ウィンドカットを使わない

風が強いときに発生する雑音を低減できます。ただし、風がない場所で録音したときは、不自然な音になることがあります。このときに、ウィンドカットを使わないようにできます。



- 「録音レベル（録音音量）を設定する」（[107](#)）の手順1の操作で「録音」画面を表示します。
- 「ウィンドカット/アッテネーター」を選び、**[ON]**を押します。
- 「ウィンドカット」を選び、「切」を選びます。

アッテネーターを使う

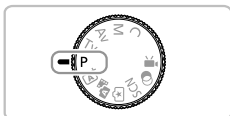
大音量の環境で、音割れを軽減できます。ただし、静かな環境で録音したときは、音が小さくなります。



- 「録音レベル（録音音量）を設定する」（[107](#)）の手順1の操作で「録音」画面を表示します。
- 「ウィンドカット/アッテネーター」を選び、**[ON]**を押します。
- 「アッテネーター」を選び、「入」を選びます。

Pモード

撮影スタイルにあわせた、ワンランク上の画像を撮る



- モードダイヤルが **[P]** モードになっていることを前提に説明しています。
- **[P]** は、Program AE（プログラムエーイー）の略、AEは、Auto Exposure（オートエクスポージャー）の略で自動露出のことです。
- この章で説明する機能を **[P]** モード以外で使うときは、それぞれの機能がどのモードで使えるか確認してください（📖340）。

プログラム AE で撮る ([P] モード)

▶ 静止画 ▶ 動画

いろいろな機能を自分好みに設定して撮影できます。



1 [P] モードにする

- モードダイヤルを [P] にします。

2 目的に応じて各機能を設定 (📖112 ~ 📖150) し、撮影する



- [P] モードでも、動画ボタンを押すと動画が撮影できます。ただし、メニュー (📖49、📖51) の一部が動画撮影の設定にあわせて自動的に変わることがあります。

撮影機能を一覧にして設定する

撮影機能画面を使うと、撮影機能を一覧にして素早くいろいろな機能を設定することができます。



1 撮影機能画面を表示する

- [INFO] ボタンを何度か押して、撮影機能画面を表示します。

2 機能を選んで設定する

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して機能を選ぶと、機能の説明が表示されます。
- [☀] ダイアルか [⦿] ホイールを回して設定します。



- 表示される項目、設定できる項目は撮影モードによって異なります。



- 機能を選んだあと [⦿] を押して、画面を切り換えて設定できる機能もあります。切り換えた画面で [INFO] が表示される項目は、[INFO] ボタンを押して設定できます。[⦿] を押すと撮影機能画面に戻ります。



- 撮影機能画面でタッチして選んだ機能をもう一度タッチして、画面を切り換えて設定することもできます。[↶] をタッチすると撮影機能画面に戻ります。
- 機能の説明の右上に表示されている [☒] をタッチすると説明表示を閉じることができます。

明るさ（露出）に関する機能を使う

明るさを変える（露出補正）

▶ 静止画 ▶ 動画

カメラが決めた標準的な露出を 1/3 段ずつ、- 3 段から + 3 段の範囲で補正できます。

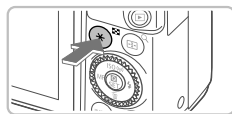


- 画面の表示を見ながら、露出補正ダイヤルを回して明るさを補正します。

明るさ（露出）を固定する（AE ロック）

▶ 静止画 ▶ 動画

露出を固定して撮影したり、ピントと露出を個別に設定して撮影することもできます。



1 露出を固定する

- 露出を固定したい被写体にカメラを向けて [＊] ボタンを押します。
- [＊] が表示され、露出が固定されます。
- もう一度 [＊] ボタンを押すと、[＊] が消え解除されます。

2 構図を決めて撮影する



- AEは、Auto Exposure（オートエクスポージャー）の略で自動露出のことです。
- 露出を固定したあとに [☀️] ダイアルを回すと、シャッター速度と絞り数値の組みあわせを変えることができます（プログラムシフト）。

測光方式を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影シーンにあわせて、測光方式（明るさを測る特性）を変えられます。



- [Ⓜ️] を押して、メニュー項目の [[☉]] を選び、目的の項目を選びます (49)。
- 設定した項目が表示されます。

☉ 評価測光	逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。撮影シーンに応じて、被写体が常に標準露出になるように自動補正します。
☺️ 部分測光	逆光などで被写体の周辺に強い光があるときに有効です。画面中央に表示される丸い枠（測光枠）の範囲のみを測光します。
● スポット測光	被写体の特定の部分を測光するときに有効です。画面中央に表示される丸い枠（スポット測光枠）の範囲のみを測光します。
☐ 中央部重点平均測光	画面中央部に重点をおいて、画面全体を平均的に測光します。



- ではシャッターボタンを半押ししたときに露出が固定されます。 では、シャッターボタンを半押ししても露出は固定されず、撮影する瞬間に露出が決まります。
- MENU (51) の 3 タブの「測光モード」でも設定することができます。

ISO 感度を変える

▶ 静止画 ▶ 動画



- ボタンを押したあと、 ホイールを回して ISO 感度を選び、 を押します。
- 設定した項目が表示されます。

AUTO	撮影モードと撮影シーンに応じて自動設定
100、125、160、200	晴天の屋外
250、320、400、500、640、800	曇り空、夕方
1000、1250、1600、2000、2500、3200、4000、5000、6400、8000、10000、12800	夜景、暗い室内

ISO 感度は数値が大きいほど感度が高くなり、小さいほど感度が低くなります。



- ISO 感度が [AUTO] のときは、シャッターボタンを半押しすると自動設定された ISO 感度が画面に表示されます。
- ISO 感度を低くすると粗さが目立たない画像になりますが、撮影シーンによっては被写体ブレや手ブレがおきやすくなる場合があります。
- ISO 感度を高くするとシャッタースピードが速くなるため、被写体ブレや手ブレが軽減されたり、ストロボの光が遠くの被写体まで届くようになりますが、画像が粗くなります。
- MENU (📖51) の [📷3] タブの [ISO 感度設定] にある [ISO 感度] でも設定することができます。
- MENU (📖51) の [📷1] タブの [C.Fn I: 露出] にある [ISO 感度拡張] を [1: する] にすると [H] (ISO25600 相当) まで選べるようになります (📖164)。

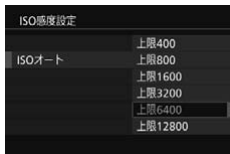
ISO オートの設定を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

[AUTO] にしたときに自動設定される ISO 感度の上限を選ぶことができます。

1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[📷3] タブの [ISO 感度設定] を選び、[📷] を押します (📖51)。



2 設定する

- [ISO オート] を選び、目的の項目を選びます (📖51)。

露出を自動的に変えて撮る（AEB 撮影）

▶ 静止画 ▶ 動画

カメラが自動的に露出を変えながら、標準露出、マイナス補正、プラス補正の順に 3 枚連続で撮影されます。補正量は標準露出を中心に 1/3 段ずつ、- 2 段から + 2 段の範囲で設定できます。

1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[📷 3] タブの [AEB 設定] を選び、[ⓘ] を押します (📖 51)。



2 設定する

- [◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して設定します。
- 解除するときには、手順 1 ~ 2 の操作で AEB の補正量を 0 にします。



- ストロボが [📷] 以外のおき、マルチショットノイズ低減機能 (📖 148) 設定時、連続撮影時、バルブ撮影時は、AEB 撮影できません。



- 露出補正 (📖 112) をしているときは、設定している値が中心になります。手順 2 の画面で露出補正ダイヤルを回して露出補正をすることもできます。

明るさ・コントラストを自動補正する（オートライティングオプティマイザ）

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影結果が暗いときや、コントラストが低いときに、明るさやコントラストを自動的に補正できます。



- [Fn] を押して、メニュー項目の [Fn] を選び、目的の項目を選びます (49)。



- 撮影条件によっては、ノイズが増えることがあります。
- オートライティングオプティマイザの効果が強すぎて、画像が明るすぎるときは、[弱い] または [しない] に設定して撮影してください。
- [しない] 以外の設定では、露出補正やストロボ調光補正で暗めに設定しても、明るく撮影されたり、AEB 撮影による露出補正の効果が小さくなる場合があります。設定したとおりの明るさで撮影したいときは、[しない] に設定してください。



- MENU (51) の [3] タブの [オートライティングオプティマイザ] でも設定できます。

明るい被写体を撮影する（高輝度側・階調優先）

▶ 静止画 ▶ 動画

高輝度（明るい）側の階調表現性を向上させることで、明るい被写体の白トビを抑えることができます。



- [MENU] ボタンを押して、[3] タブの [高輝度側・階調優先] を選び、[D+] を選びます (📖 51)。



- [D+] に設定すると、ISO 感度を ISO160 以下には設定できません。また、オートライティングオプティマイザは [しない] に固定されます。

色に関する機能を使う

色あいを調整する（ホワイトバランス）

▶ 静止画 ▶ 動画

ホワイトバランス（WB）は、撮影シーンにあわせて自然な色あいにする機能です。



- [WB] を押して、メニュー項目の [AWB] を選び、目的の項目を選びます (P.49)。
- 設定した項目が表示されます。

[AWB]	オート	撮影シーンに応じて自動設定
☀	太陽光	晴天の屋外
🏠	日陰	日陰
☁	くもり	曇り空、薄暮
💡	白熱電球	電球
💡	白色蛍光灯	白色蛍光灯
⚡	ストロボ	ストロボ使用時
📷	マニュアル	マニュアルホワイトバランス（手動設定）

マニュアルホワイトバランス

撮影場所の光源にあわせてホワイトバランスを変えて、撮影時の光源に適した色あいで撮影できます。撮影場所の光源のもとで設定してください。

1 白い被写体を撮影する

- 液晶モニター全体に、紙などの白い無地の被写体がくるようにします。
- 手動でピントを合わせて撮影します (135)。



2 [MWB 画像選択] を選ぶ

- [CAMERA] タブの [MWB 画像選択] を選び、[OK] を押します。
- MWB 画像選択画面になります。



3 白データを取り込む




- 手順 1 で撮影した画像を選び、[OK] を押します。
- 確認画面で [◀] か [▶] を押すか [OK] ホイールを回して [OK] を選び、[OK] を押します。
- [MENU] ボタンを押してメニューを閉じます。

4 [色あいを調整する (ホワイトバランス)] を選ぶ

- 「色あいを調整する (ホワイトバランス)」 (119) の操作で [色あいを調整する (ホワイトバランス)] を選びます。





- 手順 1 で撮影した画像が明るすぎたり暗すぎたりすると、ホワイトバランスが設定できないことがあります。
- 手順 3 で白データの取り込みに適さない画像を指定したときは、メッセージが表示されます。画像を選びなおすときは [キャンセル] を選んでください。[OK] を選ぶとその画像で白データが取り込まれますが、適切なホワイトバランスにならないことがあります。
- 手順 3 で [指定できない画像です] と表示された時は [OK] を選んでメッセージを閉じ、画像を選びなおしてください。
- 手順 3 で [WB の設定を “” にしてください] と表示されたときは、[] を押してメニュー画面に戻ったあと、[] を選んでください。



- 白い被写体の代わりに、市販のグレーチャートや 18%標準反射板を撮影すると、より正確なホワイトバランスを設定できます。
- 手順 1 で撮影するときのホワイトバランスはどの設定でもかまいません。



ホワイトバランスを補正する

▶ 静止画 ▶ 動画

ホワイトバランスを手動で補正することができます。この機能を使うと、市販の色温度変換フィルターや色補正用フィルターと同じような効果を得ることができます。



1 設定する

- 「色あいを調整する (ホワイトバランス)」( 119) の操作で、目的のホワイトバランスを選びます。
- [] ダイアルを回して B、A の補正量を調整します。



2 詳細な設定をする

- さらに詳細な設定をするときは、**[INFO.]** ボタンを押し、**[☀️]** ダイヤルか **[🌀]** ホイールを回して補正量を調整します。
- 補正量を戻すときは、**[🔍]** ボタンを押します。
- **[🔍]** を押すと設定されます。



- 補正量を設定したあとに手順 1 でホワイトバランスの項目を変えても、補正量はそのまま保持されます。



- B はブルー、A はアンバー、M はマゼンタ、G はグリーンの意味です。
- ブルー／アンバー方向の 1 段は、色温度変換フィルターの約 5 ミレッドに相当します（ミレッド：色温度変換フィルターの濃度を表すときなどに使用される色温度の単位）。
- MENU (📖 51) の **[📷 4]** タブの **[WB 補正]** でも設定することができます。






- 手順 1 のバーや手順 2 の枠をタッチしたりドラッグして補正量を選ぶこともできます。
- 手順 1 の画面で **[INFO.]** をタッチして手順 2 の画面を表示することができます。








好みの色あいにする（ピクチャースタイル）





▶ 静止画 ▶ 動画

写真表現や被写体にあわせて、好みの色合いをピクチャースタイルとして選べます。ピクチャースタイルは6種類あり、さらに細かく設定することもできます。







- [] を押して、メニュー項目の [] を選び、目的の項目を選びます ( 49)。

 オート	撮影シーンに応じて、色あいを自動調整します。特に自然や屋外シーン、夕景シーンでは、青空、緑、夕景が色鮮やかな写真になります。
 スタンダード	鮮やかで、くっきりした写真になります。ほとんどのシーンに対応できます。
 ポートレート	肌色がきれいで、ややくっきりした写真になります。人物をアップで写すときに効果的です。[色あい] を変えると、肌色を調整できます ( 125)。
 風景	青空や緑の色が鮮やかで、とてもくっきりした写真になります。印象的な風景を写すときに効果的です。
 ニュートラル	パソコンでの画像処理を前提とした設定です。自然な色あいで、メリハリをおさえた落ち着いた写真になります。
 忠実設定	パソコンでの画像処理を前提とした設定です。5200K（色温度）程度の環境光下で撮影した写真が、測色的に被写体の色とほぼ同じになるように色調整されます。メリハリをおさえた落ち着いた写真になります。







 モノクロ	白黒写真になります。
   ユーザー設定	[ポートレート]、[風景]、ピクチャースタイルファイルなどの基本スタイルを登録して、好みにあわせて調整できます (📖 123)。





-    が未登録のときは、[オート] の初期設定と同じ設定になります。
- MENU (📖 51) の [ 4] タブの [ピクチャースタイル] でも設定できます。

ピクチャースタイルを自分の好みに調整する


好みにあわせてピクチャースタイルを次の設定を調整できます。

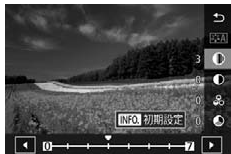
 シャープネス	被写体のシャープネス（鮮鋭度）のレベルを調整できます。数値が小さいほど柔らかい（ぼやけた）感じに、数値が大きいほど硬い（シャープな）感じになります。
 コントラスト	コントラスト（明暗差）を調整できます。数字が小さいほどコントラストが弱く、数字が大きいほど強くなります。
 色の濃さ* ¹	色の濃さを調整できます。数字が小さいほど薄く、数字が大きいほど濃くなります。
 色あい* ¹	肌の色あいを調整できます。数字が小さいほど赤めに、数字が大きいほど黄色寄りになります。
 フィルター効果* ²	モノクロの画像で白い雲や木々の緑を強調できます。 N: フィルター効果なしの通常の白黒画像になります。 Ye: 青空がより自然になり、白い雲がはっきりと浮かび上がります。 Or: 青空が少し暗くなります。夕日の輝きがいっそう増します。 R: 青空がかなり暗くなります。紅葉の葉がはっきりと明るくなります。 G: 人物の肌色や唇が落ち着いた感じになります。木々の緑の葉がはっきりと明るくなります。
 調色* ²	モノクロの色を、[N:なし] [S:セピア] [B:青] [P:紫] [G:緑] から選べます。

*1  では設定できません。



*2  でのみ設定できます。

1 設定画面を表示する

- 「好みの色あいにする（ピクチャースタイル）」（ 123）の操作で、目的のピクチャースタイルを選びます。
- **[INFO.]** ボタンを押します



2 設定する

- **[▲]** か **[▼]** を押して項目を選び、**[◀]** か **[▶]** を押すか  ホイールか  ダイアルを回して内容を選びます。
- 変更内容を戻すときは **[INFO.]** ボタンを押します。
- **[⊞]** を押して設定します。



- **[コントラスト]** を強くすると、**[フィルター効果]** がより強調されます。

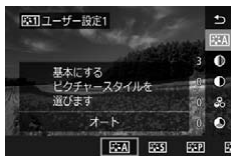
好みのピクチャースタイルを登録する

[[P]] [[L]] などの基本スタイルを好みにあわせて調整して、登録できます。シャープネスやコントラストなどの設定が異なる、複数のスタイルを準備できます。



1 登録先のピクチャースタイルを選ぶ

- 「好みの色あいにする（ピクチャースタイル）」(書123)の操作で、[[1]] [[2]] [[3]] のどれかを選びます。



2 基本にするピクチャースタイルを選ぶ

- [[INFO]] ボタンを押します。
- [[<]] か [[>]] を押すか [[ホイール]] か [[ダイヤル]] を回して基本にするピクチャースタイルを選びます。

3 調整する

- [[▲]] か [[▼]] を押して調整したい内容を選び、[[<]] か [[>]] を押すか [[ダイヤル]] か [[ホイール]] を回して調整します。
- [[OK]] を押して設定します。



- 手順2では、ソフトウェア「EOS Utility」(書304)を使ってカメラに登録したスタイルを選ぶこともできます。
- ソフトウェアの使用説明書は弊社Webサイトからダウンロードしてください。ダウンロードの方法については「ソフトウェアの使用説明書」(書305)を参照してください。


ピント合わせに関する機能を使う

AF 方式を選ぶ

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影シーンや被写体にあわせて、AF（自動ピント合わせ）の方法を変えることができます。




-  を押して、メニュー項目の [AF □] を選び、目的の項目を選びます (📖51)。



- 暗い被写体、明暗差（コントラスト）のない被写体、非常に明るいシーンや一部の EF レンズや EF-S レンズでは、ピントが合うまでに時間がかかったり、適切なピント合わせができないことがあります。レンズについて詳しくは、キヤノンのホームページでご確認ください。



- MENU (📖51) の [ 2] タブの [AF 方式] でも設定できます。

1 点 AF

- 1 点のフレームでピント合わせを行います。確実なピント合わせに有効です。
- シャッターボタンを半押ししたとき、ピントが合うとフレームが緑色に変わります。



- フレームの位置を変えることができます。(📖 130)。フレームの位置を変えないで被写体が画像の端や隅にくるよう撮影するときは、被写体に AF フレームをあわせてシャッターボタンを半押しし、この状態で構図を変えてシャッターボタンを全押しして撮影します（フォーカスロック撮影）。
- 「マニュアルフォーカスで撮る」(📖 135) の手順 2～4 の操作で AF フレームの位置を拡大表示することができます。なお、この操作をしているときは、タッチシャッターでは撮影できません。

📷+ 追尾優先 AF

- カメラを被写体に向けると、主被写体と判断した顔に白のフレームが表示されます。被写体を選ぶことができます (📖 130)。
- 検出した顔が動いていると判別したときは、一定の範囲で追尾します。
- シャッターボタンを半押ししたとき、ピントが合うとフレームが緑色に変わります。
- 顔が検出されないときは、シャッターボタンを半押しすると、ピントの合った位置に緑色のフレームが表示されます。



- 顔として検出できない例
 - 被写体までの距離が遠い、または極端に近い。
 - 被写体が暗い、または明るい。
 - 顔が横や斜めを向いている、または一部が隠れている。
- 人の顔以外を、誤って検出することがあります。
- シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、オレンジ色のフレームと [!] が表示されます。
- 画面の端で検出された顔には灰色のフレームが表示され、シャッターボタンを半押ししてもピント合わせができません。



- 縦横比 (📖 79) によって、フレームの最大表示数は変わります。
 - [3:2] [4:3] [16:9] のときは 49 個
 - [1:1] のときは 35 個

ピントを合わせたい被写体を選んで撮る（タッチAF）

▶ 静止画 ▶ 動画

目的の人の顔や被写体を選んだり、画面上の位置を指定してピントを合わせ、撮影できます。



1 ピントを合わせたい顔、被写体または位置を選ぶ

- 画面上の人や被写体にタッチします。
- AF方式が [AF □] のときは、タッチした位置に AF フレームが表示されます。
- AF方式が [AF] のときは、被写体として認識すると [] が表示されます（動いていてもピントを合わせ続けます）。解除するときは [] をタッチします。



2 撮影する

- シャッターボタンを半押ししてピントが合うと、緑色の [] が表示されます。
- シャッターボタンを全押しして撮影します。



- タッチすると撮影されるときは、MENU (51) の [1] タブの [タッチシャッター] を [しない] にします。
- 被写体が小さすぎたり動きが速いときや、被写体と背景との明暗差が小さいときは、追尾できないことがあります。

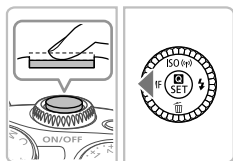


- ☑️ ボタンを押して人の顔を選んだり、AF フレームを移動することもできます。
 - AF 方式が **[AF □]** のときは、☑️ ボタンを押したあと **[▲]** **[▼]** **[◀]** **[▶]** を押してフレームを移動させて **[Ⓜ]** を押して撮影画面に戻ります。撮影画面やフレームの移動画面で ☑️ ボタンを2秒以上押しすと、枠が画面中央に戻ります。
 - AF 方式が **[AF Ⓜ]** のときは、☑️ ボタンを押すと「顔セレクト：入」が表示され、主被写体として検出された顔に **[Ⓜ]** が表示されます。続けて ☑️ ボタンを押すと、検出された別の顔に **[Ⓜ]** が移動します。検出された顔を一巡すると「顔セレクト：切」が表示されて解除されます。

AF ロックで撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

ピントを固定できます。固定後はシャッターボタンから指を放しても、ピント位置は固定されたままになります。



1 ピントを合わせて固定する

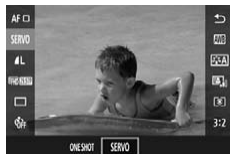
- シャッターボタンを半押ししたまま、**[◀]** を押します。
- ピントが固定され、**[MF]** が表示されます。
- シャッターボタンから指を放してもう一度 **[◀]** を押すと、**[MF]** が消え解除されます。

2 構図を決めて撮影する

サーボ AF で撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッターボタンを半押ししている間は被写体にピントと露出を合わせ続けるため、動いている被写体のシャッターチャンス逃さずに撮影できます。



1 設定する

- **[]** を押して、メニュー項目の [ONE SHOT] を選び、[SERVO] を選びます (51)。



2 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押ししてピントが合うと、緑色の AF フレームが表示されます。
- 構図を変えたり被写体が動くと AF フレームが青色になってピント合わせを行います。ピントが合うと AF フレームは緑色に戻ります。



- ピント合わせ中は、シャッターボタンを全押ししても撮影できないことがあります。被写体を追いながらシャッターボタンの全押しを続けてください。
- ピントが合わないときはオレンジ色の AF フレームが表示されません。
- AF ロック撮影はできません。
- セルフタイマー (70) を [] 以外に設定すると [ONE SHOT] 固定になります。

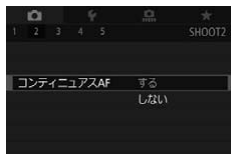


- サーボ AF に設定すると、[L+追尾優先 AF] (📖129) に設定していても、シャッターボタンを半押ししたときに顔が検出されないと、中央に表示された枠でピント合わせを行います。
- サーボ AF に設定すると、測光方式 (📖113) の設定に関わらず、シャッターボタンを半押ししても露出は固定されず、撮影する瞬間に露出が決まります。
- レンズの名称に「STM」がついたレンズを取り付けて、サーボ AF に設定にすると、ピントを合わせ続けながら連続撮影 (📖73) ができます。このとき、連続撮影速度が遅くなります。また、連続撮影中にズームすると、ピントがずれることがあります。
- それ以外のレンズでは、サーボ AF に設定して連続撮影しても、2コマ目以降はピントが固定され、連続撮影速度が遅くなります。
- 取り付けるレンズや被写体との距離、被写体の動く速さによっては、適切なピント合わせができないことがあります。
- MENU (📖51) の [📷2] タブの [AF 動作] でも設定できます。

フォーカス設定を切り換える

▶ 静止画 ▶ 動画

通常は、シャッターボタンを押さなくても、カメラを向けた方向の被写体へ常にピントを合わせますが、シャッターボタンを半押ししたときだけ、ピントを合わせるようにすることができます。



- [MENU] ボタンを押して、[📷2] タブの [コンティニュアス AF] を選び、[しない] を選びます (📖51)。

する	シャッターボタンを半押しするまで常にピントを合わせ続けるので、とっさのシャッターチャンスを逃さずに撮影できます。
しない	通常はピント合わせを行わないため、消費電力をおさえることができます。ただし、ピント合わせに時間がかかることがあります。

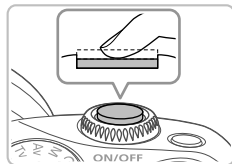
ピントを微調整する

▶ 静止画 ▶ 動画

EF-M レンズを取り付けているときは、オートフォーカスのあとに、レンズのフォーカスリングを使ってピントを微調整することができます。

1 設定する

- [MENU] ボタンを押して、[2] タブの [AF + MF] を選び、[入] を選びます (書51)。



2 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、シャッターボタンを半押ししたままにします。

3 ピントを微調整する

- レンズのフォーカスリングを回してピントを調整します。
- [MF] が点滅表示します。
- 解除するときは、シャッターボタンから指を離します。

4 撮影する

- シャッターボタンを全押しして撮影します。

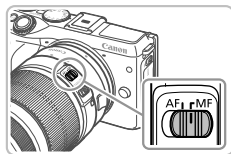


- サーボ AF (132) とは一緒に使えません。
- EF-M 以外のレンズを取り付けているときは使えません。

マニュアルフォーカスで撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

オートフォーカスでピントが合わないときは、マニュアルフォーカスを使います。画面を拡大表示にすると、ピントを合わせやすくなります。



1 [MF] を選ぶ

- EF-M レンズを取り付けているときは [◀] を押します。
- EF-M 以外のレンズを取り付けているときは、カメラの電源をいったん切ってから、レンズのスイッチを [MF] 側に動かし、カメラの電源を入れます。
- [MF] が表示されます。

2 拡大表示枠を表示する

- [] ボタンを押します。
- 画面中央に拡大表示枠が表示されます。また、画面右下に、拡大率と拡大表示している位置が表示されます。



3 拡大表示する部分を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して枠を移動して、拡大表示する部分を選びます。
- [Q] ボタンを2秒以上押すと、枠が画面中央に戻ります。



4 拡大表示にする

- [Q] ボタンを押すか [☀️] ダイアルか [⦿] ホイールを回すと、1倍（拡大解除）、5倍、10倍で倍率を変えられます。

5 ピントを合わせる

- 拡大表示を見ながら、レンズのフォーカスリングを回してピントを合わせます。

6 撮影する



- [コンティニュース AF] が [しない] のときは、EF-M 以外のレンズで [MF] に切り換えるときカメラの電源を切る必要はありません。



- 手順3の画面で枠をドラッグして拡大表示枠を移動できます。
- 画面右下に表示される [Q] をタッチして拡大率を変えたり、画面をドラッグして拡大表示位置を移動することができます。

ピント合わせをしやすい表示にする (MF ピーキング)

▶ 静止画 ▶ 動画

ピントが合った被写体の輪郭を色つきの強調表示にすることで、マニュアルフォーカス時のピント合わせをやすくすることができます。また、輪郭の検出感度 (レベル) や色を変えることもできます。



1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[カメラ 2] タブの [MF ピーキング設定] を選び、[ピーキング] を [入] にします (📖 51)。

2 設定する

- 設定するメニュー項目を選び、目的の項目を選びます (📖 51)。



- MF ピーキングで表示した色は画像に記録されません。

ストロボに関する機能を使う

ストロボモードを変える

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影シーンにあわせて、ストロボモードを変えられます。ストロボ撮影できる範囲は、「内蔵ストロボで撮影できる距離の目安」(📖379)を参照してください。

1 ストロボを上げる

- [🔍] スイッチを動かします。



2 設定する

- [▶] を押したあと、[◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回してストロボモードを選び、[🔍] を押します。
- 設定した項目が表示されます。



- ストロボがカメラに収納されていると、[▶] を押しても設定画面は表示されません。[🔍] スイッチを動かしてストロボを上げてから操作してください。
- ストロボが発光すると、画像の周辺部が暗くなることがあります。また、ストロボが発光したときに、お使いのレンズによっては画像の一部や周辺部が暗くなることがあります。



- ストロボ発光時に、露出オーバーで適正露出が得られないときは、自動的にシャッタースピードや ISO 感度が変わって白トビを軽減し、適正露出で撮影できます。このため、ストロボ撮影時は、シャッターボタンを半押ししたときに画面に表示されるシャッタースピードや ISO 感度と異なる設定で撮影されることがあります。
- MENU (📖51) の [📷3] タブの [ストロボ制御] にある [ストロボの発光] で設定することもできます。

オート

暗いところでは自動的にストロボが光ります。

常時発光

ストロボを常に発光させて撮影できます。

スローシンクロ

人などの主被写体は、ストロボが発光することで明るく撮影され、ストロボの光が届かない背景は、シャッタースピードを遅くすることで暗くなるのを軽減することができます。



- [] では、手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、手ブレ補正の機能を使わず撮影することをおすすめします (P 144)。
- [] では、ストロボが光っても、シャッター音が鳴り終わるまでは主被写体が動かないようにしてください。

発光禁止

ストロボを光らせないで撮影することができます。

ストロボの調光量を補正する

▶ 静止画 ▶ 動画

ストロボ撮影時の露出を露出補正 (📖 112) と同様に、1/3 段ずつ、- 2 段から + 2 段の範囲で補正できます。



- ストロボを上げて、[▶] を押したあと、すぐに [🔆] ダイアルを回して補正量を選び、[📷] を押します。
- 設定した補正量が表示されます。



- ストロボ調光補正は、MENU (📖 51) の [📷 3] タブの [ストロボ制御] にある [内蔵ストロボ機能設定] で [🔆 調光補正] を選んで設定することができます。
- MENU (📖 51) の [ストロボ制御] 画面は、次の方法でも表示できます。
 - [▶] を 1 秒以上押す。
 - ストロボを上げているときに [▶] を押してからすぐに [MENU] ボタンを押す。



- MENU (📖 51) の [ストロボ制御] 画面は、[▶] を押してから [MENU] をタッチすることでも表示できます。

FE ロックで撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

ストロボ撮影時の露出を、AE ロック撮影 (📖 112) と同様に固定できます。

1 ストロボを上げて、[⚡] にする (📖 138)

2 ストロボ露出を固定する

- 露出を固定したい被写体にカメラを向け、[✳] ボタンを押します。
- ストロボが発光し、[⚡*] が表示され、ストロボ発光量が記憶されます。
- もう一度 [✳] ボタンを押すと、[⚡*] が消え解除されます。

3 構図を決めて撮影する

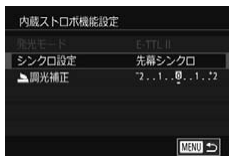


- FE は、Flash Exposure (フラッシュエクスポージャー) の略でストロボ露出のことです。
- FE ロック中は、画面中央に調光範囲を示す円が表示されます。
- 手順 2 でストロボが発光しても標準露出にならないときは、[⚡*] が点滅します。ストロボ撮影に適した距離で手順 2 を行ってください。

ストロボ発光のタイミングを変える

▶ 静止画 ▶ 動画

ストロボ発光とシャッターのタイミングを変えることができます。



- [MENU] ボタンを押して、[3] タブの [ストロボ制御] にある [内蔵ストロボ機能設定] を選びます。
- [シンクロ設定] を選んでから、目的の項目を選びます (📖51)。

先幕シンクロ	撮影開始直後にストロボが発光します。
後幕シンクロ	撮影終了直前にストロボが発光します。



- シャッタースピードが 1/100 またはそれより速いときは、[後幕シンクロ] を選んでいても、ストロボは [先幕シンクロ] の設定で発光します。

調光方式を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

ストロボ撮影時、標準的なストロボ露出が得られる [評価調光] で調光されますが、外部調光ストロボのように測光領域全体を平均的に測光するように調光方式を変えることもできます。



- [MENU] ボタンを押して、[3] タブの [ストロボ制御] にある [E-TTL II 調光方式] を選んでから、[平均調光] を選びます。



- [平均調光] では、撮影シーンに応じてストロボ調光補正を行ってください。

ストロボの設定を初期化する

▶ 静止画 ▶ 動画

[内蔵ストロボ機能設定] の設定を初期化できます。

- [MENU] ボタンを押して、[📷 3] タブの[ストロボ制御]にある[設定初期化]を選びます。
- [内蔵ストロボ設定初期化] を選び、[⏏] を押して表示された画面で [◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して [OK] を選び、[⏏] を押します。

撮影スタイルにあわせて機能を変える

手ブレ補正の設定を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

手ブレ補正機能のある EF-M レンズを取り付けているときは、MENU で手ブレ補正を設定できます。



1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[CAMERA 2] タブの [手ブレ補正設定] を選び、[ON] を押します (P51)。

2 設定する

- [手ブレ補正] を選んでから、目的の項目を選びます (P51)。

入	手ブレ補正機能を内蔵したレンズで、撮影するときのカメラの動きや手の揺れによるブレを補正します。
切	手ブレ補正を切ります。



- 手ブレを補正しきれないときは、三脚などでカメラを固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、[切] にすることをおすすめします。
- EF-M 以外のレンズを取り付けているときは、[手ブレ補正] は表示されません。レンズにある手ブレ補正スイッチで設定してください (P32)。
- バルブ撮影時は、手ブレ補正を使わないようにしてください。手ブレ補正機能が誤作動することがあります。

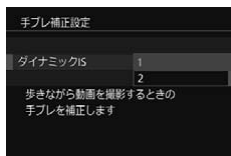


- 手ブレ補正機能のあるレンズの名称には「IS」が付いています。ISは、Image Stabilizer（イメージスタビライザー）の略で、手ブレ補正機能のことです。

撮影前の画面と同じ大きさで動画を撮影する

▶ 静止画 ▶ 動画

動画撮影では大きな手ブレも補正するため、撮影をはじめると、画面に表示される範囲が変わり被写体が大きくなります。この大きな手ブレの補正を行わないことで、撮影前の画面と同じ大きさで動画を撮影することができます。



- 「手ブレ補正の設定を変える」(📖144) の操作で [手ブレ補正設定] 画面を表示します。
- [ダイナミック IS] を選んでから、[2] を選びます (📖51)。



- [ダイナミック IS] は、ダイナミック IS に対応したレンズを取り付けているときだけ表示されます。



- [手ブレ補正] が [切] のときも、撮影前の画面と同じ大きさで動画を撮影することができます。

レンズの周辺光量／色収差を補正する

▶ 静止画 ▶ 動画

レンズの特性によって、画像の四隅が暗くなったり、被写体の輪郭部分に色のにじみが現れることがあります。これらの現象を補正することができます。

なお、カメラにはあらかじめ、周辺光量補正、色収差補正を行うためのデータがレンズ約 35 本分登録されており、ソフトウェア「EOS Utility」を使うと、登録されているレンズを確認したり、未登録レンズの補正データをカメラに登録することができます。詳しくは、EOS Utility 使用説明書 (📖304) を参照してください。

* EF-M レンズは登録する必要はありません。

1 [レンズ光学補正] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[📷2] タブの [レンズ光学補正] を選び、項目を選びます (📖51)。



2 補正データが登録されていることを確認する

- レンズ名の下に [補正データあり] と表示されていることを確認します。

3 補正内容を設定する

- 項目を選んで [Ⓜ] を押し、内容を設定します (📖49)。



- 撮影した JPEG 画像の周辺光量、色収差を、後から補正することはできません。
- 他社製のレンズ使用時は、[補正データあり] と表示されていても、補正 [しない] に設定することをおすすめします。
- RAW 画像は、ソフトウェア「Digital Photo Professional」(📖304) で補正してください。
- [周辺光量補正] を [する] に設定すると、撮影条件によっては画像周辺部にノイズが発生することがあります。
- RAW 画像をカメラで見ても色収差補正の効果は確認できません。ソフトウェア「Digital Photo Professional」(📖304) で確認してください。



- 設定内容はレンズを交換しても引き継がれますが、レンズの補正データが登録されていないと補正されません。手順2で[補正データなし] と表示されているときは、ソフトウェア「EOS Utility」(📖304) を使ってレンズの補正データをカメラに登録してください。
- 補正の効果が分かりにくいときは、撮影後、画像を拡大して確認することをおすすめします。
- エクステンダーやライフサイズコンバーター装着時も補正します。
- 距離情報を持たないレンズを使用したときは、補正量が少なくなります。
- [周辺光量補正] は、ソフトウェア「Digital Photo Professional」で最大補正を行ったときよりもやや控えめな補正になります。
- [周辺光量補正] は、ISO 感度が高くなるほど、補正量が少なくなります。
- ソフトウェアの使用説明書は弊社 Web サイトからダウンロードしてください。ダウンロードの方法については「ソフトウェアの使用説明書」(📖305) を参照してください。

ノイズ低減の強さを変える

▶ 静止画 ▶ 動画

ノイズ低減の強さを [弱め] [標準] [強め] の3種類から選べます。特に高いISO感度で撮影するときには有効です。



- [MENU] ボタンを押して [CAMERA 4] タブの [高感度撮影時のノイズ低減] を選んだあと、目的の項目を選びます (図51)。

マルチショットノイズ低減機能を使う

1回の撮影で4枚連続撮影して自動的に画像合成を行うことで、[高感度撮影時のノイズ低減] の [強め] より高画質なノイズ低減処理を行うことができます。

1 [MENU] を選ぶ

- 「ノイズ低減の強さを変える」の手順で [MENU] を選びます。

2 撮影する

- シャッターボタンを全押しすると、4枚連続して撮影されたあと、画像が合成されるため、撮影中はカメラをしっかりと構え続けてください。



- 手ブレなどにより画像のズレ量が大きいときは、思いどおりの効果が得られないことがあります。三脚などでカメラが動かないように固定することをおすすめします。
- 動いている被写体を撮影すると、被写体の動きが残像のように写ったり、被写体の周辺が暗めに写ることがあります。
- 撮影条件によっては、画像周辺部にノイズが発生することがあります。
- AEB、[長秒時露光のノイズ低減]、RAW 画像撮影時、バルブ撮影時は設定できません。また、これらがすでに設定されているときは [マルチショットノイズ低減機能] は設定できません。
- ストロボ撮影はできません。
- 通常の撮影よりも、カードに画像が記録されるまでの時間が長くなります。処理が終わるまで次の撮影はできません。

シャッタースピードが遅いときのノイズを低減する

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッタースピードが1秒またはそれより遅いときに、長秒時露光で発生するノイズを低減できます。



- [MENU] ボタンを押して、[CAMERA 4] タブの [長秒時露光のノイズ低減] を選び、項目を選びます (p.51)。

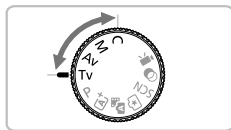
OFF (しない)	長秒時露光時のノイズ低減処理をしません。
AUTO (自動)	シャッタースピードが1秒またはそれより遅い撮影で長秒時露光特有のノイズが検出されたときに、ノイズ低減の処理をします。
ON (する)	シャッタースピードが1秒またはそれより遅い撮影で、必ずノイズ低減の処理をします。



- 撮影後にノイズ低減処理が行われると、次の撮影までにしばらく時間がかかることがあります。
- ISO 1600以上の感度で [ON] に設定して撮影すると、[OFF] [AUTO] 設定時より粗い画像になることがあります。

Tv、Av、M、Cモード

作画を意図したハイレベルな静止画を撮ったり、撮影スタイルにあわせてカメラをカスタマイズする



- それぞれのモードになっていることを前提に説明しています。

シャッタースピードを決めて撮る ([Tv] モード)

▶ 静止画 ▶ 動画


シャッタースピードを目的の値に設定して撮影できます。設定したシャッタースピードに応じて、カメラが自動的に絞り数値を設定します。設定できるシャッタースピードは「シャッター」(369) を参照してください。



1 [Tv] モードにする

- モードダイヤルを **[Tv]** にします。

2 シャッタースピードを設定する

-  ダイヤルを回してシャッタースピードを設定します。



- [長秒時露光のノイズ低減] を [ON] または [AUTO] に設定していると、シャッタースピードを 1 秒またはそれより遅くして撮影したときに、撮影後にノイズ低減処理を行うため、次の撮影までにはしばらく時間がかかることがあります。
- シャッタースピードを遅くしたときに三脚などでカメラを固定するときは、手ブレ補正の機能を使わず撮影することをおすすめします (144)。
- ストロボ発光時のシャッタースピードの上限は 1/200 秒です。1/200 秒より速いシャッタースピードに設定しても、1/200 秒に自動設定されて撮影されます。
- シャッターボタンを半押ししたときに絞り数値がオレンジ色で表示されるときは、標準露出から外れています。絞り数値が白字で表示されるまで、シャッタースピードを変えます (セーフティソフトも使えます (163))。



- **[Tv]** は、Time value (タイムバリュー) の略で時間量のことです。

絞り数値を決めて撮る ([Av] モード)

▶ 静止画 ▶ 動画

絞り数値を目的の値に設定して撮影できます。設定した絞り数値に応じて、カメラが自動的にシャッタースピードを設定します。


設定できる絞り数値はレンズによって異なります。



1 [Av] モードにする

- モードダイヤルを **[Av]** にします。

2 絞り数値を設定する

-  ダイヤルを回して絞り数値を設定します。





- シャッターボタンを半押ししたときにシャッタースピードがオレンジ色で表示されるときは、標準露出から外れています。シャッタースピードが白字で表示されるまで、絞り数値を変えます（セーフティシフトも使えます (163)）。
- ストロボ発光時のシャッタースピード上限は 1/200 秒です。ストロボ撮影時は、シャッタースピードが 1/200 秒より速いシャッタースピードにならないように、設定した絞り数値が自動的に変わることがあります。



- **[Av]** は、Aperture value (アパーチャーバリュー) の略でレンズの中に入っている「絞り」の開口量のことです。

ピントの合う範囲を確認する

絞りは撮影しないときは開いていて、撮影の瞬間だけ大きさが変わります。このため、モニターで見えるピントの合う範囲は狭く（浅く）なっています。ボタンに （絞り込み）を登録する（ 165）と、登録したボタンを押したときにピントの合う範囲が確認できるようになります。

シャッタースピードと絞り数値を決めて撮る ([M] モード)

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッタースピードと絞り数値を個別に設定して、目的の露出で撮影できます。

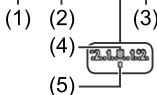
設定できるシャッタースピードは「シャッター」(369) を参照してください。設定できる絞り数値はレンズによって異なります。

1 [M] モードにする

- モードダイヤルを [M] にします。

2 設定する

- [🔧] ダイアルを回してシャッタースピード (1) を設定します。
- [▲] を押して、絞り数値 (2) または ISO 感度 (3) を選び、[🔴] ホイールを回して設定します。
- ISO 感度を固定しているときは、設定した値に連動して、露出レベルマーク (5) が移動し、標準露出 (4) からの差が確認できます。標準露出からの差が 2 段を越えると、露出レベルマークが [◀] または [▶] になります。
- ISO 感度が [AUTO] のときは、シャッターボタンを半押しすると ISO 感度が決まって画面の明るさが変わります。設定したシャッタースピードと絞り数値で標準露出を得られないときは、ISO 感度がオレンジ色で表示されます。





- 設定後にズーム操作をしたり構図を変えると、露出レベルマークが移動することがあります。
- ISO 感度を固定している時は、シャッタースピードと絞り数値の設定により、画面の明るさが変わります。ただし、ストロボを上げてストロボモードを [🔆] にすると画面の明るさは変わりません。
- ISO 感度を [AUTO] にしているときは、設定したシャッタースピードと絞り数値に対して標準露出になるように ISO 感度が変わるため、思いどおりの露出で撮影できないことがあります。
- オートライティングオブティマイザ (📖 117) によって、画像の明るさが変わることがあります。オートライティングオブティマイザの設定画面で [INFO] ボタンを押して [マニュアル露出時は OFF] に [✓] を付けると、[M] モードではオートライティングオブティマイザが [しない] 固定になります。




- [M] は、Manual (マニュアル) の略です。
- 標準露出は設定している測光方式 (📖 113) で算出されます。
- [🔧] ホイールを回してシャッタースピード、[🔆] ダイアルを回して絞り数値を変えるようにも設定できます (📖 166)。
- ISO 感度を [AUTO] に設定しているときは次の操作が行えます。
 - 露出補正ダイアルを回して露出を補正できます。
 - [✳] ボタンを押すと、ISO 感度が固定されて画面の明るさが変わります。

長時間露光（バルブ）撮影

バルブ撮影は、シャッターボタンを押している間だけ露光を行う機能です。



1 バルブ撮影に設定する

- 「シャッタースピードと絞り数値を決めて撮る（[M] モード）」（ 155）の手順 1～2 の操作で、シャッタースピードを [BULB] に設定します。


2 撮影する

- シャッターボタンを全押ししている間、露光します。露光中は、露光経過時間が表示されます。



- 手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、手ブレ補正の機能を使わず撮影することをおすすめします（ 144）。
- 長時間のバルブ撮影を行うと、画像に含まれるノイズが多くなり粗い画像になることがあります。[長秒時露光のノイズ低減] を [AUTO] または [ON] に設定するとノイズを低減できます（ 150）。



- リモコン（別売）を使ってバルブ撮影を行うこともできます（ 292）。



- [タッチシャッター] を [する] に設定しているときは、画面をタッチすると撮影が始まり、もう一度タッチすると撮影が終了します。タッチするときにカメラが動かないように注意してください。

ストロボ発光量を設定する

▶ 静止画 ▶ 動画

[Tv] [Av] [M] モードでは、ストロボの発光量を3段階から選べます。

1 発光モードを [マニュアル発光] にする

- [MENU] ボタンを押して、[📷 3] タブの [ストロボ制御] を選んだあと、[内蔵ストロボ機能設定] にある [発光モード] を [マニュアル発光] に設定します (📖51)。



2 設定する

- ストロボを上げて [▶] を押したあと、すぐに [🌞] ダイアルを回して発光量を選び、[🔍] を押します。
- 設定されると発光量が表示されます。
[🌞] : 小、[🌞.] : 中、[🌞.ll] : 大



- ストロボ発光量は、MENU (📖51) の [📷 3] タブの [ストロボ制御] にある [内蔵ストロボ機能設定] で [👉発光量] を選んで設定することができます。
- MENU (📖51) の [ストロボ制御] 画面は、次の方法でも表示できます。
 - [▶] を1秒以上押す。
 - ストロボを上げているときに [▶] を押してからすぐに [MENU] ボタンを押す。



- MENU (📖51) の [ストロボ制御] 画面は、[▶] を押してから [MENU] をタッチすることでも表示できます。

シャッタースピードと絞り数値を決めて動画を撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッタースピード、絞り数値、ISO 感度を個別に設定して撮影できます。設定できるシャッタースピードは「シャッター」(369) を参照してください。設定できる絞り数値はレンズによって異なります。

1 [P] モードにする

- モードダイヤルを [P] にします。
- [M] を押してメニュー項目の [P] を選び、[P] を選びます (49)。



2 設定する

- シャッタースピードは [SUN] ダイアルを回して設定します。
- 絞り数値と ISO 感度は、[▲] を押して設定する項目を選んでから [DISP] ホイールを回して設定します。



- 蛍光灯や LED などの照明下で撮影しているとき、設定したシャッタースピードによっては、画面のちらつきが記録されることがあります。
- 絞り数値が大きいときは、ピントが合うまでに時間がかかったり、適切なピント合わせができないことがあります。



- ISO 感度を固定しているときは、設定した値に連動して、露出レベルマークが移動し、標準露出からの差が確認できます。標準露出からの差が2段を越えると、露出レベルマークが [◀] または [▶] になります。
- ISO 感度が [AUTO] のときは、シャッターボタンを半押しすると ISO 感度を確認できます。設定したシャッタースピードと絞り数値で標準露出を得られないときは、露出レベルマークが移動し、標準露出からの差が確認できます。標準露出からの差が2段を越えると、露出レベルマークが [◀] または [▶] になります。
- 設定できる ISO 感度は、画質によって異なります。
[FHD 29.97P] [FHD 23.98P] [FHD 25.00P] では ISO 100 ~ ISO 3200、
[HD 59.94P] [HD 50.00P] [VGA 29.97P] [VGA 25.00P] では ISO 100 ~ ISO 6400 です。



- 画面下部の設定項目をタッチして選んだあと、[◀] か [▶] をタッチして設定することもできます。
- [AF] をタッチすると [MF] と表示され、ピント位置が固定されます。

撮影スタイルにあわせてカメラをカスタマイズする

情報の表示内容を設定する

撮影画面で [INFO.] ボタンを押したときに切り換える画面を設定します。表示する情報をカスタマイズすることもできます。

1 設定画面を表示する

- [📷 1] タブの [撮影情報表示設定] にある [切り換え設定] を選び [ⓘ] を押します (📖49)。



2 設定する

- [▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して表示させない画面表示を選び [ⓘ] を押して [✓] を外します。もう一度 [ⓘ] を押すと [✓] が付いて表示されるようになります。
- [MENU] ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。



- 手順2で画面表示を選んだとき、画面の左側で表示イメージを確認できます。
- すべての [✓] をはずしたり、[撮影機能画面] だけ [✓] を付ける設定にはできません。

表示する情報をカスタマイズする



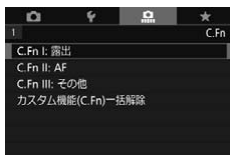
- 「情報の表示内容を設定する」(161)の手順1～2の操作で [カスタム表示1] または [カスタム表示2] を選び、[INFO] ボタンを押します。
- [▲] か [▼] を押すか [DISP] ホイールを回して表示させる情報表示を選び、[DISP] を押して [✓] を付けます。
- [MENU] ボタンを押して [切り換え設定] 画面に戻ると、表示イメージを確認できます。



- [カメラ1] タブの [撮影情報表示設定] にある [グリッド] で、より細かいグリッドに変えることができます。
- [カメラ1] タブの [撮影情報表示設定] にある [ヒストグラム] で、表示するヒストグラムを、輝度ヒストグラムからRGBヒストグラムに変えることができます。

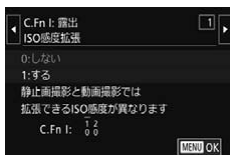
カメラの詳細機能を設定する

MENU (📖51) の [🔍1] タブでは、撮影スタイルに応じて、カメラの機能を細かく変更できます。また、よく使う機能を電子ダイヤル、コントローラーホイール、ボタンに登録することができます。



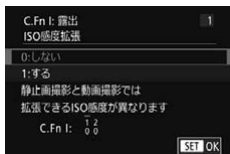
1 機能の分類を選ぶ

- [MENU] ボタンを押したあと、[🔍1] タブを選びます (📖51)。
- [▲] か [▼] を押すか [🔍] ホイールを回して機能の分類 (露出、AF、その他) を選び、[🔍] を押します。



2 機能を選ぶ

- 露出またはその他を選んだときは、[◀] か [▶] を押すか [🔍] ダイヤルか [🔍] ホイールを回して機能を選び、[🔍] を押します。



3 内容を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [🔍] ホイールを回して内容を選びます。
- [🔍] を押すと設定されて前の画面に戻ります。

機能の分類	機能	説明
露出	ISO 感度拡張	[1: する] に設定すると、ISO 感度を [H] に設定できるようになります。[H] は ISO25600 相当、[P [★]] モードでは ISO 6400 相当 ([^{HD} 29.97P] [^{HD} 23.98P] [^{HD} 25.00P]) または ISO 12800 相当 ([^{HD} 59.94P] [^{HD} 50.00P] [^{VGA} 29.97P] [^{VGA} 25.00P]) です。
	セーフティシフト	[1: する] に設定すると、[Tv] [Av] モードで設定したシャッタースピードや絞り数値で標準露出が得られないとき、標準露出に近づけるように自動的にシャッタースピードや絞り数値が変更されるようになります。
AF	AF 補助光 (LED) の投光	[1: しない] に設定すると、AF 補助光が点灯しなくなります。
その他	操作ボタン カスタマイズ	よく使う機能を電子ダイヤル、コントローラーホイール、ボタンに登録することができます (📖 165)。
	レンズなしレリーズ	[1: する] に設定すると、カメラにレンズを取り付けていなくても、シャッターボタンを全押ししたときや動画ボタンを押したときに画像を撮影するようになります。
	電源オフ時のレンズ収納	電源を切ったときに、自動的にレンズを収納するかどうかを設定できます。



- 手順 1 の画面で [カスタム機能 (C.Fn) 一括解除] を選んで [Ⓜ] を押すと、[🔒 1] タブで変更した機能をすべて解除し、初期状態に戻すことができます。
- [ISO 感度拡張] を [1: する] にしていても、[高輝度側・階調優先] を [D+] に設定しているとき (📖 118) は、[H] を選ばません。
- セイフティシフトは、ストロボ発光時は機能しません。
- AF 補助光とは、暗いところでシャッターボタンを半押ししたときに、ピントを合わせるために点灯するランプ (前面) の光です。
- [電源オフ時のレンズ収納] に対応しているのは、下記のレンズです。
 - EF 40mm F2.8 STM
 - EF-S 24mm F2.8 STM

ボタン、ダイヤル、ホイールに機能を登録する

シャッターボタン / [✳] ボタンや [🔆] ダイアル / [🔘] ホイールの機能を変えたり、[M-Fn] ボタン、[▼] (🗑️ ボタン)、動画ボタンによく使う機能を登録することができます。

1 登録画面を表示する

- 「カメラの詳細機能を設定する」 (📖 163) の手順 1～2 の操作で、[その他] の [操作ボタン カスタマイズ] を選びます。



2 登録する

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [🔆] ダイアルか [🔘] ホイールを回して、登録先のダイヤル / ホイールやボタンを選び、[Ⓜ] を押します。
- シャッターボタン / [✳] ボタンまたは [🔆] ダイアル / [🔘] ホイールに登録するときは、[▲] か [▼] を押すか [🔘] ホイールを回して機能を選びます。

- [M-Fn] ボタン、[▼] ([⏪] ボタン)、動画ボタンに登録するときは、[▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [☀] ダイアルか [⦿] ホイールを回して機能を選びます。
- [Ⓜ] を押すと設定されて元の画面に戻ります。

シャッターボタン / [✳] ボタン	[AE/AF(AE ロックなし)] に設定すると、[✳] ボタンを押してピントを合わせることができます。なお、このときは、[✳] ボタンを押しても AE ロックされません。また、タッチシャッターでは、ピント合わせをせずに撮影されます。
[☀] ダイアル / [⦿] ホイール	[Av/Tv] に設定すると、[M] モードのとき [☀] ダイアルで絞り数値、[⦿] ホイールでシャッタースピードを設定します。
[M-Fn] ボタン	ボタンを押したときに登録した機能が呼び出せるようになります。
[▼] ([⏪]) ボタン	
動画ボタン	






- [M-Fn] ボタン、[▼] ([⏪]) ボタン、動画ボタンを初期状態に戻すときは、[MFn] [⏪] [▶] を選びます。
- [M-Fn] ボタン、[▼] ([⏪]) ボタン、動画ボタンに機能を登録したくないときは、[MFn] [⏪] [▶] を選びます。
- [M-Fn] ボタン、[▼] ([⏪]) ボタン、動画ボタンの登録画面で、アイコン右下の [⊙] は、設定している撮影モードや設定している機能の状態では使えないことを示しています。
- [RAW] を登録すると、ボタンを押すたびに RAW 画像を同時撮影するかどうか切り換わります。
- [絞] を登録すると、ボタンを押している間、設定した絞り数値になり、ピントの合う範囲が確認できます。
- [z] を登録すると、ボタンを押すと画面の表示が消えます。次のいずれかの操作で復帰します。
 - 電源ボタン以外のボタンを押す
 - 露出補正ダイヤル、モードダイヤル、[☀] ダイヤル、[⦿] ホイールを回す
 - カメラの縦・横の向きを変える
 - ストロボを開閉する
 - 液晶モニターを開いてレンズ側に向けるか、レンズ側に向いていた液晶モニターを閉じる

撮影の設定を登録する（[C] モード）

▶ 静止画 ▶ 動画


よく使う撮影モードと、自分好みに設定した各機能の設定を登録することができます。登録された設定へは、モードダイヤルを[C]にするだけで、切り換えることができます。また、撮影モードを切り換えたり、電源を切ったりすると解除されてしまう設定（セルフタイマーなど）も記憶します。

登録できる設定





- 撮影モード（[P] [Tv] [Av] [M]）
- [P] [Tv] [Av] [M] モードで設定できる項目（ 112 ~  155）
- 撮影メニューの設定内容
- マイメニューの設定内容（ 170）

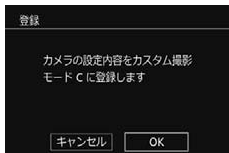
1 登録したい撮影モードにして、各種機能を設定する

2 登録画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[4] タブの [カスタム撮影モード (C モード)] を選び、 を押します。

3 登録する

- [▲] か [▼] を押すか  ホイールを回して [登録] を選び、 を押します。
- 確認画面が表示されるので、[◀] か [▶] を押すか  ホイールを回して [OK] を選び、 を押します。





- 一度登録した、設定の一部（撮影モード以外）を変えるときは、**[C]** を選んで設定を変え、もう一度手順 2～3 を行います。この設定内容は、他の撮影モードには反映されません。

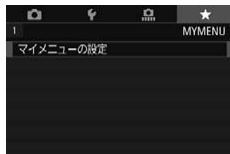


- 登録した設定を初期状態に戻すときは、手順 2 の画面で [登録解除] を選んで **[Ⓜ]** を押したあと、確認画面で [OK] を選んで **[Ⓜ]** を押します。

よく使う撮影メニューを登録する（マイメニュー）

▶ 静止画 ▶ 動画

よく使う撮影メニューの項目を、[★ 1] タブに6項目まで登録できます。
[★ 1] タブに登録すると、項目を1つの画面で表示できるため、素早く設定を変えられます。



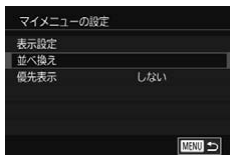
1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[★ 1] タブの「マイメニューの設定」を選んだあと、[OK] を押します (p.51)。



2 設定する

- [▲] か [▼] を押すか [OK] ホイールを回して「表示設定」を選び、[OK] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [OK] ホイールを回して登録したい撮影メニュー項目（6つまで）を選び、[OK] を押します。
- [✓] が表示されます。
- 登録を解除するときは、[OK] を押して [✓] を消します。
- [MENU] ボタンを押します。



3 項目の表示順を変える

- [▲] か [▼] を押すか [●] を回して [並べ換え] を選び、[●] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [●] を回して表示順を変えたい項目を選び、[●] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して表示順を変え、[●] を押します。
- [MENU] ボタンを押します。



- 手順2で、項目が灰色になっていても設定はできますが、撮影モードによっては使えないことがあります。



- [優先表示] で [する] を選ぶと、撮影モードで [MENU] ボタンを押したときに、すぐにマイメニューを表示することができます。



- [表示設定] の画面では、タッチして登録 / 解除する項目を選ぶこともできます。
- [並べ換え] の画面では、項目をドラッグして表示順を変えることもできます。

再生モード

撮った画像を見て楽しんだり、いろいろな機能を使って画像の検索や編集をする

- [▶] ボタンを押して、再生モードにしてから操作してください。



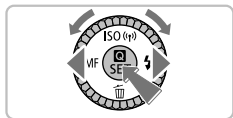
- パソコンで編集した画像やファイル名を変えた画像、このカメラ以外で撮影した画像は、再生や編集ができないことがあります。

撮影した画像を画面で見ることができます。



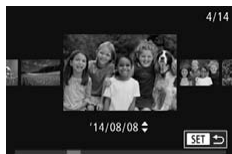
1 再生モードにする

- [▶] ボタンを押します。
- 最後に撮影した画像が表示されます。



2 画像を選ぶ

- [◀] を押すか [●] ホイールを反時計方向に回すと前の画像が表示され、[▶] を押すか [●] ホイールを時計方向に回すと次の画像が表示されます。
- [◀] か [▶] を押したままにすると、画像が速く切り換わります。



- [●] ホイールを速く回すとこの画面が表示されます（スクロール再生）。この状態で [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して画像を選びます。
- [⊗] を押すと 1 枚表示に戻ります。
- スクロール再生中に [▲] か [▼] を押すと、日付ごとにジャンプして画像を探せます。
- 動画では、[SET▶] が表示されます。動画を再生するときには手順 3 に進みます。





3 動画を再生する

- [Ⓜ] を押したあと、[▲] か [▼] を押して [▶] を選び、もう一度 [Ⓜ] を押すと再生がはじまります。



(1)

4 音量を調整する

- [▲] か [▼] を押して調節します。
- 音量バー (1) が消えても、[▲] か [▼] を押して調節することができます。

5 一時停止する

- [Ⓜ] を押すたびに、一時停止／再開できます。
- 再生が終わると [SET▶] が表示されます。

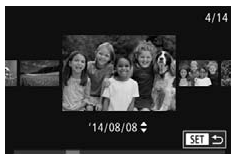


- 再生モードの状態でシャッターボタンを半押しすると撮影モードになります。
- スクロール再生を使わないようにするには、MENU (📖 51) で [▶ 3] タブの [スクロール再生] を選び、[切] を選びます。
- 再生モードにしたときに表示される画像を最新の撮影画像からにしたいときは、MENU (📖 51) で [▶ 3] タブの [再生開始位置] を選び、[最新の画像] を選びます。
- 画像を切り換えたときの効果を変えるには、MENU (📖 51) で [▶ 3] タブの [画像切り換え効果] を選び、目的の効果を選びます。

画面をタッチして操作する



- 画面を左方向にドラッグ（指を画面に触れたまま移動）すると、次の画像が表示され、右方向にドラッグすると前の画像が表示されます。



- 連続して素早くドラッグすると、スクロール再生の画面を表示できます。
- スクロール再生でも、画面を左右にドラッグして画像を選べます。
- 中央の画像をタッチすると 1 枚表示に戻ります。
- スクロール再生中に画面を上下方向に素早くドラッグすると、日付ごとにジャンプして画像を探せます。
- 「見る」の手順 3 (📖 175) で [🔍] をタッチすると動画の再生がはじまります。
- 動画の再生中に画面を上下方向に素早くドラッグすると音量を調節できます。



- 動画の再生中に画面をタッチすると停止してこの画面が表示され、次の操作ができるようになります。
 - [🔊] をタッチすると音量パネルが表示され、[▲] か [▼] をタッチすると音量を変えられます。
 - スクロールバーをタッチしたり、左右方向にドラッグしたりすると、表示するフレームを変えられます。
 - [▶] をタッチすると再開されます。
 - [↶] をタッチすると「見る」の手順 2 (📖 174) の画面に戻ります。

表示を切り換える

再生モードで [INFO.] ボタンを押すと、情報表示なしの状態から、情報表示 1 (簡易情報表示)、情報表示 2 (詳細情報表示) の順に切り換えることができます。



- Wi-Fi でプリンター以外の機器と接続しているときは、表示を切り換えることはできません。

表示する撮影情報を設定する

切り換える画面表示を設定できます。それぞれの画面表示の内容については、「再生時」(P.337) を参照してください。



1 設定画面を表示する

- [▶] 4] タブの [再生情報表示設定] を選び [OK] を押します。



2 情報表示を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して表示させたい情報表示を選び、[OK] を押して [✓] を付けます。
- [MENU] ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。



- 手順 2 で画面表示を選んだとき、画面の左側で表示イメージを確認できます。
- [★] モードの設定内容を表示するときは [情報表示 2] に [✓] を付けてください。[INFO.] ボタンを押したときに、[★] モードの設定内容、[情報表示 2] の順に表示されるようになります。

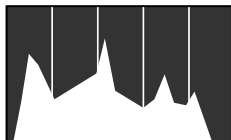
高輝度（ハイライト）警告

▶ 静止画 ▶ 動画

情報表示 2 ～ 6 (📖 178) にすると、画像上の白トビした部分が点滅表示されます。

輝度ヒストグラム

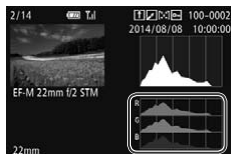
▶ 静止画 ▶ 動画



- 情報表示 2 ～ 6 の画面上部に表示されるグラフは、画像中の明るさの分布を示した輝度ヒストグラムというグラフです。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとの量を示していて、露出の傾向を確認できます。

RGB ヒストグラム

▶ 静止画 ▶ 動画



- 情報表示 3 には、画像中の赤、緑、青の分布を示す RGB ヒストグラムが表示されます。横軸は各色の明るさ、縦軸は色の明るさごとの量を示していて、色の傾向を確認できます。



- 情報表示 2 ～ 6 の画面上部に RGB ヒストグラムを表示させることもできます。[📺 4] タブの [再生情報表示設定] の設定画面で情報表示 2 ～ 6 を選んで [INFO] ボタンを押したあと、[▲] か [▼] を押して [RGB] を選び、[🔍] を押ししてください。なお、このときは情報表示 3 の画面下部に輝度ヒストグラムが表示されるようになります。
- ヒストグラムは撮影時に表示することもできます (📖 335)。

静止画を撮影したときに作成された短編動画（ダイジェスト動画）を見る

▶ 静止画 ▶ 動画

[] モード (📖 63) で静止画を撮影した日に作成されたダイジェスト動画を見ることができます。



1 画像を選ぶ

- [] モードで撮影した静止画には [] が表示されます。
- [] が表示された静止画を選び [] を押します。



2 短編動画を再生する

- [] を押して、メニュー項目の [] を選びます (📖 49)。
- 静止画を撮影した日に作成された短編動画が先頭から再生されます。



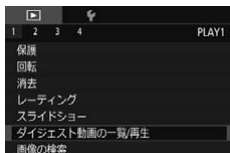
- 情報表示なし (📖 178) にしているときは、一定時間で [] が消えます。



- 手順 1 の画面で [] をタッチしたあと、手順 2 の画面で [] をタッチすることでもダイジェスト動画を再生できます。

日付ごとに選んで見る

ダイジェスト動画を、日付で選んで見ることができます。



1 再生する動画を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶ 1] タブの [ダイジェスト動画の一覧/再生] を選び、目的の日付を選びます (📖51)。

2 再生する

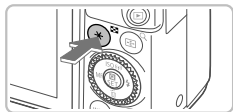
- [🔍] を押すと、動画が再生されます。

画像を探したり、特定の画像だけを見る

一覧表示（インデックス表示）で画像を探す

▶ 静止画 ▶ 動画

複数の画像を一覧で表示して、目的の画像を素早く探せます。



1 一覧表示にする

- [■] ボタンを押すと一覧表示になり、さらに押すと表示される画像の数が増えます。
- [Q] ボタンを押すごとに、表示される画像の数が減ります。



2 画像を選ぶ

- [●] ホイールを回して表示画像を切り換えます。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して画像を選びます。
- 選ばれている画像にはオレンジ色の枠が表示されます。
- [⊕] を押すと選ばれている画像が 1 枚表示になります。



- [▲] か [▼] を押したままにするか [●] ホイールを速く回すと、奥行きのある表示になりますが、MENU (51) で [▶] 3 タブの [一覧表示の効果] を [切] にすると、この効果をつけずに表示することができます。

画面をタッチして操作する



- 1枚表示の状態で、2本の指で画面をタッチし、指の間隔を縮めて画面をつまむように動かすと一覧表示になります。

- 同じ動作を繰り返すたびに、表示される画像の数が増えます。

- 画面を上下方向にドラッグすると、指の動きにあわせて表示が切り換わります。



- 2本の指で画面をタッチし、指の間隔を広げるように動かすと、表示される画像の数が減ります。

- 画像をタッチして選び、もう一度タッチすると、タッチした画像が1枚表示になります。

指定した条件で画像を探す

▶ 静止画 ▶ 動画

カード内に多くの画像があるときは、指定した条件で画像を検索して、目的の画像を素早く探せます。また、検索した画像だけをまとめて保護したり (📖 191)、消したり (📖 197) することもできます。

★ レーティング	レーティング設定した画像 (📖 204) を表示
🕒 日付	指定した撮影日の画像を表示
👤 人物	顔が検出された画像を表示
🎞️ 静止画 / 動画	静止画、動画、[📷] モード (📖 63) で作成された動画のいずれかを表示



1 1つ目の条件を選ぶ

- [🔍] を押して、メニュー項目の [👤] を選び、[🔍] を押したあと、[▲] か [▼] を押して条件を選びます。
- [👤] を選んだときは、[◀] か [▶] を押すか [🔍] ホイールを回して検索された画像だけを見ることができます。検索した画像だけをまとめて操作したいときは、[🔍] を押して、手順3に進みます。

2 2つ目の条件を選んで、検索した画像を見る

- 1つ目の条件に [★] [🕒] [👤] を選んだときは [◀] か [▶] を押して2つ目の条件を選び、[🔍] ホイールを回すと検索された画像だけを見ることができます。
- 検索された画像だけの表示に切り換えるときは、[🔍] を押して手順3に進みます。



3 検索した画像を見る

- 検索した画像が黄色の枠つきで表示され、[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回すと検索した画像だけを見ることができます。
- 検索した画像の表示を解除するときは、[Ⓜ] を押してメニュー項目の [🔍] を選び、[Ⓜ] を押します。



- 目的の条件と一致する画像がないときは、条件を選ぶことはできません。



- 手順2で [INFO.] ボタンを押すと、情報の非表示／表示を切り換えられます。
- 検索した画像を表示しているとき（手順3）は、「一覧表示（インデックス表示）で画像を探す」（📖182）、「拡大して見る」（📖188）、「スライドショーで見る」（📖190）などの操作で画像を見ることがもできます。また、「保護する」（📖191）で [検索した全画像を保護]、「まとめて消す」（📖197）、「印刷指定（DPOF）」（📖316）、「フォトブック指定」（📖320）で [検索したすべての画像を指定] を選ぶと、検索した画像だけをまとめて操作することができます。
- 画像を編集して新規保存（📖206～📖211）などを行うとメッセージが表示されて、検索した画像の表示が解除されます。
- [MENU] ボタンを押して [▶ 1] タブの [画像の検索] でも同じように操作できます。



- 手順1、2で画面をタッチして条件を選ぶこともできます。

電子ダイヤルを使って画像をとばす

	レーティング設定した画像 (📖204) を表示
	各撮影日の先頭画像を表示
	画像を 10 枚ずつとばして表示
	画像を 100 枚ずつとばして表示



1 条件を選ぶ

- 1 枚表示の状態で [🌞] ダイアルを回したあと、[▲] か [▼] を押して条件(ジャンプ方法)を選びます。

2 選んだ条件の画像を見たり、画像をとばす

- [🌞] ダイアルを回すと選んだ条件の画像だけを見たり、選んだ条件の単位で画像をとばします。



- [1★] [2★] [3★] [4★] [5★] は、そのレベルのお気に入りの画像があるときに表示されます。また、[6★] [7★] は、いずれかのレベルのお気に入りの画像があるときに表示されます。
- [6★] ではすべてのレベルのお気に入り画像にジャンプします。
- インデックス表示のときに [🌞] ダイアルを回すと、1 枚表示のときに選んだジャンプ方法で、画像をとばして表示します。ただし、[10] [100] を選んでいるときは、[🕒] になります。

画面をタッチして操作する



- 2本の指で左右方向にドラッグすることでも「電子ダイヤルを使って画像をとばす」の手順1 (📖 186) で選んだジャンプ方法で、画像をとばして表示できません。

いろいろな方法で画像を見る

拡大して見る

▶ 静止画 ▶ 動画



(1)

1 拡大する

- [Q] ボタンを押すと拡大表示になり、押したままにすると最大約 10 倍まで拡大できます。
- 画面には表示位置の目安 (1) が表示されます。
- [■] ボタンを押すと縮小表示になり、押したままにすると 1 枚表示に戻ります。

2 表示位置を移動したり、画像を切り換える

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すと、表示位置が移動します。[⊕] を押すと、撮影時にピント合わせをしたフレームの位置に移動します。
- [●] ホイールを回すと拡大したまま画像を切り換えられます。



- 拡大表示のときに [MENU] ボタンを押すと、1 枚表示に戻すことができます。
- 1 枚表示の状態 [Q] ボタンを押したときの拡大倍率は、[▶] 4] タブの [拡大倍率設定 (約)] で設定できます。[前回と同じ倍率 (中央から)] にすると、前回の拡大表示で [MENU] ボタンを押す前の倍率に拡大されるようになります。

画面をタッチして操作する



- 2本の指で画面をタッチし、指の間隔を広げるように動かすと拡大表示になります。
- 同じ動作を繰り返すと、最大約10倍まで画像を拡大できます。
- 画面をドラッグすると、表示位置が移動します。



- 2本の指で画面をタッチし、指の間隔を縮めて画面をつまむように動かすと、縮小表示になります。
- **[MENU]** をタッチすると1枚表示に戻ります。

スライドショーで見る

▶ 静止画 ▶ 動画

カードに記録されている画像を自動的に再生します。



- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの [スライドショー] を選びます (📖51)。
- [▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して [スタート] を選び、[🔍] を押します。
- [画像読み込み中] が数秒間表示されたあと、スライドショーがはじまります。
- [MENU] ボタンを押すと終わります。



- スライドショー中に節電機能 (📖42) は働きません。



- 再生中に [🔍] を押すと一時停止／再開ができます。
- 再生中に [◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回すと画像を切り換えられ、[◀] か [▶] を押したままにすると早送りできます。
- [設定] を選んで [🔍] を押して表示される画面で、スライドショーの繰り返しや再生画像 1 枚あたりの表示時間、切り換わるときの効果 (再生効果) を変えられます (📖51)。



- 画面をタッチしてスライドショーを終えることもできます。

保護する

▶ 静止画 ▶ 動画

大切な画像をカメラの消去機能（[📖 197](#)）で誤って消さないよう、保護することができます。



- [🔒] を押して、メニューの [🔒] を選び、[◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して [🔒] を選ぶと、[🔒] が表示されます。
- [OFF] を選ぶと [🔒] が消え、解除されます。

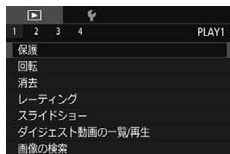


- カードを初期化（[📖 265](#)）すると、保護された画像も消えます。



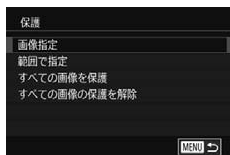
- 保護された画像は、カメラの消去機能では消えません。画像を消すときは、保護を解除してください。

メニューから操作する



1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[▶ 1] タブの [保護] を選びます (📖51)。



2 指定方法を選ぶ

- 目的の項目を選びます (📖51)。
- [MENU] ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

1 枚ずつ指定する

1 「画像指定」を選ぶ

- 「メニューから操作する」の手順2 (192) の操作で「画像指定」を選び、**[OK]** を押します。



2 画像を選び指定する

- [◀]** か **[▶]** を押すか **[●]** ホイールを回して画像を選び、**[OK]** を押すと **[○m]** が表示されます。
- もう一度 **[OK]** を押すと **[○m]** が消え、解除されます。
- 別の画像も指定するときには、上記の操作を繰り返します。

3 保護する

- [MENU]** ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- [◀]** か **[▶]** を押すか **[●]** ホイールを回して **[OK]** を選び、**[OK]** を押します。



- 手順3の操作をする前に、撮影モードに切り換えたり電源を切ったときは、保護されません。

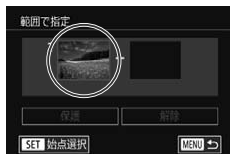


- 手順2で画面をタッチすることでも画像を選んだり解除したりすることができ、**[MENU]** をタッチすると確認画面が表示されます。
- 手順3の画面で **[OK]** をタッチして保護することもできます。

範囲で指定する

1 [範囲で指定] を選ぶ

- 「メニューから操作する」の手順2 (📖 192) の操作で [範囲で指定] を選び、[OK] を押します。

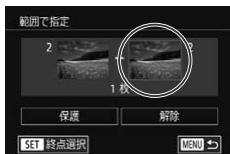


2 始点の画像を指定する

- [OK] を押します。



- [◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して画像を選び、[OK] を押します。



3 終点の画像を指定する

- [▶] を押して [終点選択] にし、[⊙] を押します。



- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して画像を選び、[⊙] を押します。
- 始点より前の画像は選べません。



4 保護する

- [▼] を押して [保護] を選び、[⊙] を押します。



- 手順 2、3 の上側の画面では、[●] ホイールを回して、始点、終点の画像を選ぶこともできます。
- 手順 4 で [解除] を選ぶと、選んだ画像の保護をまとめて解除することができます。



- 手順 2、3 の上側の画面で画像をタッチして始点、終点の画像を選ぶ画面を表示することができます。
- 手順 4 の画面で [保護] をタッチして画像を保護することもできます。

すべての画像を保護する

1 [すべての画像を保護] を選ぶ

- 「メニューから操作する」の手順 2 (📖 192) の操作で [すべての画像を保護] を選び、[Ⓜ] を押します。



2 保護する

- [◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して [OK] を選び、[Ⓜ] を押します。

すべての画像の保護を解除する

すべての画像の保護をまとめて解除することができます。

解除するときは、「すべての画像を保護する」の手順 1 の操作で [すべての画像の保護を解除] を選び、手順 2 の操作を行います。

消す

▶ 静止画 ▶ 動画

不要な画像を1枚ずつ選んで消せます。消した画像はもとに戻せないで十分に確認してから消してください。ただし、保護された画像(📖191)は消えません。

1 消したい画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [🔍] ホイールを回して画像を選びます。



2 消す

- [▼] を押します。
- [消去しますか?] が表示されたら、[◀] か [▶] を押すか [🔍] ホイールを回して [消去] を選び、[🔍] を押します。
- 表示していた画像が消えます。
- 中止するときには、[◀] か [▶] を押すか [🔍] ホイールを回して [キャンセル] を選び、[🔍] を押します。



- RAWとJPEGを同時記録した画像を表示して[▼]を押すと、[RAWのみ消去] [JPEGのみ消去] [RAW+JPEG消去]が表示されるので、項目を選んで消すことができます。

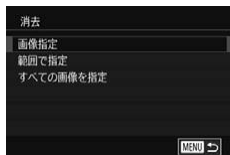
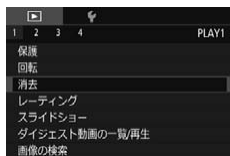


- 手順2の画面で [消去] をタッチすることでも表示していた画像を消すことができます。

まとめて消す

画像を選んでまとめて消すことができます。消した画像はもとに戻せないで十分に確認してから消してください。ただし、保護された画像(📖191)は消えません。

指定方法を選ぶ



1 枚ずつ指定する

1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[▶ 1] タブの [消去] を選びます (📖 51)。

2 指定方法を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して指定方法を選び、[🔍] を押します。
- [MENU] ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

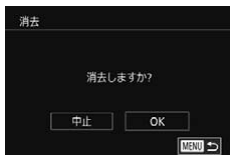
1 [画像指定] を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」の手順 2 (📖 198) の操作で [画像指定] を選び、[🔍] を押します。

2 画像を選ぶ

- 「1 枚ずつ指定する」の手順 2 (📖 193) の操作で画像を選ぶと、[✓] が表示されます。
- もう一度 [🔍] を押すと [✓] が消え、解除されます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。





3 消す

- [MENU] ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[⊗] を押します。



- RAW と JPEG を同時記録した画像を選ぶと両方消去されます。

範囲で指定する

1 [範囲で指定] を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」の手順2 (📖 198) の操作で [範囲で指定] を選び、[Ⓜ] を押します。

2 画像を指定する

- 「範囲で指定する」の手順2～3 (📖 194) の操作で指定します。



3 消す

- [▼] を押して [消去] を選び、[Ⓜ] を押します。

すべての画像を指定する

1 [すべての画像を指定] を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」の手順2 (📖 198) の操作で [すべての画像を指定] を選び、[Ⓜ] を押します。

2 消す

- [◀] か [▶] を押すか [⦿] ホイールを回して [OK] を選び、[Ⓜ] を押します。



回転する

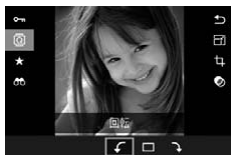
▶ 静止画 ▶ 動画

画像の向きを変えて保存することができます。



1 [Q] を選ぶ

- [⊕] を押して、メニュー項目の [Q] を選びます (📖49)。



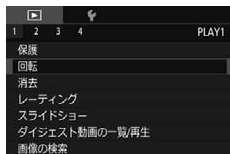
2 回転する

- [◀] か [▶] を押すか [⦿] ホイールを回して [↶] か [↷] を選ぶと指定した方向に90度回転し、[⊕] を押すと設定されます。



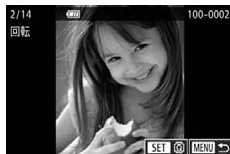
- [縦横自動回転] が [切] のときは回転できません (📖203)。

メニューから操作する



1 [回転] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶ 1] タブの [回転] を選びます (p.51)。



2 回転する

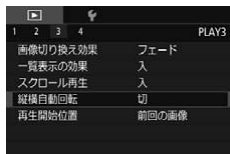
- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して画像を選びます。
- [●] を押すたびに、右 90° 回転、左 90° 回転、元の画像の順に回転します。
- [MENU] ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。



- 手順2の画面で [SET] をタッチして画像を回転させたり、[MENU] をタッチしてメニュー画面に戻することもできます。

自動回転機能を切る

カメラの向きに応じて画像を自動回転する機能を使わないようにすることができます。



- [MENU] ボタンを押して、[▶ 3] タブの [縦横自動回転] を選び、項目の [切] を選びます (📖51)。



- [切] にすると、画像の回転 (📖201) はできません。また、すでに回転させていた画像も、もとの向きで表示されます。

お気に入り設定をする (レーティング)

▶ 静止画 ▶ 動画

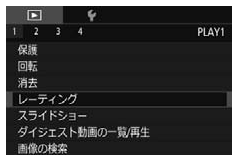
[OFF] [★] [☆] [☆☆] [☆☆☆] [☆☆☆☆] の6段階でお気に入りのレベル (レーティング) を設定して、撮影した画像を分類できます。特定のレベルの画像だけを検索して、次の操作をすることができます。

- 「見る」(📖174)、「スライドショーで見る」(📖190)、「保護する」(📖191)、「消す」(📖197)、「印刷指定 (DPOF)」(📖316)、「フォトブック指定」(📖320)



- [🔍] を押して、メニュー項目の [★] を選び、レベルを設定します (📖49)。
- 解除するときは、上記の操作で [OFF] を選び、[🔍] を押します。

メニューから操作する



1 [レーティング] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶ 1] タブの [レーティング] を選びます (📖51)。



2 画像とレベルを選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [🔍] ホイールを回して画像を選び、[▲] か [▼] を押してレベルを選びます。



3 設定する

- [MENU] ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[⊗] を押します。



- 手順3の操作をする前に、撮影モードに切り換えたり電源を切ったときは、設定されません。



- 手順2で画面下部の [▲] か [▼] をタッチすることでもレベルの設定ができます。

静止画を編集する



- 静止画の編集機能 (📖206 ~ 📖211) は、カードに空き容量がないと使えません。



- 画面に **[SET]** が表示されているときは、**[SET]** をタッチすることでも **[Ⓜ]** ボタンと同じ操作ができます。
- 画面に **[MENU]** が表示されているときは、**[MENU]** をタッチすることでも **[MENU]** ボタンと同じ操作ができます。

画像を小さくする (リサイズ)

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影した画像を小さな記録画素数にして、別画像として保存できます。



1 大きさを選ぶ

- **[Ⓜ]** を押して、メニュー項目の **[📏]** を選び、サイズを選びます (📖49)。
- **[Ⓜ]** を押します。



2 新規保存する

- **[新規保存しますか?]** が表示されたら、**[◀]** か **[▶]** を押すか **[🌀]** ホイールを回して **[OK]** を選び、**[Ⓜ]** を押します。



3 画像を確認する

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [はい] を選び、[Ⓜ] を押します。
- 保存した画像が表示されます。

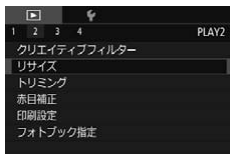


- 記録画素数 (📖76) が [S3] の画像は、編集できません。
- RAW 画像は編集できません。



- 手順 1 の画面でリサイズをやめるときは、[OFF] を選びます。
- 撮影した画像の記録画素数よりも大きくはできません。

メニューから操作する

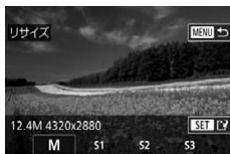


1 [リサイズ] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶ 2] タブの [リサイズ] を選びます (📖51)。

2 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して画像を選び、[Ⓜ] を押します。



3 大きさを選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して大きさを選び、[Ⓜ] を押します。

4 新規保存して画像を確認する

- 「画像を小さくする (リサイズ)」 (📖206) の手順 2 の操作を行います。
- [MENU] ボタンを押したあと、「画像を小さくする (リサイズ)」 (📖206) の手順 3 の操作を行います。

画像を切り抜く（トリミング）

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影した画像の必要な部分を切り抜き、別画像として保存できます。

1 設定画面を表示する

- **[F]** を押して、メニュー項目の **[C]** を選び、**[F]** を押します (49)。



2 トリミング枠の大きさ、位置、縦横比を設定する

- 枠の大きさを変えるときは、**[Q]** ボタン、**[■]** ボタンを押します。
- 枠を移動するときには、**[▲]** **[▼]** **[◀]** **[▶]** を押します。
- 枠の縦／横を変えるときは、**[●]** ホイールを回して **[C]** を選び、**[F]** を押します。
- 枠の縦横の比率を変えるときは、**[●]** ホイールを回して **[H]** を選びます。**[F]** を押すたびに、縦横比 (**[3:2]** **[16:9]** **[4:3]** **[1:1]**) が切り換わります。



3 トリミング後のイメージを確認する

- **[●]** ホイールを回して **[H]** を選びます。
- **[F]** を押すたびにトリミング後のイメージと、トリミング枠の表示が交互に切り換わります。

4 新規保存して画像を確認する

- [●] ホイールを回して [L] を選び、[●] を押します。
- 「画像を小さくする（リサイズ）」の手順 2～3 (📖206) の操作を行います。



- 記録画素数が [S3] の画像は、編集できません。
- RAW 画像は編集できません。
- 一度トリミングした画像を、もう一度トリミングすることはできません。
- トリミングした画像に、クリエイティブフィルター処理やリサイズ処理を行うことはできません。



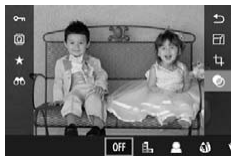
- トリミングした画像の記録画素数は、トリミング前の画像より小さくなります。
- 手順 3 でトリミング後のイメージを表示しているときに、トリミングする位置、大きさ、縦横比を変えることもできます。
- [MENU] ボタンを押して [▶ 2] タブの [トリミング] を選んで [●] を押したあと、画像を選んでもう一度 [●] を押すことでも、手順 2 の操作を行えるようになります。



- 手順 2 の画面で枠をドラッグして移動することもできます。また、2本の指で画面をタッチして指の間隔を広げたり縮めたりする (📖189) ことでも枠の大きさを変えることができます。
- 手順 2 の画面上部の [◀] [▶] [◀▶] [L] をタッチして操作することもできます。

画像にフィルター効果を付ける

[] [] [] [] [] [] [] モードで撮影したときと同じような効果を付けて、別画像として保存できます。



1 効果の種類を選ぶ

- [] を押して、メニュー項目の [] を選び、効果の種類を選びます (📖 49)。
- [] を押します。



2 詳細を設定する

- [] では、[◀] か [▶] を押すか [] ホイールを回してコントラストの強さを設定します。
- [] では、[◀] か [▶] を押すか [] ホイールを回してぼかし具合を設定します。
- [] [] では、[◀] か [▶] を押すか [] ホイールを回して効果の強さを設定します。
- [] では、[◀] か [▶] を押すか [] ホイールを回して色の濃度を設定します。
- [] では、[◀] か [▶] を押すか [] ホイールを回して色調を設定します。
- [] では、[INFO.] ボタンを押して枠の大きさを変えたり、[▲] か [▼] を押して枠の位置を変えます。

3 新規保存して画像を確認する

- [Ⓜ] を押します。
- 「画像を小さくする（リサイズ）」の手順 2～3 (📖206) の操作を行います。



- [📏] では、手順 2 の画面で [◀] か [▶] を押すと枠が縦になり、[◀] か [▶] を押して位置を変えられます。[▲] か [▼] を押すと枠が横に戻ります。
- [MENU] ボタンを押して [▶ 1] タブの [クリエイティブフィルター] を選んだあと、画像を選んで [Ⓜ] を押すことでも同じように操作できます。
- 手順 1 の画面で効果を付けるのをやめるときは、[OFF] を選びます。

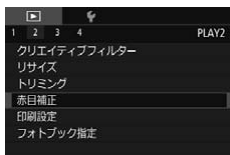


- 手順 2 の画面で画面下部のバーをタッチやドラッグして設定することもできます。[📏] では、タッチしたりドラッグしての枠の位置を変えることもできます。

赤目を補正する

▶ 静止画 ▶ 動画

目が赤く撮影されてしまった画像の赤目部分を自動的に補正して、別画像として保存できます。



1 [赤目補正] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶ 2] タブの [赤目補正] を選びます (📖51)。

2 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [🔍] ホイールを回して画像を選びます。

3 補正する

- [Ⓜ] を押します。
- 検出された赤目部分が補正され、補正した部分に枠が表示されます。
- 「拡大して見る」(📖188) の操作で画像を拡大／縮小できます。



4 新規保存して画像を確認する

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [🔍] ホイールを回して [新規保存] を選び、[Ⓜ] を押します。
- 別画像として保存されます。
- [MENU] ボタンを押したあと、「画像を小さくする (リサイズ)」(📖206) の手順3の操作を行います。




- 画像によっては、正しく補正されないことがあります。
- 手順4で [上書き保存] を選んだときは、補正内容で上書きされるため、補正前の画像は残りません。
- 保護されている画像は上書き保存できません。
- RAW 画像の補正はできません。
- RAW 画像を同時記録した JPEG 画像は赤目補正ができますが、上書き保存はできません。



- 手順4の画面で [新規保存] や [上書き保存] をタッチすることでも画像を保存できます。


動画を編集する

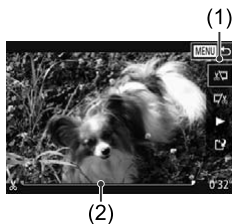
▶ 静止画 ▶ 動画

撮影した動画の前後を削除できます（ダイジェスト動画（ 63）を除く）。



1 [] を選ぶ

- 「見る」の手順 1～5（ 174）の操作で [] を選び、[] を押します。
- 動画編集パネルと動画編集バーが表示されます。



2 編集範囲を指定する

- (1) は動画編集パネル、(2) は動画編集バーです。
- [▲] か [▼] を押して [] または [] を選びます。
- [◀] か [▶] を押すか [] ホイールを回して [] を動かすと、編集できる場所で [] が表示されます。[] を選ぶと [] 位置より前部、[] を選ぶと後部が削除されます。
- [] を [] 以外の位置に指定しても、[] では 1 つ左側の [] 位置よりも前部、[] では 1 つ右側の [] 位置よりも後部が削除されます。

3 編集した動画を確認する

- [▲] か [▼] を押して [▶] を選び、[Ⓜ] を押すと、編集した動画が再生されます。
- もう一度編集するときには手順 2 の操作を行います。
- 編集を中止するときには、[MENU] ボタンを押したあと、[◀] か [▶] を押すか [Ⓜ] ホイールを回して [OK] を選び、[Ⓜ] を押します。



4 編集した動画を保存する

- [▲] か [▼] を押して [▶] を選び、[Ⓜ] を押します。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [Ⓜ] ホイールを回して [新規保存] を選び、[Ⓜ] を押します。
- [圧縮せず新規保存] を選び、[Ⓜ] を押します。
- 別動画として保存されます。



- 手順 4 で [上書き保存] を選んだときは、編集内容が上書きされるため、編集前の動画は残りません。
- カードの空き容量が足りないときは、[上書き保存] しか選べません。
- 動画の保存中にバッテリーがなくなると、保存できないことがあります。
- 編集するときには、フル充電されたバッテリーか AC アダプターキット (別売) (📖284) を使うことをおすすめします。

ファイルサイズを小さくする

動画を圧縮して保存することで、ファイルサイズを小さくできます。



- 「動画を編集する」の手順2の画面で [F4] を選んだあと [新規保存] を選び、[Enter] を押します。
- [圧縮して新規保存] を選び、[Enter] を押します。

圧縮後の画質は次の通りです。

圧縮前	圧縮後
HD 29.97P	HD 29.97P
HD 23.98P	HD 23.98P
HD 59.94P	HD 29.97P
HD 25.00P	HD 25.00P
HD 50.00P	HD 25.00P



- [VGA 29.97P] [VGA 25.00P] の動画は、圧縮できません。
- 編集した動画を保存するときに [上書き保存] を選ぶと、圧縮できません。
- 編集した動画を新規保存するときに [圧縮して新規保存] を選ぶと、圧縮できます。

ダイジェスト動画を編集する

▶ 静止画 ▶ 動画

[] モードで作成されたチャプター (📖 63) を1つずつ選んで消すことができます。消したチャプターはもとに戻すことはできません。十分に確認してから消してください。



1 チャプターを選ぶ

- 「静止画を撮影したときに作成された短編動画（ダイジェスト動画）を見る」の手順 1～2 (📖 180) の操作で [] モードで作成された動画を再生し、[] を押して動画操作パネルを表示します。
- [◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して [◀◀] か [▶▶] を選び [] を押します。



2 [] を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して [] を選び、[] を押します。
- 選んだチャプターが繰り返し再生されます。

3 確認して消す

- [◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して [OK] を選び、[] を押します。
- チャプターが消去され、上書き保存されます。



- プリンターとつないだときは、チャプターを選んでも [] は表示されません。

Wi-Fi 機能

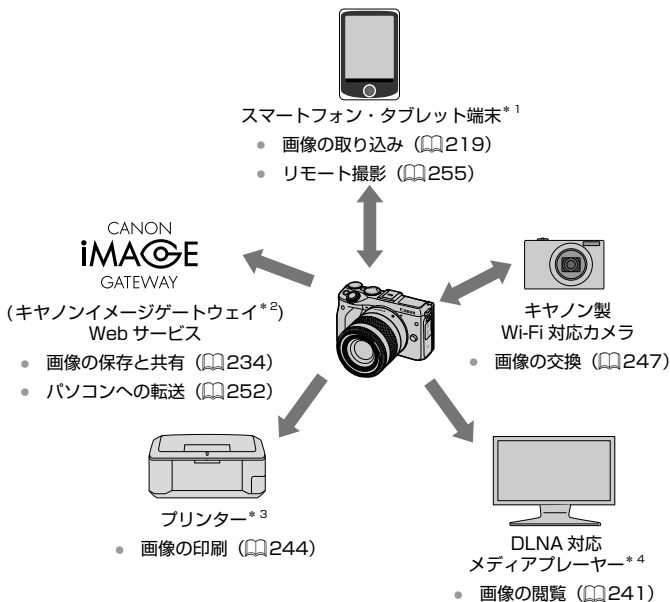
カメラで撮影した画像を無線でいろいろな無線対応機器へ送ったり、Web サービスを利用する



- Wi-Fi 機能を使う前に「Wi-Fi (無線 LAN) について」(📖388)を必ずお読みください。

Wi-Fi でできること

このカメラは、以下の機器やサービスと Wi-Fi で接続して、画像の送受信やカメラの操作ができます。



*1 以降、スマートフォンとタブレット端末をあわせて「スマートフォン」と記載しています。

*2 CANON iMAGE GATEWAY はキヤノンのオンラインフォトサービスです。

*3 Wi-Fi で使える PictBridge (DPS over IP) に対応している必要があります。

*4 DLNA は Digital Living Network Alliance (デジタルリビングネットワークアライアンス) の略です。

スマートフォンに画像を取り込む

カメラの画像をスマートフォンに取り込むには次の2つの方法があります。

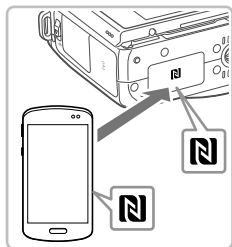
- NFC 機能を使って接続する (📖219)
Android (OS バージョン 4.0 以上) で NFC に対応しているスマートフォンをタッチするだけでかんたんに接続できます。
- Wi-Fi メニューを使って接続する (📖223)

NFC 対応のスマートフォンに画像を送る

Android (OS バージョン 4.0 以上) で NFC に対応しているスマートフォンでは、NFC 機能を使って、EOS Remote のインストールやカメラへの接続をかんたんにすることができます。

- 撮影モードまたは電源を切っているときにスマートフォンをタッチしたときは、スマートフォンの操作でカメラから画像を取り込みます。また、接続後にリモート撮影することができます (📖255)。最近接続した接続先名として履歴が残るので、次回以降、Wi-Fi メニューからでもかんたんに接続できます。
- 再生モードでスマートフォンをタッチすると、一覧表示で送信する画像を選ぶ画面が表示されるので、カメラで画像を選んで送信できます。

撮影モード／電源を切っているときの NFC 接続

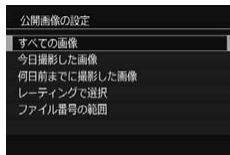
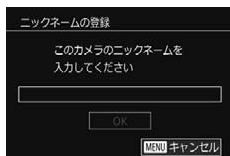


1 EOS Remote をインストールする

- スマートフォンの NFC 機能を有効にしたあと、スマートフォンとカメラの **N** (N マーク) 同士をタッチすると、スマートフォンで Google Play が自動的に起動します。EOS Remote のダウンロード画面が表示されたら、ダウンロードしてインストールします。

2 接続する

- EOS Remote がインストールされたスマートフォンとカメラの **N** (N マーク) 同士をタッチします。
- カメラが自動で起動します。
- [ニックネームの登録] 画面が表示されたら、**[OK]** を押して表示されたキーボード (p.54) でニックネームを入力したあと **[MENU]** ボタンを押して [ニックネームの登録] 画面に戻ります。
- [▲]** か **[▼]** を押すか **[●]** ホイールを回して **[OK]** を選び **[OK]** を押します。
- スマートフォンで EOS Remote が起動し、カメラと自動で接続します。



3 公開設定する

- この画面が表示されたときは、**[▲]** か **[▼]** を押すか **[●]** ホイールを回して [すべての画像] を選び、**[OK]** を押します。
- スマートフォンが接続され、約 1 分後に画面が消えます。

4 画像を取り込む

- スマートフォンを操作してカメラ内の画像をスマートフォンに取り込みます。

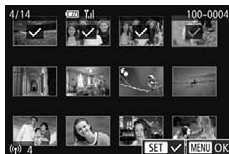






- NFC 機能をお使いになるときは、次のことに注意してください。
 - スマートフォンをカメラに強く当てないでください。スマートフォンやカメラに傷がつくことがあります。
 - スマートフォンによっては、認識されにくいことがあるので、位置をずらすなどしてゆっくりタッチしてください。接続できないときはカメラの画面が変わるまでタッチしたままにしてください。
 - カメラとスマートフォンの間にものを置かないでください。また、カメラやスマートフォンにケースなどをつけていると、通信できないことがあります。
- リモート撮影をするときは、手順 3 では [すべての画像] を選んでください。
- 手順 3 で [すべての画像] を選ぶと、接続したスマートフォンから、カメラ内のすべての画像を見ることができるようになります。スマートフォンに表示させるカメラ内の画像を限定したいときは、手順 3 でほかの項目を選んでください (📖 259)。登録済みのスマートフォンに対する画像の公開設定を変更することもできます (📖 259)。
- モードダイヤルが [🔒] のときはスマートフォンを接続できません。



- 接続するには、カードがカメラに入っている必要があります。
- ニックネームの 1 文字目に記号やスペースを入力しようとするとメッセージが表示されます。[🔒] を押してから入力しなおしてください。

再生モードでの NFC 接続



- [▶] ボタンを押して電源を入れます。
- EOS Remote がインストールされたスマートフォン (📖219) とカメラの  (N マーク) 同士をタッチします。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して送信したい画像を選び、 を押すと [✓] が表示されます。
- もう一度  を押すと [✓] が消え、解除されます。
- 別の画像も選ぶときは、上記の操作を繰り返します。
- 画像の選択が終わったら、[MENU] ボタンを押します。
- [◀] か [▶] を押して [送信] を選び、 を押します。
- 画像が送信されます。
- すべての画像の [✓] をはずして [MENU] ボタンを押したあと、[◀] か [▶] を押して [OK] を選ぶと接続が切断されます。



- 接続中、カメラやスマートフォンの画面にニックネームの入力を促す画面が表示されたら「撮影モード／電源を切っているときの NFC 接続」(📖219) の手順 2 の操作で入力してください。
- 再生モードのときに NFC 機能で接続したスマートフォンの履歴はカメラには残りません。

Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する

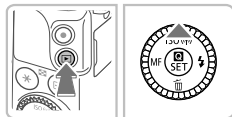
カメラと接続する前に、お使いのスマートフォンに専用のアプリケーション「EOS Remote」（無料）をインストールする必要があります。アプリケーションの詳細（対応するスマートフォンや機能など）については、弊社 Web サイトで確認してください。

ここではカメラをアクセスポイントにして接続する手順を説明しますが、すでにお使いのアクセスポイントを使うこともできます（[📖226](#)）。



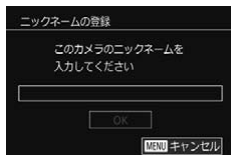
1 専用アプリケーションをインストールする

- Android のスマートフォンでは、Google Play から EOS Remote を検索してダウンロードし、インストールします。
- iPhone や iPad では、App Store から EOS Remote を検索してダウンロードし、インストールします。



2 Wi-Fi メニューを表示する

- [▶] ボタンを押して電源を入れます。
- [▲] を押します。
- [ニックネームの登録] 画面が表示されたら、[📶] を押して表示されたキーボード（[📖54](#)）でニックネームを入力したあと [MENU] ボタンを押して [ニックネームの登録] 画面に戻ります。
- [▲] か [▼] を押すか [📶] ホイールを回して [OK] を選び [📶] を押します。





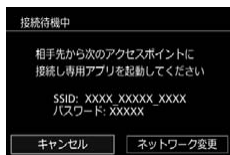
3 [スマートフォン] を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して [スマートフォン] を選び、[OK] を押します。



4 [接続先の機器の登録] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [接続先の機器の登録] を選び、[OK] を押します。



- 画面にカメラの SSID とパスワードが表示されます。



5 スマートフォンをネットワークに接続する

- スマートフォンの Wi-Fi に関する設定メニューから、カメラに表示された SSID (ネットワーク名) を選択して接続します。
- パスワード欄にはカメラに表示されたパスワードを入力します。



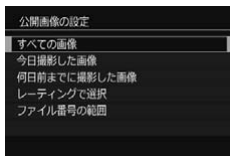
6 EOS Remote を起動する

- スマートフォンを操作して EOS Remote を起動します。



7 接続するカメラを選ぶ

- スマートフォンで接続先のカメラを選ぶ画面が表示されたら、カメラを選んでペアリングを行います。



8 公開設定する

- この画面が表示されたときは、[▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [すべての画像] を選び、[Ⓜ] を押します。
- スマートフォンが接続され、約 1 分後に画面が消えます。



9 画像を取り込む

- スマートフォンを操作してカメラ内の画像をスマートフォンに取り込みます。



- リモート撮影をするときは、手順 8 では [すべての画像] を選んでください。
- 手順 8 で [すべての画像] を選ぶと、接続したスマートフォンから、カメラ内のすべての画像を見ることができるようになります。スマートフォンに表示させるカメラ内の画像を限定したいときは、手順 8 でほかの項目を選んでください (📖 259)。登録済みのスマートフォンに対する画像の公開設定を変更することもできます (📖 259)。
- モードダイヤルが [P] のときはスマートフォンを接続できません。



- 接続するには、カードがカメラに入っている必要があります。
- ニックネームの1文字目に記号やスペースを入力しようとするときメッセージが表示されます。【Ⓞ】を押してから入力しなおしてください。
- MENU (📖 51) で【🔌 4】タブの【Wi-Fi 設定】を選び、【パスワード】を【切】にすると、SSIDの表示画面(手順4)に【パスワード】が表示されなくなり、手順5でパスワードを入力しなくても接続できるようになります。
- 接続した機器があるときは、Wi-Fiメニューを表示しようとすると、最近接続した接続先名が最初に表示され、【▲】か【▼】を押して項目を選び【Ⓞ】を押すだけでかんたんに接続することができます。新しく接続先を登録するときは【◀】か【▶】で機器の選択画面を表示して設定します。
- MENU (📖 51) の【🔌 4】タブにある【Wi-Fi 設定】の【接続先履歴の表示】で【切】を選ぶと、最近接続した機器は表示されなくなります。

ほかのアクセスポイントを使う

Wi-Fiメニューを使ってスマートフォンとカメラを接続するときは、すでにお使いのアクセスポイントを使うこともできます。

お使いのアクセスポイントの使用説明書もあわせて参照してください。

アクセスポイントを確認する

アクセスポイントとなる Wi-Fi 親機 (Wi-Fi ルーターなど) は、「無線 LAN」(375) に記載している Wi-Fi 規格に対応しているものをお使いください。

アクセスポイントが WPS (Wi-Fi Protected Setup) に対応しているとき (228) と対応していないとき (231) で、接続方法は異なります。また、WPS に対応していないアクセスポイントでは、次の項目を確認してください。

- ネットワーク名 (SSID/ESSID)
お使いのアクセスポイントの SSID または ESSID です。「アクセスポイント名」や「ネットワーク名」とも呼ばれることもあります。
- ネットワークの認証 / データの暗号化 (暗号化方式 / 暗号化モード)
無線通信時のデータを暗号化する方式です。「WPA2-PSK (AES)」 「WPA2-PSK (TKIP)」 「WPA-PSK (AES)」 「WPA-PSK (TKIP)」 「WEP (オープンシステム認証)」 「なし」のいずれであるかを確認してください。
- パスワード (暗号化キー / ネットワークキー)
無線通信時のデータを暗号化するために使われるキー (鍵) です。「暗号化キー」や「ネットワークキー」と呼ばれることもあります。
- キーのインデックス (送信キー)
「ネットワークの認証 / データの暗号化」が「WEP」のときに設定するキーです。「1」にしてください。



- システム管理者がいるネットワーク内で設定するときは、ネットワーク管理者にネットワーク設定の詳細をお問い合わせください。
- これらの情報はセキュリティー上大変重要なものです。お取り扱いには十分ご注意ください。



- アクセスポイントが WPS に対応しているかどうかや、設定の確認方法は、お使いのアクセスポイントの使用説明書を参照してください。
- ルーターとは、複数のパソコンなどを接続して、ネットワーク (LAN) を構築するときに使われる機器です。さらに、Wi-Fi 機能を内蔵しているルーターを「Wi-Fi ルーター」と呼びます。
- 本書では、Wi-Fi ルーターなどの Wi-Fi 親機すべてを「アクセスポイント」と呼びます。
- お使いの Wi-Fi で MAC アドレスをフィルタリングしているときは、アクセスポイントにカメラの MAC アドレスを登録してください。カメラの MAC アドレスは、MENU (📖51) の [👉4] タブにある [Wi-Fi 設定] の [MAC アドレスの確認] を選ぶと確認できます。

WPS に対応したアクセスポイントを使う

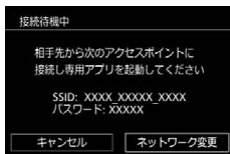
WPS とは、Wi-Fi 機器同士を接続する際の各種設定をかんたんに行う仕組みです。WPS に対応した機器では、設定方式としてプッシュボタン方式と PIN コード方式を使用できます。



1 スマートフォンをアクセスポイントに接続する

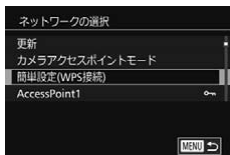
2 接続待機の状態にする

- 「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する」(📖223) の手順 1～4 の操作で接続待機中の画面を表示します。



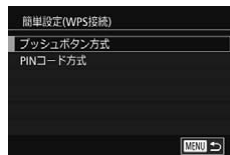
3 [ネットワーク変更] を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [ネットワーク変更] を選び、[Ⓜ] を押します。
- 検索されたアクセスポイントの一覧が表示されます。



4 [簡単設定 (WPS 接続)] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [簡単設定 (WPS 接続)] を選び、[Ⓜ] を押します。



5 [ブッシュボタン方式] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [ブッシュボタン方式] を選び、[Ⓜ] を押します。



6 接続をはじめる

- アクセスポイントにある WPS 接続用のボタンを数秒間押したままにします。
- カメラの [Ⓜ] を押して次に進みます。



7 画像を取り込む

- 「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する」(📖223) の手順 6～9 の操作で接続するスマートフォンを選び公開設定をしたあと、画像を取り込みます。

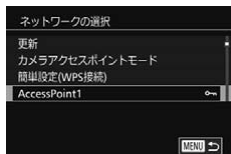


- 手順 5 で [PIN コード方式] を選択したときは、画面に表示された PIN コードをアクセスポイントに設定します。次に [接続先の機器の選択] 画面で接続する機器を選びます。詳しくは、お使いのアクセスポイントの使用説明書を参照してください。

一覧に表示されたアクセスポイントを使う

1 アクセスポイントの一覧を表示する

- 「WPS に対応したアクセスポイントを使う」(228) の手順 1 ~ 3 の操作で、ネットワーク (アクセスポイント) の一覧を表示します。



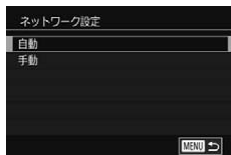
2 アクセスポイントを選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回してネットワーク (アクセスポイント) を選び、[SET] を押します。



3 アクセスポイントのパスワードを入力する

- [●] を押してキーボードを表示し、パスワードを入力します (54)。
- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [次へ] を選び、[●] を押します。



4 [自動] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [自動] を選び、[●] を押します。

5 画像を取り込む

- 「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する」(📖 224) の手順 6～9 の操作で接続するスマートフォンを選び公開設定をしたあと、画像を取り込みます。



- アクセスポイントのパスワードについては、アクセスポイントの本体あるいは使用説明書を参照してください。
- アクセスポイントは最大 16 個まで表示されます。手順 2 で [更新] を選んで一覧を更新してもアクセスポイントが検出されないときは、手順 2 で [手動設定] を選ぶと、アクセスポイントを手動で設定できます。画面の指示にしたがって SSID の入力、セキュリティ設定、パスワードの入力を行ってください。
- 接続したことのあるアクセスポイントを使って接続するときは、手順 3 でパスワードが「*」で表示されます。同じパスワードを使うときは、そのまま、[▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して [次へ] を選び、[👤] を押します。

接続したことのあるアクセスポイントがあるとき

接続したことのあるアクセスポイントがあるときは、「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する」(📖223)の手順4の操作で、カメラが自動でそのアクセスポイントに接続します。

- カメラをアクセスポイントにするときは、接続の最中に表示される画面の「ネットワーク変更」を選び、表示された画面で「カメラアクセスポイントモード」を選びます。
- 別のアクセスポイントを使うときは、接続の最中に表示される画面の「ネットワーク変更」を選んだあと、「WPS に対応したアクセスポイントを使う」(📖228)の手順4または「一覧に表示されたアクセスポイントを使う」(📖231)の手順2から操作してください。

Web サービスを登録して画像を送る

利用する Web サービスの情報を登録する

パソコンまたはスマートフォンを使って、利用する Web サービスの情報をカメラに登録します。

- CANON iIMAGE GATEWAY をはじめとする各種 Web サービスの設定には、インターネットに接続できるパソコンまたはスマートフォンおよびブラウザが必要です。
- CANON iIMAGE GATEWAY に接続する際にお使いいただくブラウザ（Microsoft Internet Explorer など）のバージョンや設定条件については、CANON iIMAGE GATEWAY のサイトで確認してください。
- CANON iIMAGE GATEWAY のサービスに対応している国 / 地域の情報は、弊社 Web サイト (<http://www.canon.com/cig/>) で確認してください。
- CANON iIMAGE GATEWAY 以外の Web サービスも利用するときは、その Web サービスのアカウントが必要です。詳しくは、各 Web サービスの Web サイトを確認してください。
- プロバイダーとの接続料金、およびプロバイダーのアクセスポイントへの通信料金は、別途かかります。

CANON iIMAGE GATEWAY を登録する

CANON iIMAGE GATEWAY とカメラを連携できるようにした上で、CANON iIMAGE GATEWAY をカメラに登録します。



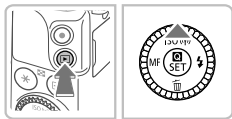
1 CANON iIMAGE GATEWAY にアクセスして、カメラ連携設定のページを表示する

- パソコンまたはスマートフォンを操作して、インターネットで CANON iIMAGE GATEWAY サイト [http://www.canon.com/cig/] へアクセスします。
- ログイン画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力してログインしてください。また、CANON iIMAGE GATEWAY のアカウントをお持ちでないときは、画面の指示にしたがって会員登録（無料）を行ってください。
- カメラ設定のページを表示します。



2 カメラのタイプを選ぶ

- このカメラは、Wi-Fi メニューに [☁] が表示される機種です。
- [☁] を選ぶと、認証コード入力画面が表示されます。この画面には、手順 3～6 でカメラを操作して表示される認証コードを入力するので、手順 7 までそのままにしておいてください。



3 Wi-Fi メニューを表示する

- [▶] ボタンを押して電源を入れます。
- [▲] を押します。



- [ニックネームの登録] 画面が表示されたら、[Ⓜ] を押して表示されたキーボード (書 54) でニックネームを入力したあと [MENU] ボタンを押して [ニックネームの登録] 画面に戻ります。

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び [Ⓜ] を押します。



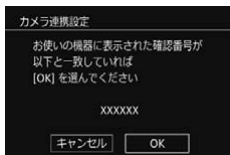
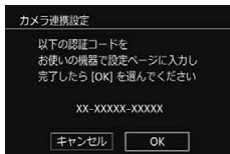
4 [☁] を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して [☁] を選び、[Ⓜ] を押します。



5 [認証コード発行] を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [認証コード発行] を選び、[Ⓜ] を押します。



6 アクセスポイントへの接続をはじめめる

- 「[WPS に対応したアクセスポイントを使う] (📖228) の手順 4～6 または「[一覧に表示されたアクセスポイントを使う] (📖231) の手順 2～4 の操作でアクセスポイントへの接続を行います。
- カメラがアクセスポイントを経由して CANON iMAGE GATEWAY に接続すると、認証コードが表示されます。
- 手順 7 が完了するまでこの画面を表示させておいてください。






7 認証コードを入力する

- パソコンまたはスマートフォンを操作して、カメラに表示された認証コードを入力し、次へ進みます。
- 数字 6 桁の確認番号が表示されます。



8 確認番号を確認して設定を終える

- 手順 6 の二つ目の画面で [◀] か [▶] を押すか [🔴] ホイールを回して [OK] を選び [🔴] を押すと、確認番号が表示されます。
- 画面表示された確認番号が、パソコンまたはスマートフォンに表示された確認番号と一致していることを確認します。
- [◀] か [▶] を押すか [🔴] ホイールを回して [OK] を選び、[🔴] を押します。
- パソコンまたはスマートフォンを操作して設定を終えます。



- CANON iMAGE GATEWAY と [] ( 252) が送信先として追加され、[] が [] になります。
- パソコンまたはスマートフォンには、完了画面が表示されます。続けて Web サービスを追加することもできます。このときは、「他の Web サービスを登録する」( 238) の手順 2 から操作してください。



- 接続するには、画像が保存されたカードがカメラに入っている必要があります。
- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとする、最近接続した接続先名が最初に表示されるので、[] か [] で機器の選択画面を表示して設定します。

他の Web サービスを登録する

CANON iMAGE GATEWAY 以外の Web サービスをカメラに登録します。なお、事前に、CANON iMAGE GATEWAY をカメラに登録する必要があります ( 235)。



1 Web サービスの設定画面を表示する

- 「CANON iMAGE GATEWAY を登録する」( 235) の手順 1 の操作で CANON iMAGE GATEWAY にログインし、Web サービスの設定画面を表示します。



2 利用する Web サービスの設定をする

- パソコンまたはスマートフォンを操作し、画面の指示にしたがって、利用する Web サービスの設定をします。



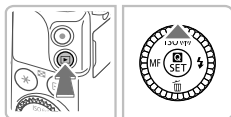
3 [☁] を選ぶ

- 再生モードで [▲] を押して Wi-Fi メニューを表示します。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して [☁] を選び、[⊕] を押します。
- Web サービスの設定が更新されます。



- 一度設定した内容を変更するときも同じ操作でカメラの設定を更新してください。

Web サービスに画像を送る



1 Wi-Fi メニューを表示する

- [▶] ボタンを押して電源を入れます。
- [▲] を押します。



2 接続先を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して接続先の Web サービスのアイコンを選び [⊕] を押します。
- 同じ Web サービスに複数の送信先や公開範囲などがあるときは、[送信先の選択] 画面が表示されるので、[▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して項目を選び [⊕] を押します。



3 画像を送る

- [●] ホイールを回して送信したい画像を選び、[◀] か [▶] を押して、[この画像を送信] を選び、[●] を押します。
- YouTube へ送信するときは、続いて表示される利用規約を読み [同意する] を選んで [●] を押します。
- 画像の送信が開始されます。画像の送信中は画面が暗くなります。
- 送信が完了すると [OK] が表示され、[●] を押すと再生モードの画面に戻ります。



- 接続するには、画像が保存されたカードがカメラに入っている必要があります。
- 複数の画像をまとめて送ったり、画像のサイズの変更やコメントの追加をして送ったりすることができます (249)。

メディアプレーヤーで画像を閲覧する

カメラ内のカードにある画像をテレビなどで閲覧できます。

この機能を利用するには、DLNA 対応のテレビやゲーム機、スマートフォンなどのメディアプレーヤーが必要です。以降の説明では、メディアプレーヤーと総称しています。

ここでは、メディアプレーヤーが、アクセスポイントに接続していることを前提に説明しています。これらの設定方法については、お使いの機器の使用説明書を確認してください。

1 Wi-Fi メニューを表示する

- 「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する」(223) の手順 2 の操作で Wi-Fi メニューを表示します。



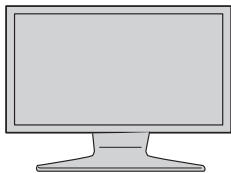
2 [] を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して [] を選び、[●] を押します。



3 アクセスポイントへの接続をはじめる

- 「WPS に対応したアクセスポイントを使う」(228) の手順 4～6 または「一覧に表示されたアクセスポイントを使う」(231) の手順 2～4 の操作でアクセスポイントへの接続を行います。



- メディアプレーヤーと接続できる状態になるとこの画面が表示されます。一定時間経つと画面は暗くなります。
- 接続後の操作はメディアプレーヤーで行います。詳しくは、メディアプレーヤーの使用説明書を参照してください。

4 テレビにメディアプレーヤーの設定画面を表示する

- メディアプレーヤーを操作して、テレビに **[EOS M3]** を表示させます。
- メディアプレーヤーによっては、別のアイコンが表示されることがあります。**[EOS M3]** と表示されているアイコンを探してください。

5 画像を表示する

- **[EOS M3]**、カード (SD など)、フォルダ、画像の順に選びます。
- 画像を選んでテレビに表示できます。詳しくは、メディアプレーヤーの使用説明書を参照してください。
- カメラを操作して接続を切断するときは、**[⏏]** を押してください。なお、画面が暗くなっているときは、何かボタンを操作して手順 3 の 2 つ目の画面が表示されてから **[⏏]** を押してください。



- 接続するには、画像が保存されたカードがカメラに入っている必要があります。
- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとする、最近接続した接続先名が最初に表示され、[▲] か [▼] を押して項目を選び [OK] を押すだけでかんたんに接続することができます。新しく接続先を登録するときは [◀] か [▶] で機器の選択画面を表示して設定します。
- メディアプレーヤーの接続履歴は「MediaServ.」と表示されます。
- RAW 画像と動画は表示されません。
- テレビに表示される画像情報と内容は、メディアプレーヤーによって異なります。また、メディアプレーヤーによっては、画像情報が表示されなかったり縦位置表示が正常にできないことがあります。
- 「1-100」などと表示されているアイコンは、選んだフォルダに入っている画像を、ファイル番号別に分けたものです。
- カードやフォルダに表示される年月日は、閲覧時にカメラに設定されている日付が表示されることがあります。

プリンターにつないで画像を印刷する

Wi-Fi 機能を持つプリンターとカメラを接続して印刷します。

なお、ここではカメラをアクセスポイントにして接続する手順を説明しますが、すでにお使いのアクセスポイントを使うこともできます(📖226)。

1 Wi-Fi メニューを表示する

- 「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する」(📖223) の手順 2 の操作で Wi-Fi メニューを表示します。



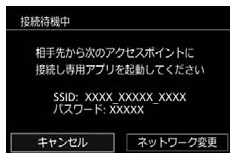
2 [凸] を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して [凸] を選び、[Ⓜ] を押します。



3 [接続先の機器の登録] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [接続先の機器の登録] を選び、[Ⓜ] を押します。
- 画面にカメラの SSID が表示されます。





4 プリンターをネットワークに接続する

- プリンターの Wi-Fi に関する設定メニューから、カメラに表示された SSID (ネットワーク名) を選択して接続します。

5 プリンターを選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回してプリンターの名前を選び、[●] を押します。

6 画像を選んで印刷する

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して画像を選びます。
- [●] を押したあと、[□] を選び、もう一度 [●] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [印刷] を選び、[●] を押します。
- 詳しい印刷方法については「印刷する」(309) を参照してください。
- 接続を切断するには、[▲] を押して表示された確認画面で [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び [●] を押します。



- 接続するには、画像が保存されたカードがカメラに入っている必要があります。
- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとするとき、最近接続した接続先名が最初に表示され、[▲] か [▼] を押して項目を選び [Ⓞ] を押すだけでかんたんに接続することができます。新しく接続先を登録するときは [◀] か [▶] で機器の選択画面を表示して設定します。
- MENU (📖51) の [👉4] タブにある [Wi-Fi 設定] の [接続先履歴の表示] で [切] を選ぶと、最近接続した機器は表示されなくなります。
- ほかのアクセスポイントを使うときは、「ほかのアクセスポイントを使う」(📖226) を参照してください。

別のカメラに画像を送る

2台のカメラ同士で Wi-Fi 接続して画像を送信できます。

- Wi-Fi 接続できるのは、キヤノン製の Wi-Fi 対応カメラのみです。Eye-Fi カードに対応しているも Wi-Fi に対応していないキヤノン製カメラへは接続できません。また、IXY DIGITAL WIRELESS とは Wi-Fi 接続できません。

1 Wi-Fi メニューを表示する

- 「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する」(書 223) の手順 2 の操作で Wi-Fi メニューを表示します。



2 [カメラ] を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して [カメラ] を選び、[Ⓜ] を押します。



3 [接続先の機器の登録] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [接続先の機器の登録] を選び、[Ⓜ] を押します。
- 相手のカメラも手順 1～3 を行います。
- 両方のカメラで [接続先のカメラでも通信を開始してください] 画面が表示されると登録がはじまります。



4 画像を送る

- ホイールを回して送信したい画像を選び、[◀] か [▶] を押して、[この画像を送信] を選び、[Ⓞ] を押します。
- 画像の送信が開始されます。画像の送信中は画面が暗くなります。
- 送信が完了すると、[送信が完了しました] と表示されたあと、画像を送信する画面に戻ります。
- 接続を切断するには、[MENU] を押し表示される確認画面で [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び [Ⓞ] を押します。



- 接続するには、カードがカメラに入っている必要があります。
- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとする、最近接続した接続先名が最初に表示され、[▲] か [▼] を押して項目を選び [Ⓞ] を押すだけで簡単に接続することができます。新しく接続先を登録するときは [◀] か [▶] で機器の選択画面を表示して設定します。
- MENU (📖 51) の [🔌 4] タブにある [Wi-Fi 設定] の [接続先履歴の表示] で [切] を選ぶと、最近接続した機器は表示されなくなります。
- 複数の画像をまとめて送ったり、画像のサイズを変えて送ったりすることができます (📖 249)。

画像送信について

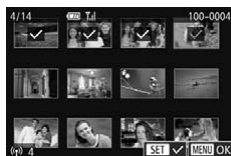
複数の画像を選んで同時に送ったり、記録画素数（画像の大きさ）を変えて送ることができます。また、Web サービスによっては、コメントをつけて画像を送信することができます。

複数の画像を送信する



1 [選んで送信] を選ぶ

- 画像送信の画面で、[◀]か[▶]を押して[選んで送信]を選び、[⊕]を押します。



2 画像を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して送信したい画像を選び、[⊕] を押すと [✓] が表示されます。
- もう一度 [⊕] を押すと [✓] が消え、解除されます。
- 別の画像も選ぶときは、上記の操作を繰り返します。
- 画像の選択が終わったら、[MENU] ボタンを押します。

3 送信する

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [送信] を選び、[⊕] を押します。



- 手順2で [Q] ボタンを2回押すと、1枚表示に切り換わり、[◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して画像を選ぶこともできます。

画像送信時の注意事項

- Wi-Fi 通信部 (📖 5) を手や物で覆わないでください。画像の送受信が遅くなることがあります。
- お使いの通信環境によっては、動画の送信に非常に時間がかかります。バッテリー残量にご注意ください。
- 1 回の送信操作で画像を 50 個までまとめて送信できます。動画は、1 個のみ送信できます。ただし、Web サービスによっては送信できる画像の数が少なくなったり、動画の時間が制限されることがあります。詳しくは、お使いの Web サービスで確認してください。
- スマートフォンに送信するとき、スマートフォンによっては、送信できる動画の画質に制限があります。詳しくは、お使いのスマートフォンの使用説明書などを参照してください。
- 画面には電波の状態を示す以下のアイコンが表示されます。
[📶] 強、[📶] 中、[📶] 弱、[📶] 微弱
- Web サービスに送信するとき、一度、送信したことがある画像では、CANON iMAGE GATEWAY のサーバーにある画像が再利用されるので送信時間は短くなります。

記録画素数（画像の大きさ）を選ぶ

画像を送信する画面で、[▲] か [▼] を押して [F] を選んだあと、[Ⓢ] を押します。表示された画面で [▲] か [▼] を押して、送信する画像の記録画素数（画像の大きさ）を選び、[Ⓢ] を押します。

- [しない] を選ぶと、リサイズされず元の画像の大きさのまま送信されます。
- [S2] か [S3] を選ぶと、選んだ記録画素数より大きい画像がリサイズされて送信されます。
- 動画はリサイズできません。

コメントを入力して送信する

SNS やメールなどに画像を送信するときに、カメラでコメントを入力することができます。なお、送信先の Web サービスによって入力できる文字数は異なります。



1 コメント入力画面を表示する

- 画像を送信する画面で [▲] [▼] [◀] [▶] を押して [F] を選び、[Ⓢ] を押します。
- 画像を送信する画面で [F] をタッチします。

2 コメントを入力する (📖 54)

3 送信する



- コメントを入力しなかったときは、CANON IMAGE GATEWAY で設定したコメントが自動で送信されます。
- 複数の画像を送信するときにもコメントを入力できます。同時に送るすべての画像で同じコメントになります。

画像を自動で送る (クラウドシンクロ)

カード内の未転送の画像を CANON iMAGE GATEWAY 経由でパソコンや Web サービスに送信することができます。

なお、Web サービスだけに送信することはできません。

準備する

カメラの準備をする

接続先として [☑] を登録します。



1 [☑] を登録する

- 「CANON iMAGE GATEWAY を登録する」(235) の操作で、カメラに送信先として [☑] を登録します。
- Web サービスにも画像を送信するときは、CANON iMAGE GATEWAY にログインし (235)、カメラの機種を選んでから、Web サービス設定の画面を表示して、クラウドシンクロの設定で、送信したい Web サービスを選んでください。詳しくは、CANON iMAGE GATEWAY のヘルプをご確認ください。

2 送信する画像の種類を選択する (動画も一緒に送信するときのみ)


- [MENU] ボタンを押して、[4] タブの [Wi-Fi 設定] を選びます (51)。
- [▲] か [▼] を押して [クラウドシンクロ] を選んだあと、[静止画+動画] を選びます (51)。

パソコンの準備をする




送信先のパソコンにソフトウェアをインストールして設定します。



1 ソフトウェアをインストールする

- インターネットに接続したパソコンにソフトウェアをインストールします（306）。

2 カメラを登録する

- Windows では、タスクバー（画面下部に表示されるバー）で  を右クリックして [新しいカメラの追加] をクリックします。
- Mac OS では、メニューバー（画面上部に表示されるバー）で  をクリックして [新しいカメラの追加] をクリックします。
- CANON iMAGE GATEWAY と連携しているカメラの一覧が表示されるので、送信元になるカメラを選びます。
- カメラが登録されて画像を受信できるようになると、アイコンが  に変わります。

画像を送る

カメラを操作して画像を送信すると、パソコンに自動で保存されます。なお、転送先に設定したパソコンが起動していないときは CANON iMAGE GATEWAY のサーバーに一時的に画像を保存しています。一定期間で削除されるのでパソコンを起動して画像を保存してください。

1 画像を送る

- 「Web サービスに画像を送る」(📖239)の手順1～2の操作で [📷] を選びます。
- 接続が完了すると画像が送信されます。CANON iIMAGE GATEWAY のサーバーに画像が転送されると画面に [📷] が表示されます。

2 パソコンに保存する

- パソコンを起動すると、自動で画像が保存されます。
- 送信された画像には [📷] が表示されます。



- 画像を送信するときは、フル充電されたバッテリーか AC アダプターキット（別売）(📖284) を使うことをおすすめします。



- 他の方法でパソコンに取り込んだ画像でも、CANON iIMAGE GATEWAY 経由で未転送のときは送信されます。
- カメラと同じネットワークに送信先のパソコンが接続されているときは、CANON iIMAGE GATEWAY を経由しないで、アクセスポイント経由で画像が送信されるので、送信時間が短くなります。なお、パソコンに保存された画像は、パソコンから CANON iIMAGE GATEWAY に送信されるので、パソコンがインターネットに接続している必要があります。

リモート撮影をする

スマートフォンで撮影画面を確認しながら、スマートフォンをリモコン代わりに操作して撮影することができます。



- 操作するスマートフォンに対してすべての画像を公開する設定にしておく必要があります (📖220、📖259)。

1 カメラを固定する

- 三脚に取り付けるなどしてカメラを安定させてください。

2 カメラとスマートフォンを接続する (📖219)

- 画像の公開設定では [すべての画像] を選んでください。

3 リモート撮影を選ぶ

- スマートフォンを操作して、EOS Remote でリモート撮影を選びます。
- リモート撮影の準備ができると、スマートフォンの画面にカメラからの映像が表示されます。
- カメラの画面にはメッセージが表示され、電源ボタン、モードダイヤル以外は操作できなくなります。

4 撮影する

- スマートフォンを操作して撮影します。



- 動画は撮影できません。
- ピントが合うまでに時間がかかることがあります。
- 通信状態によっては、映像の表示が遅れたり、撮影のタイミングが遅れることがあります。



- 接続環境によっては、スマートフォンに表示されるカメラからの映像がややぎこちなくなることがありますが、記録される画像に影響はありません。
- 撮影した画像はスマートフォンには転送されません。スマートフォンを操作して、カメラ内の画像を表示して保存してください。

Wi-Fi の設定を編集 / 消去する

Wi-Fi に関する、設定の編集 / 消去方法について説明します。

接続情報を編集する



1 Wi-Fi メニューを表示し、編集する機器を選ぶ

- [▶] ボタンを押して電源を入れます。
- [▲] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して機器の選択画面を表示したあと、[▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [●] ホイールを回して編集したい機器のアイコンを選び、[●] を押します。



2 [接続先の機器の編集] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [接続先の機器の編集] を選び、[●] を押します。







3 編集する接続先を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して編集したい接続先を選び、[●] を押します。

4 編集する項目を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して編集する項目を選び、[Ⓜ] を押します。
- 編集できる項目は、接続先によって異なります。

編集できる項目	接続先				
					Web サービス
ニックネームの変更 (📖 258)	○	○	○	-	-
画像の公開設定 (📖 259)	-	○	-	-	-
接続情報を消去 (📖 259)	○	○	○	-	-

○：設定可 -：設定不可

接続先のニックネームを変更する

カメラに表示させる接続先のニックネーム（表示名）を変更できます。



- 「接続情報を編集する」(📖 257) の手順 4 の操作で [ニックネームの変更] を選び、[Ⓜ] を押します。
- 入力欄を選んで [Ⓜ] を押し、表示されたキーボードでニックネームを入力しなおします (📖 54)。

接続情報を消去する

接続情報（接続先の機器の情報）を消去できます。



- 「接続情報を編集する」(📖257) の手順 4 の操作で [接続情報を消去] を選び、[🔍] を押します。
- [消去しますか?] が表示されたら、[◀] か [▶] を押すか [🔍] ホイールを回して [OK] を選び、[🔍] を押します。
- 接続情報が消去されます。

スマートフォンに公開する画像を設定する

スマートフォンとカメラを接続したときに、カメラのカード内にある画像のうち、どの画像をスマートフォンで表示するかを設定します。

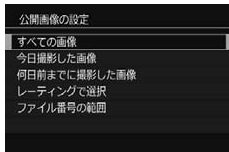
設定項目	スマートフォンに公開される画像
すべての画像	カード内のすべての画像
今日撮影した画像	その日に撮影した画像
何日前までに撮影した画像	その日から指定した日数分前の日までに撮影した画像
レーティングで選択	指定したレーティング (📖204) の画像
ファイル番号の範囲	指定した範囲の画像

なお、スマートフォンに接続する際に手順 2 の画面が表示されたときも同じ操作で設定できます。



1 設定画面を表示する

- 「接続情報を編集する」(📖257) の手順 4 の操作で [画像の公開設定] を選び、[🔍] を押します。



2 項目を選んで設定する

- [▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して項目を選びます。
- [すべての画像] または [今日撮影した画像] を選んだときは [🌀] を押します。
- [何日前までに撮影した画像] を選んだときは、[🌀] を押して表示された画面で [▲] か [▼] を押して日数を指定し、[🌀] を押します。
- [レーティングで選択] を選んだときは、[🌀] を押して表示された画面で [▲] か [▼] を押してレーティングを選び、[🌀] を押します。
- [ファイル番号の範囲] を選んだときは、[🌀] を押して表示された画面で開始と終了の画像を選んで範囲を指定したあと、[OK] を選んで [🌀] を押します。指定方法は、「範囲で指定する」(📖 194) の手順 2～3 を参照してください。



- リモート撮影をするときは、[すべての画像] を選んでください。

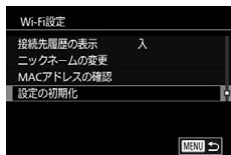
Wi-Fi の設定を初期化する

カメラを譲渡したり廃棄したりするときは、Wi-Fi の設定を初期化します。Wi-Fi の設定を初期化すると、Web サービスの設定内容もすべて消去されます。十分に確認してから初期化してください。



1 [Wi-Fi 設定] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[4] タブの [Wi-Fi 設定] を選びます (📖51)。



2 [設定の初期化] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [設定の初期化] を選び、[OK] を押します。

3 初期化する

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[OK] を押します。
- Wi-Fi の設定が初期化されます。



- Wi-Fi 以外の設定を初期化するときは、[4] タブの [カメラ設定初期化] を選びます (📖279)。

設定メニュー

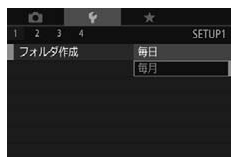
カメラの基本機能を変えて使いやすくする

カメラの基本機能を変える

MENU (📖51) の [👉1] [👉2] [👉3] [👉4] タブで設定します。
ふだん使う上での便利な機能を自分好みに設定することができます。

フォルダを撮影日ごとに作る

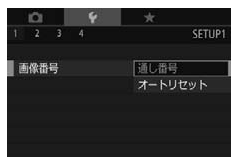
撮影した画像を保存するフォルダは月ごとに作成されますが、撮影日ごとに作成することもできます。



- [👉1] タブの [フォルダ作成] を選び、[毎日] を選びます。
- 撮影日ごとに新しいフォルダが作られ、撮影した画像が保存されます。

画像番号のつけかたを変える

撮影した画像には、撮影した順に 0001 ~ 9999 の番号がつけられ、1つのフォルダに 2000 枚ずつ保存されます。この画像番号のつけかたを変えることができます。



- [👉1] タブの [画像番号] を選び、目的の項目を選びます。

通し番号	画像番号 9999 の画像が撮影／保存されるまでは、カードを変えて撮影しても連番になります。
オートリセット	カードを変えたり、フォルダが新しく作られたときは、画像番号が 0001 に戻ります。



- [通し番号] [オートリセット] とも、変えるカードに画像が入っているときは、その画像番号の続き番号になることがあります。画像番号 0001 の画像から順に保存したいときは、初期化 (🗑️ 265) したカードをお使いください。

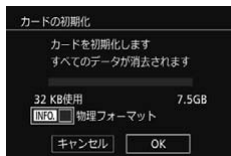
カードを初期化する

新しく買ったカードや他のカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化 (フォーマット) することをおすすめします。

初期化するとカード内のすべてのデータは消され、もとに戻すことはできません。カード内の画像をパソコンにコピーするなどしてから初期化をしてください。

1 [カードの初期化] 画面を表示する

- [📁 1] タブの [カードの初期化] を選び [🗑️] を押します。



2 [OK] を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか、[🔴] ホイールを回して [OK] を選び、[🗑️] を押します。
- カードが初期化されます。



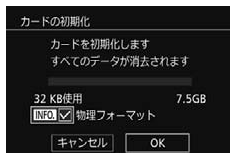
- カード内のデータは、初期化や消去をしてもファイル管理情報が変わるだけで、完全には消えません。カードを譲渡や廃棄するときは注意してください。廃棄するときはカードを破壊するなどして、個人情報の流出を防いでください。



- 初期化の画面で表示されるカードの総容量は、カードに表記されている容量よりも少なくなることがあります。

カードを物理フォーマット（初期化）する

[カードが異常です] のメッセージが表示されたとき、カメラが正しく動作しない、カードへの画像記録／再生時の読み出しや連続撮影速度が遅くなった、動画撮影が途中で止まるなどのときに行います。物理フォーマットをすると、カード内のすべてのデータは消され、もとに戻すことはできません。カード内の画像をパソコンにコピーするなどしてから物理フォーマットをしてください。



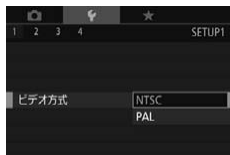
- 「カードを初期化する」の手順 2 (📖265) の画面で、[INFO] ボタンを押して [物理フォーマット] に [✓] を表示します。
- 「カードを初期化する」の手順 2 (📖265) の操作で、初期化（物理フォーマット）します。



- 物理フォーマットはカード内の全記憶領域を初期化するため、「カードを初期化する」(📖265) よりも時間がかかります。
- 物理フォーマット中に [キャンセル] を選ぶと、初期化を中止できます。中止してもデータはすべて消去されますが、カードは問題なく使えます。

ビデオ方式を変える

テレビの映像方式を設定します。この設定に応じて、動画で選べる画質(フレームレート) も変わります。



- [📷1] タブの [ビデオ方式] を選び、目的の項目を選びます。

水準器を調整する

水準器を使っても傾きが気になるときは、水準器を調整します。
グリッドライン (📖 48) を使って、事前にカメラを水平にしておく、
より確実に調整できます。

1 カメラを傾きがない状態にする

- 傾きがない台などの上にカメラを置きます。

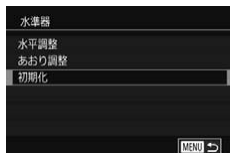


2 調整する

- [👆 1] タブの [水準器] を選び、[⏏] を押します。
- 左右方向の傾きは [水平調整]、前後方向の傾きは [あおり調整] を選び、[⏏] を押すと、確認画面が表示されます。
- [OK] を選び、[⏏] を押します。

水準器を初期化する

水準器の設定を初期状態に戻せます。水準器を調整していないときは、初期化できません。



- [F1] タブの [水準器] を選び、[OK] を押します。
- [初期化] を選び、[OK] を押します。
- [OK] を選び、[OK] を押します。

エコモードを使う

撮影モードでのバッテリーの消耗をおさえる機能です。カメラを操作していないときに、素早く画面を暗くして消費電力をおさえることができます。



1 設定する

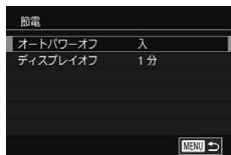
- [F2] タブの [エコモード] を選び、[入] を選びます。
- 撮影画面 (335) に [ECO] が表示されます。
- カメラを操作しないと約 2 秒後に画面が暗くなり、その約 10 秒後に画面が消えます。約 3 分後には電源が切れます。

2 撮影する

- 画面が消えている状態でもランプ（背面）が点灯しているときは、シャッターボタンを半押しすると画面が表示され、撮影できます。

節電機能（オートパワーオフ）の設定を変える

節電機能（オートパワーオフ）を切ったり、画面が消えるまでの時間（ディスプレイオフ）を変えたりできます（[📖42](#)）。



- [👉2] タブの [節電] を選び [🔍] を押します。
- 項目を選んで [🔍] を押したあと、[▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して設定を変え、もう一度 [🔍] を押します。



- バッテリーの消耗を防ぐため、通常は、[オートパワーオフ] を [入] にし、[ディスプレイオフ] を [1分] 以下にすることをおすすめします。



- [ディスプレイオフ] は、[オートパワーオフ] が [切] のときも働きます。
- エコモード（[📖268](#)）を [入] にしているときは、節電機能は使えません。

画面の明るさを変える

画面の明るさを変えられます。



- [F2] タブの「液晶の明るさ」を選んで [OK] を押したあと、[◀] か [▶] を押すか [DIAL] ホイールを回して明るさを変えます。



- 撮影画面や再生モードで 1 枚表示のときに [INFO.] ボタンを 1 秒以上押したままにすると、画面が最高の明るさになります ([F2] タブの「液晶の明るさ」設定は無効になります)。もう一度 [INFO.] ボタンを 1 秒以上押したままにするか、電源を入れなおすと、もとの明るさに戻ります。

世界時計を使う

海外へ旅行するときなど、あらかじめ訪問先（旅行先）のエリアを登録しておく、エリアを切り換えるだけで、登録したエリアの日時で記録できます。日付／時刻を設定しなおす必要がなく便利です。

なお、世界時計を使うには、あらかじめ「日付／時刻を設定する」(24) で日付／時刻と自宅エリアを設定してください。



1 訪問先のエリアを設定する

- [F2] タブの [エリア設定] を選び、[OK] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [DISK] ホイールを回して [訪問先] を選び、[OK] を押します。
- [◀] か [▶] を押して訪問先エリアを選びます。
- [▲] か [▼] を押して [時] を選び、[◀]か[▶]を押して[分]にすると、サマータイム（1時間プラスされます）に設定されます。
- [OK] を押します。



2 訪問先のエリアに切り換える

- [▲] か [▼] を押すか [DISK] ホイールを回して [訪問先] を選び、[MENU] ボタンを押します。
- 撮影画面 (335) に [訪問先] が表示されます。



- [訪問先] の状態で日付／時刻を変える (26) と、[自宅] の日時も自動的に変わります。

日付／時刻を変える

日付／時刻を、現在の設定から変えられます。



- [F2] タブの [日付／時刻] を選び [OK] を押します。
- [◀] か [▶] を押して項目を選び、[▲] か [▼] を押すか [ホイール] を回して設定します。

表示言語を変える

画面に表示される言語を変えられます。



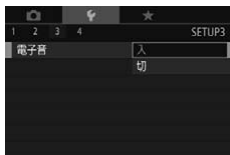
- [F2] タブの [言語] を選び [OK] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [ホイール] を回して言語を選び、[OK] を押します。



- 再生モードにして、[OK] を押したまま、[MENU] ボタンを押すことでも言語画面を表示できます。

電子音を鳴らさない

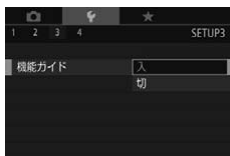
シャッターボタンを半押ししたときやセルフタイマーなどの電子音を鳴らさないようにできます。



- [👉3] タブの [電子音] を選び、[切] を選びます。

機能の説明を表示しない

クイック設定メニュー (📖49) や撮影機能画面 (📖111) で項目を選ぶと、機能の説明が表示されます。この説明を表示しないようにすることができます。



- [👉3] タブの [機能ガイド] を選び、[切] を選びます。

タッチパネルの設定を変える

タッチパネルの感度を上げて軽いタッチにも敏感に反応するようにしたり、画面に触れてもタッチパネルが反応しないようにできます。



- [👉3] タブの [タッチ操作] を選び、目的の項目を選びます。
- タッチパネルの感度を上げるときは [敏感] を、タッチパネルを使わないときは [しない] を選んでください。







- タッチパネルを操作するときは次のことにご注意ください。
 - 感圧式ではありませんので、爪やボールペンなど、先のとがったもので操作しないでください。
 - 濡れた指で操作しないでください。
 - 液晶モニターに水滴がついていたり、濡れた指で操作すると、反応しなくなったり、誤動作することがあります。カメラの電源をいったん切ってから、布などでふき取ってください。
 - 液晶モニターに、市販の保護シートやシールを貼らないでください。タッチの反応が悪くなることがあります。
- [敏感] に設定して素早いタッチ操作を行うと、反応しづらいことがあります。

撮像素子をクリーニングする



電源を入り切りしたときや節電機能で電源が切れたときには、撮像素子前面に付いたゴミを自動的に取り除くクリーニング機能が働きます。この自動クリーニング機能を使わないようにしたり、必要に応じてクリーニング機能を動作させることができます。

自動クリーニングを行わない

1 設定画面を表示する

- 撮影モードで起動したあと、[F3] タブの [センサークリーニング] を選び、 を押します。
- [▲] か [▼] を押すか  ホイールを回して [自動クリーニング ] を選び、 を押します。

2 設定する

- [◀] か [▶] を押すか  ホイールを回して [しない] を選び、 を押します。



クリーニング機能を動作させる

1 設定画面を表示する

- 撮影モードで起動したあと、[F3] タブの [センサークリーニング] を選び、[OK] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [今すぐクリーニング] を選び、[OK] を押します。



2 実行する

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[OK] を押します。
- クリーニングが始まり、クリーニング中を示す画面が表示されます。途中、シャッターの作動音がしますが、撮影は行われません。



- センサーのクリーニングは、レンズを付けていなくても行えます。レンズを付けずに行うときは、シャッター幕を破損しないように、レンズマウント面より中に指やブローアールを入れないでください。



- 机の上などにカメラを置き、底面が机に付いた状態で行うと、効果的にゴミを除去できます。
- 繰り返してクリーニングしても効果は大きく変わりません。なお、清掃終了直後は、[今すぐクリーニング] が選べないことがあります。
- 撮像素子のクリーニング機能で取りきれないゴミやほこりがあるときは、別紙の修理受付センターにご相談ください。

手作業で清掃する

撮像素子のクリーニング機能で取りきれないゴミやほこりがあったときに、市販品のブローアなどを使用して、自分で清掃できます。

撮像素子は非常にデリケートな部品です。手作業での清掃が必要なときは、できるだけ別紙の修理受付窓口にお申し付けください。

1 電源を切る

2 レンズを取り外す

3 撮像素子を清掃する



- 撮像素子の表面は非常にデリケートです。細心の注意を払って清掃してください。
- ブラシの付いていないブローアを使ってください。ブラシが撮像素子に触れると、撮像素子の表面に傷が付くことがあります。
- ブローアは、レンズマウント面より内側に入れないでください。シャッター幕を破損する原因となります。
- 高圧の空気やガスを吹き付けて清掃しないでください。圧力により撮像素子が破損したり、吹き付けたガスが凍結することで、撮像素子の表面に傷が付くことがあります。
- ブローアで除去できない汚れがあったときは、別紙の修理受付窓口撮像素子の清掃をお申し付けください。

認証マークを確認する

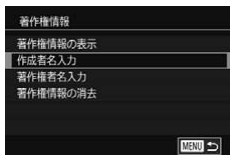
このカメラが対応している認証マークの一部は、画面に表示して確認できます。また、その他の認証マークは、本ガイドやカメラ本体、カメラが入っていた箱にも表記されています。



- [4] タブの [認証マーク表示] を選び、[OK] を押します。

画像に記録する著作権の情報を登録する

作成者名や著作権者名を登録しておくことで、撮影した画像に登録した情報を記録できます。



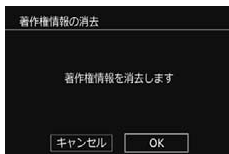
- [4] タブの [著作権情報] を選び、[OK] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [ホイール] を回して [作成者名入力] か [著作権者名入力] を選び、[OK] を押してキーボードを表示して、名前を入力します (54)。
- [MENU] ボタンを押すと、[変更内容を保存しますか?] が表示されるので、[左] か [右] を押すか [ホイール] を回して [はい] を選び、[OK] を押します。
- 撮影する画像に、情報が記録されるようになります。



- 入力した内容は、上記の画面で [著作権情報の表示] を選び、**[Ⓜ]** を押すと確認できます。
- 専用ソフトウェア「EOS Utility」(📖304) でも、カメラに登録する著作権情報を入力したり、変えたり、消すことができます。なお、ソフトウェアを使って入力した文字が、カメラで表示されないことがあります。画像には正しく記録されます。
- 画像に記録された著作権情報は、画像をパソコンに取り込んでからソフトウェアで確認することができます。
- ソフトウェア「EOS Utility」の使用説明書は弊社 Web サイトからダウンロードしてください。ダウンロードの方法については「ソフトウェアの使用説明書」(📖305) を参照してください。

登録した著作権情報をまとめて消す

登録されている作成者名と著作権者名をまとめて消すことができます。



- 「画像に記録する著作権の情報を登録する」(📖277) の操作で、[著作権情報の消去] を選びます。
- [**◀**] か [**▶**] を押すか [**🌀**] ホイールを回して [OK] を選び、**[Ⓜ]** を押します。



- 画像に記録されている著作権情報は消されません。

その他の基本機能を変える

次の機能も使えます。

- [🔍 4] タブの [Wi-Fi 設定] (📖 217)
- [🔍 4] タブの [カスタム撮影モード (C モード)] (📖 168)
- [🔍 4] タブの [ファームウェア📷 Ver.] (ファームウェア変更時に使用)



- ファームウェアの変更時は、誤操作を防ぐため途中からタッチ操作はできなくなります。

カメラの設定を初期状態に戻す

カメラの設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます。



1 [カメラ設定初期化] 画面を表示する

- [🔍 4] タブの [カメラ設定初期化] を選び、[📷] を押します。

2 初期状態に戻す

- [◀] か [▶] を押すか [🔴] ホイールを回して [OK] を選び、[📷] を押します。
- カメラが初期状態に戻ります。



- 次の機能は初期状態に戻りません。
 - [📷 1] タブの [ビデオ方式] (📖266)
 - [📷 2] タブの [エリア設定] (📖271)、[日付 / 時刻] (📖272)、[言語] (📖272)
 - [📷 3] タブの [ストロボ制御] にある [外部ストロボ機能設定]、[外部ストロボカスタム機能設定]
 - [📷 1] タブ
 - 露出補正 (📖112) で設定した値
 - 撮影モード (📖91)
 - Wi-Fi 機能で登録した内容 (📖217)
 - 水準器の調整内容 (📖267)
 - 著作権情報 (📖277)

アクセサリー

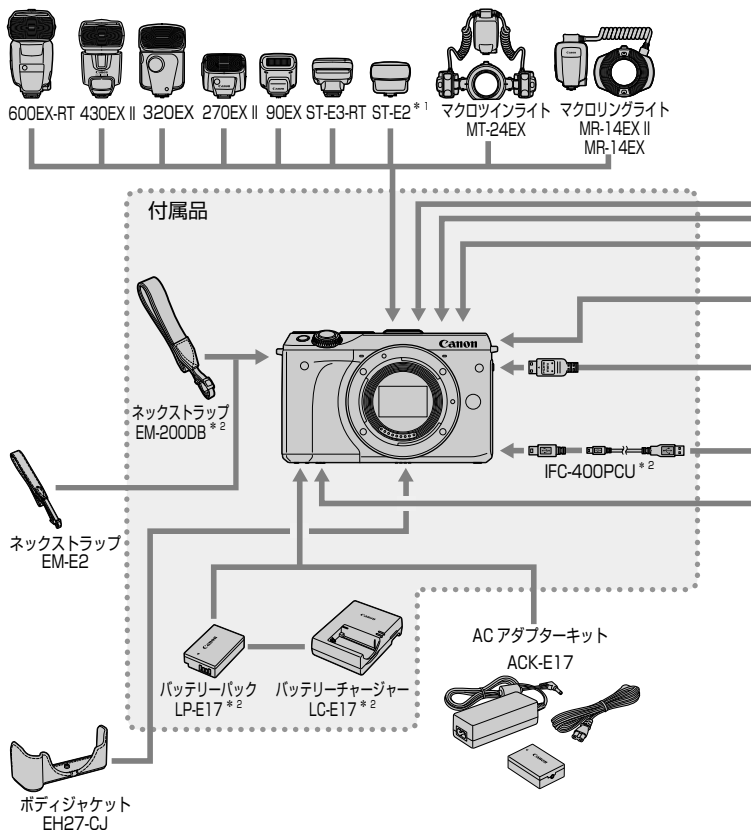
別売アクセサリーや市販の対応機器を使って楽しみかたを広げる

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組みあわせてお使いになった場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。

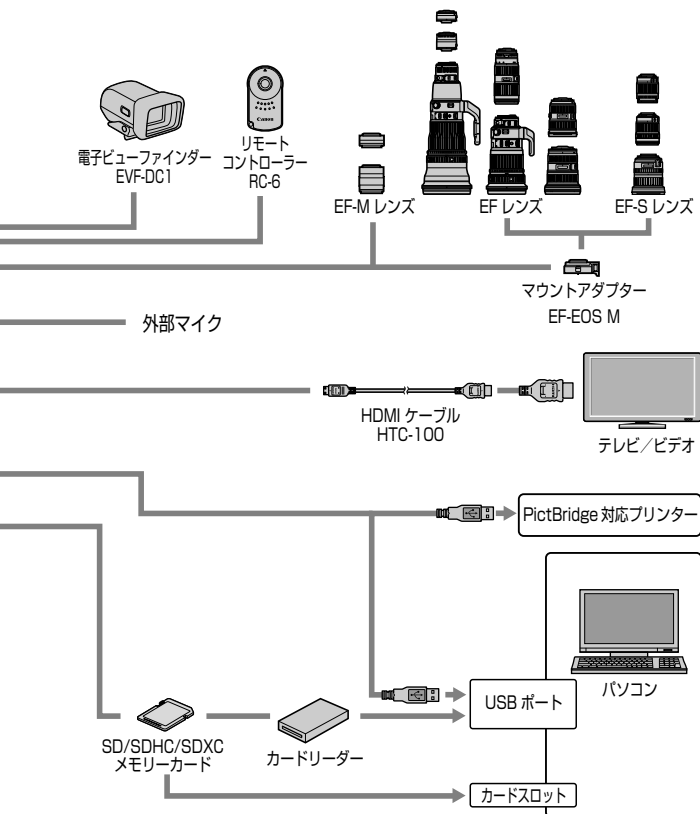
なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

システムマップ



* 1 レンズによってはオフカメラシューコード OC-E3 が必要です。

* 2 別売りも用意されています。



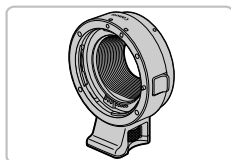
別売アクセサリ

必要に応じてお買い求めの上、ご利用ください。なお、アクセサリは、諸事情により予告なく販売を終了することがあります。また、地域によってはお取り扱いがないことがあります。

レンズ

EF-M レンズ、EF レンズ、EF-S レンズ

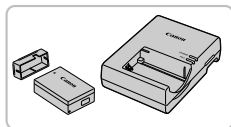
- 目的や表現にあわせてレンズを交換できます。なお、EF レンズ、EF-S レンズを取り付けるときはマウントアダプター EF-EOS M が必要です。



マウントアダプター EF-EOS M

- EF レンズ、EF-S レンズを取り付けるときに使うマウントアダプターです。

電源



バッテリーパック LP-E17

- 充電式のリチウムイオン電池です。

バッテリーチャージャー LC-E17

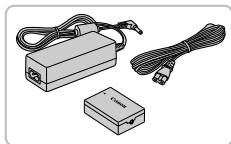
- バッテリーパック LP-E17 用のバッテリーチャージャーです。



- このカメラでキャノン純正以外のバッテリーをお使いになると、[バッテリー通信エラー] のメッセージが表示され、所定の操作が必要となります。なお、純正以外のバッテリーに起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。



- バッテリーには、カバーがついているので、充電したバッテリーは▲が見えるように、充電前のバッテリーは▲が隠れるようにカバーを取り付けると、充電状態を見分けることができます。



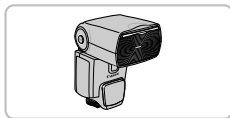
AC アダプターキット ACK-E17

- 家庭用電源でカメラを使えます。カメラを長時間連続して使うときや、プリンターやパソコンとつなぐときには、この AC アダプターキットをお使いになることをおすすめします（カメラ内のバッテリーは充電できません）。



- バッテリーチャージャーや AC アダプターキットは、AC 100 - 240 V 50/60 Hz の地域で使えます。
- プラグの形状があわないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。なお、海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。

ストロボ



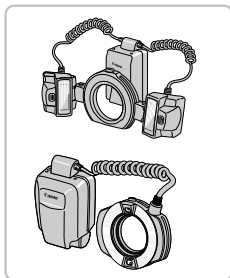
スピードライト 600EX-RT、430EX II、320EX、270EX II、90EX

- クリップオンタイプの外付けストロボで、多彩なストロボ撮影ができます。なお、580EX II、580EX、550EX、430EX、420EX、380EX、270EX、220EX もお使いになれます。



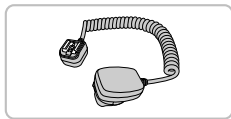
スピードライトトランスミッター ST-E3-RT、ST-E2

- スレーブ設定されたスピードライト (220EX、270EX を除く) をワイヤレスで制御できます。
- ST-E2 をお使いになるとき、レンズによってはオフカメラシューコード OC-E3 が必要です。



マクロツインライト MT-24EX マクロリングライト MR-14EX II、MR-14EX

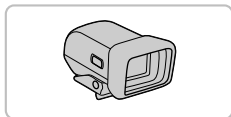
- 外付けのマクロストロボで、多彩なマクロストロボ撮影ができます。



オフカメラシューコード OC-E3

- スピードライトをカメラから離して使うための接続コードです。

その他



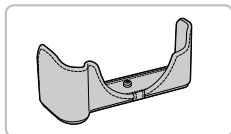
電子ビューファインダー EVF-DC1

- 被写体をしっかりとらえて撮影しやすくなります。



リモートコントローラー RC-6

- カメラを固定して、離れたところからシャッター操作できます。



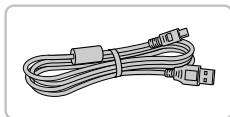
ボディジャケット EH27-CJ

- カメラをキズやホコリから守ります。



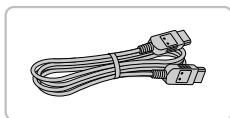
ネックストラップ EM-E2

- ボディジャケット EH27-CJ と同じ素材のストラップです。



インターフェースケーブル IFC-400PCU

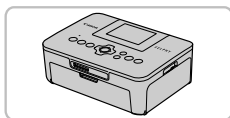
- パソコンやプリンターとカメラをつなぐケーブルです。
- IFC-200U、IFC-500U も使えます。



HDMI ケーブル HTC-100

- カメラとHD（ハイビジョン）対応テレビのHDMI端子をつなぐケーブルです。

プリンター



キヤノン製 PictBridge 対応プリンター

- プリンターをつなぐと、パソコンを使わずに撮影した画像を印刷できます。製品の詳細については、ホームページやカタログで確認していただくか、お客様相談センターへお問い合わせください。

別売アクセサリーの使いかた

▶ 静止画 ▶ 動画

テレビで見る

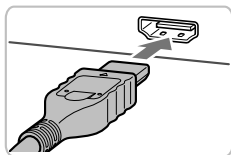
▶ 静止画 ▶ 動画

HDMI ケーブル HTC-100（別売）でカメラと HD 対応テレビをつなぐと、撮影した画像をテレビで見ることができます。また、**[4FHD 29.97P]** **[4FHD 23.98P]** **[4HD 59.94P]** **[4FHD 25.00P]** **[4HD 50.00P]** で撮影した動画は HD（ハイビジョン）画質で見ることができます。

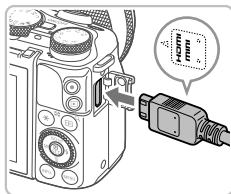
なお、お使いになるテレビとのつなぎかたや入力の切り換えかたについては、テレビの使用説明書を参照してください。

1 カメラとテレビの電源を切る

2 カメラとテレビをつなぐ



- ケーブルのプラグを、図のようにテレビの HDMI 入力端子へしっかりと差し込みます。



- ふたを開き、ケーブルのプラグをカメラの端子へしっかりと差し込みます。

3 テレビの電源を入れて、外部入力に切り換える

- テレビの入力を、手順 2 の操作でつないだ外部入力に切り換えます。

4 カメラの電源を入れる

- [▶] ボタンを押して電源を入れます。
- 画像がテレビに表示されます（カメラの画面には何も表示されません）。
- 見終わったらカメラとテレビの電源を切ってから、ケーブルを抜きます。



- テレビにつないだときは、画面をタッチして操作することはできません。



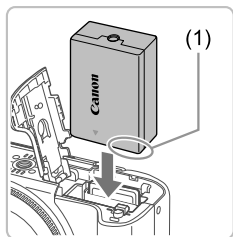
- カメラとテレビをつなぐと、カメラの画面表示をテレビに表示して撮影できます。撮影操作は、カメラの画面を使ったときと同じです。ただし、拡大表示 (📖 188) はできません。

家庭用電源でカメラを使う

▶ 静止画 ▶ 動画

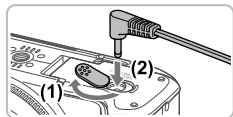
AC アダプターキット ACK-E17 (別売) を使うと、バッテリーの残量を気にせずにカメラを使うことができます。

1 カメラの電源を切る



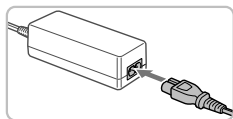
2 カブラーを入れる

- 「バッテリーとカードを入れる」の手順 1 (22) の操作でふたを開きます。
- カブラーの端子部 (1) を図の向きにして、「バッテリーとカードを入れる」の手順 2 (22) のバッテリーを入れる方法と同じ操作でカブラーを入れます。
- 「バッテリーとカードを入れる」の手順 4 (23) の操作でふたを閉めます。



3 プラグをカブラーにつなぐ

- カバーを開き、アダプターのプラグをカブラーの端子にしっかりと差し込みます。



4 電源コードを取り付ける

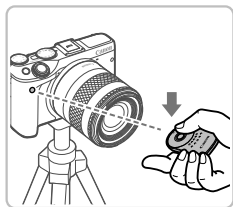
- 電源コードをアダプターに差し込み、プラグをコンセントに差し込みます。
- カメラの電源を入れると、カメラが使えます。
- 使い終わったら、カメラの電源を切ってからプラグをコンセントから抜いてください。



- カメラの電源を入れたまま、プラグや電源コードを抜かないでください。撮影した画像が消えたり、カメラが故障することがあります。
- 故障の原因となるためアダプターやコードを固定して使わないでください。

リモコン撮影する

リモートコントローラー RC-6 (別売) を使うと、カメラの正面から最大約 5m 離れて撮影できます。



- 「セルフタイマーを使う」の手順 1 (70) の操作で [] を選びます。
- リモコンの送信部をカメラのリモコン受信部に向け、送信ボタンを押して撮影します。



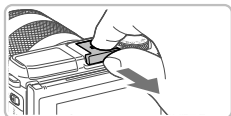
- ピントが合わないとは撮影されません。
- 蛍光灯や LED 電球などが近くにあると、光源の影響でカメラが誤動作して、意図せずにシャッターが切れることがあります。できるだけカメラを光源から離してください。
- テレビ用のリモコンなどをカメラに向けて操作すると、カメラが誤動作して、意図せずにシャッターが切れることがあります。



- 動画撮影中も、リモコン撮影ができます (105) 。

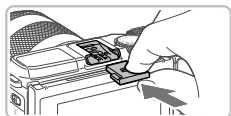
アクセサリースューを使う

電子ビューファインダー（別売）や外付けストロボ（別売）を取り付けるときに使います。



1 アクセサリースューキャップを取り外す

- キャップを図の矢印の方向に引き抜きます。
- 取り外したキャップはなくさないよう、電子ビューファインダーや外付けストロボのケースに入れます。



2 アクセサリースューキャップを取り付ける

- 電子ビューファインダーや外付けストロボを取り外したときは、アクセサリースューを保護するためにキャップを取り付けます。
- キャップを図の矢印の方向に差し込みます。



- 電子ビューファインダー EVF-DC1 以外のアクセサリーをアクセサリースューに取り付けたときは、内蔵ストロボを上げないようにしてください。アクセサリーとストロボが当たることはありません。なお、内蔵ストロボは発光しません。



- アクセサリースューに電子ビューファインダーや外付けストロボを取り付けているときに液晶モニターを上を開くと、ファインダーやストロボが液晶モニターに当たるので、上には開かないでください。

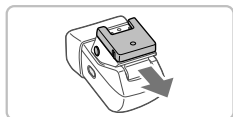
電子ビューファインダー（別売）を使う

▶ 静止画 ▶ 動画


電子ビューファインダー（別売）を使うと、被写体をしっかりとらえて撮影しやすくなります。

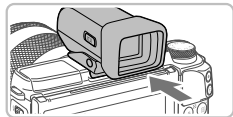
なお、電子ビューファインダーを使うと、カメラ背面の画面（液晶モニター）を使ったときよりも撮影できる枚数や時間が少なくなります。

1 カメラの電源を切る



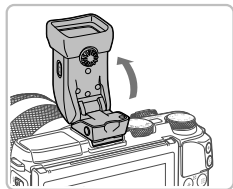
2 アクセサリーシューに電子ビューファインダーを取り付ける

- 電子ビューファインダーのカバーを外します。
- アクセサリーシュー（ 293）に電子ビューファインダーを図のようにカチッとなるまで差し込みます。



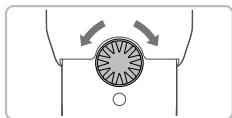
3 電子ビューファインダーの角度を調節する

- 撮影シーンや目的に応じて、電子ビューファインダーの角度を約 90 度まで変えられます。



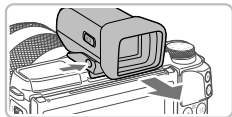
4 カメラの電源を入れて、画面または電子ビューファインダーの表示を切り換える

- 電子ビューファインダーに目を近づけるとファインダーが表示され、カメラの画面は消えます。
- 目を離すとファインダーの表示が消え、カメラの画面が表示されます。



5 視度を調節する

- 電子ビューファインダーの表示がはっきり見えるようにダイヤルを回します。



6 カメラから取り外す

- 使い終わったら、カメラの電源を切り、電子ビューファインダーの [UNLOCK] ボタンを押しながら外します。
- 電子ビューファインダーを使用しないときは、カメラから取り外して保管してください。



- 電子ビューファインダーとカメラの画面を同時に表示することはできません。
- 電子ビューファインダー表示中は、カメラの画面のタッチ操作はできません。



- 電子ビューファインダーは、非常に精密度の高い技術で作られており 99.99%以上の有効画素がありますが、画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。
- 縦横比 (📖 79) の設定によっては、左右または上下に黒帯が表示されます。この部分は撮影できません。
- 電子ビューファインダーの [O] ボタンを押して表示先を切り換えることもできます。
- MENU (📖 51) で [🔍 1] タブの [表示先切り換え] を [マニュアル] にすると、目を離してもカメラの画面には表示されないため、電子ビューファインダーの [O] ボタンを押して表示させてください。
- [A+] [P] [Av] [Tv] [M] モードのときは、電子ビューファインダーを使うと、電子ビューファインダーとカメラの画面のどちらも動きがよりなめらかに表示されます。なお、MENU (📖 51) で [📷 1] タブの [撮影画面表示設定] を [省電力優先] にすると通常の表示になり、バッテリーの消耗を防ぐことができます。
- 電子ビューファインダー表示中に Wi-Fi 通信 (📖 217) やキーボード画面 (📖 54) を表示したときは、カメラの画面に表示が切り換わります。
- 電子ビューファインダーとカメラの画面の明るさ (📖 270) は、それぞれに設定できます。

外付けストロボ（別売）を使う

▶ 静止画 ▶ 動画

スピードライト EX シリーズ（別売）を使うと、より高度なストロボ撮影ができます。また、スピードライト 320EX（別売）では、LED ライトを使った動画撮影ができます。



- スピードライト EX シリーズ以外のキヤノン製ストロボでは「発光しない」、「フル発光する」など正しく発光しないことがあります。
- 他社製のストロボ（特に高圧タイプのストロボ）やストロボ用付属品を使うと、カメラが正常な機能を発揮しなかったり、故障の原因となることがあります。



- お使いになるスピードライト EX シリーズの使用説明書もあわせて参照してください。なお、このカメラは、EX スピードライトの全機能が使用できる、A タイプカメラに属しています。

1 ストロボを取り付ける

- カメラの電源が切れていることを確認し、ストロボを取り付けます。

2 ストロボ、カメラの順番で電源を入れる

- [⚡]（オレンジ色）が表示されます。
- ストロボの充電が完了すると、ストロボのパイロットランプが点灯します。

3 撮影モードを [P]、[Tv]、[Av]、[M] のいずれかにする

- 他の撮影モードでは自動調光で発光するので、設定は変えられません。

4 外付けストロボを設定する (📖299)



- マクロリングライトまたはマクロツインライトのコードやオフカメラシューコードが、発光部にかからないようにしてください。
- 三脚を使うときは、発光部が三脚に当たらないように、三脚の向きを調整してください。
- ストロボ制御部の取り付け位置によっては、液晶モニターに当たることがありますので、ストロボ制御部の取り付け位置や向きを動かすか、液晶モニターの角度を調整してください。



- スピードライト EX シリーズを取り付けているときは、内蔵ストロボの設定画面が表示されないため設定できません。
- [▶] を 1 秒以上押すことで設定画面を表示することもできます。
- LED ライト (320EX のみ) は、暗い場所で、動画撮影中または動画モードにしたときだけ自動点灯します。このとき、画面には [🔦] が表示されます。
- 外部ストロボの AF 補助光は光りません。なお、スピードライト 320EX (別売) 使用時は、AF 補助用として LED ライトが点灯することがあります。

外付けストロボの機能を設定する

外付けストロボを取り付けているとき、MENU (📖 51) の [📷 3] タブの [ストロボ制御] では次の設定が行えます。

- ストロボの発光 (📖 138)
- E-TTL II 調光方式 (📖 142)
- 赤目緩和機能 (📖 83)
- 外部ストロボ機能設定 (📖 299)
- 外部ストロボカスタム機能設定 (📖 301)
- 設定初期化 (📖 302)



- [外部ストロボ機能設定] を選んで [🔍] を押すと、左の画面が表示されます。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [🔍] ホイールを回して項目を選び、[🔍] を押して表示された画面で [◀] か [▶] を押すか [🔍] ホイールを回して内容を選び、[🔍] を押して設定できます。

設定項目	説明
発光モード	<p>撮影目的に応じて発光モードを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [E-TTL II] は、ストロボの自動撮影ができる、EX シリーズスピードライトの標準的なモードです。 ● [マニュアル発光] は、ストロボの [発光量] を自分で決めて撮影するモードです。 ● その他の発光モードについては、その発光モードに対応したストロボの使用説明書を参照してください。
ワイヤレス機能	<p>ワイヤレス (多灯) ストロボ撮影ができます。多灯ストロボ撮影時は、電波通信チャンネル、光通信チャンネル、マスター発光なども設定できます。詳しくは、ワイヤレスストロボ撮影に対応したストロボの使用説明書を参照してください。</p>

設定項目	説明
ズーム (照射角)	<p>ズーム機能を内蔵したストロボ使用時に、発光照射角を設定できます。通常は、撮影レンズの焦点距離に応じて照射角をカメラが自動設定する [AUTO] を選んでください。</p>
シンクロ設定	<p>ストロボ発光とシャッターのタイミングを変えることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [] では、撮影開始直後にストロボが発光します。 ● [] では、後幕撮影終了直前にストロボが発光します。なお、シャッタースピードが 1/100 秒かそれより速いときは、[後幕シンクロ] に設定していても、自動的に先幕シンクロ撮影になります。 ● [] では、すべてのシャッター速度でストロボ撮影ができます。特に日中シンクロによるポートレート撮影で、絞りを優先したいときに有効です。
調光補正	<p>ストロボ撮影時の露出を補正できます。詳しくは、ストロボの使用説明書を参照してください。なお、ストロボで調光補正を設定したときは、カメラ側から調光補正はできません。また、同時に設定されているときは、ストロボ側の設定が優先されます。</p>
発光量	<p>ストロボの発光量を設定できます。詳しくは、ストロボの使用説明書を参照してください。なお、ストロボで同時に設定されているときは、ストロボ側の設定が優先されます。</p>
FEB	<p>ストロボの発光量を自動的に変えながら 3 枚の撮影ができます (FEB は Flash Exposure Bracketing の略です)。詳しくは、FEB に対応したストロボの使用説明書を参照してください。</p>

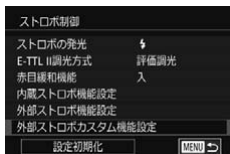
設定項目	説明
発光回数、発光周波数	[発光モード] が [MULTI] のときの発光回数、発光周波数を設定します。
光量比	ワイヤレス (多灯) ストロボ撮影時や MR-14EX II 使用時に、発光量の比率を設定できます。



- 外付けストロボを取り付けているときは、[内蔵ストロボ機能設定] は使えません。
- 画面に表示される内容や設定できる項目は、ストロボの機種や現在設定されているストロボの発光モード、ストロボカスタム機能の設定状態などにより異なります。使用するストロボが対応している機能については、ストロボ (別売) の使用説明書を参照してください。
- ストロボ機能設定に対応していない EX スピードライトでは、[調光補正] のみ設定できます (一部の EX スピードライトでは、[シンクロ設定] も設定できます)。

外付けストロボのカスタム機能を設定する

ストロボのカスタム機能については、ストロボ (別売) の使用説明書を参照してください。



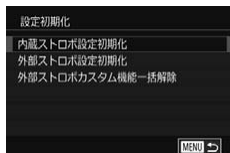
- [MENU] ボタンを押して、[CAMERA 3] タブの [ストロボ制御] にある [外部ストロボカスタム機能設定] を選んで [OK] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [DISK] ホイールを回して項目を選び、[OK] を押して表示された画面で [▲] か [▼] を押すか [DISK] ホイールを回して内容を選び、[OK] を押して設定します。



- [外部ストロボカスタム機能設定] の [調光方式] を [1:TTL] (自動調光) に設定して撮影するとストロボはフル発光します。

外付けストロボの機能を初期化する

〔外部ストロボ機能設定〕と〔外部ストロボカスタム機能設定〕の設定をそれぞれ初期化することができます。



- [MENU] ボタンを押して、[📷 3] タブの [ストロボ制御] にある [設定初期化] を選んで [⊕] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [🌀] ホイールを回して項目を選び、[⊕] を押して表示された画面で [◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して [OK] を選び、[⊕] を押します。

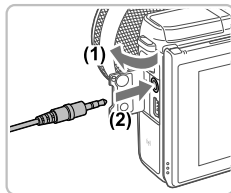


- 外付けストロボを取り付けているときは、〔内蔵ストロボ設定初期化〕は使えません。

外部マイクを使う

▶ 静止画 ▶ 動画

外部マイク入力端子 (📖 5) に、ミニプラグ (φ 3.5 mm) を備えた市販のマイクをつなぐと、外部マイクで録音されます。なお、外部マイクをつないだときは、内蔵マイクによる録音はされません。



- ふたを開けて、外部マイクをつなぎます。



- アッテネーターを使うと、外部マイクにも設定が反映されます (📖 108)。
- 外部マイクをつないだときは、[ウィンドカット] (📖 108) は [切] に固定されます。

ソフトウェアを使う

ここでは、付属の CD-ROM に収録されているソフトウェアの紹介のほか、インストール方法、画像をパソコンに取り込む方法について説明します。

ソフトウェアについて

ソフトウェアをインストールすると、パソコンで次のようなことができます。

- EOS Utility (イオス ユーティリティ)
 - 画像の取り込みやカメラの各種設定
- Digital Photo Professional (デジタル フォト プロフェッショナル)
 - RAW 画像を含む画像の閲覧をはじめ、現像処理や各種の編集
- Picture Style Editor (ピクチャー スタイル エディター)
 - ピクチャースタイルの編集、ピクチャースタイルファイルの作成／保存
- Image Transfer Utility (イメージ トランスファー ユーティリティ)
 - クラウドシンクロ (📖252) の設定、画像受信



- パソコンで動画を見たり編集するときは、カメラで撮影した動画に対応したソフトウェア (パソコンに標準でインストールされているソフトウェアや汎用のソフトウェア) をお使いください。

ソフトウェアの使用説明書

ソフトウェアの使用説明書は弊社 Web サイトからダウンロードして参照ください。



- パソコンからインターネットへ接続し、下記の URL に接続します。
- ソフトウェアのバージョンに対応した使用説明書をダウンロードします。ソフトウェアのバージョンは、ソフトウェア CD-ROM 上の記載で確認できます。

<http://cweb.canon.jp/manual/eosd/soft.html>



- 電子マニュアルを参照するには、Adobe Reader が必要です。
- 付属の EOS DIGITAL Solution Disk (CD-ROM) をパソコンに入れて表示される画面で [マニュアルダウンロード] をクリックすることでも表示できます。

パソコンの環境を確認する

ソフトウェアがお使いになれるパソコンは以下のとおりです。詳細なシステム構成や最新の OS を含む対応状況については弊社 Web サイトを確認してください。

OS	Windows	Mac OS
	Windows 8/8.1 Windows 7 SP1	Mac OS X 10.9 Mac OS X 10.8



- 最新の OS を含む対応状況については弊社 Web サイトを確認してください。

インストールする

1 EOS DIGITAL Solution Disk (CD-ROM) をパソコンに入れる

- Macでは、デスクトップ上のCD-ROMアイコンをダブルクリックして開き、[Canon EOS Digital Installer] をダブルクリックしてください。

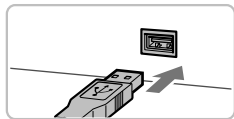
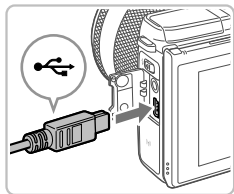
2 [おまかせインストール] をクリックし、画面の指示に従って操作する

- ダウンロードしたファイルをダブルクリックして表示された画面で、[おまかせインストール] をクリックします。
- 表示される画面にしたがって操作を進めます。
- お使いのパソコンやインターネット環境によってはインストールに時間がかかることがあります。
- インストールを終えると表示される画面の[完了]または[再起動] をクリックします。

画像をパソコンに取り込む

インターフェースケーブル (2) でカメラとパソコンをつないで、画像をパソコンに取り込みます。

ここでは、Windows 7 と Mac OS X 10.8 を使って説明をしています。



1 カメラとパソコンをつなぐ

- カメラの電源が切れた状態でふたを開き (1)、ケーブルの小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます (2)。
- ケーブルの大きい方のプラグをパソコンの USB 端子に差し込みます。パソコンの USB 端子については、パソコンの使用説明書を参照してください。

2 電源を入れて EOS Utility を表示する

- [▶] ボタンを押して電源を入れます。
- Windows では、デスクトップにある EOS Utility のアイコンをダブルクリックします。
- Mac OS では、Dock (デスクトップ下部に表示されるバー) にある EOS Utility のアイコンをクリックします。
- 2 回目以降は、カメラとパソコンを接続したときは、カメラの電源を入れると EOS Utility が起動します。

3 画像を取り込む

- [画像をパソコンに取り込み] ▶ [自動取り込み開始] の順にクリックします。
- 画像がパソコンに取り込まれて、「ピクチャ」フォルダ内に撮影日ごとのフォルダに分けられて保存されたあと、Digital Photo Professionalが自動的に起動し、取り込んだ画像が表示されます。
- 取り込みが完了したら EOS Utility を閉じ、カメラの [▶] ボタンを押して電源を切ってからケーブルを抜きます。
- パソコンに取り込んだ画像を見るときは Digital Photo Professional、動画を見るときはカメラで撮影した動画に対応したソフトウェア（パソコンに標準でインストールされているソフトウェアや汎用のソフトウェア）をお使いください。



- はじめてカメラとパソコンをつないだときにドライバーがインストールされるため、操作ができるようになるまでに時間がかかることがあります。
- ソフトウェアの画像取り込み機能を使わなくても、カメラとパソコンをつなぐだけで画像を取り込むことができますが、次のような制限事項があります。
 - カメラとパソコンをつないでから操作できるようになるまで、数分かかります。
 - 縦位置で撮影した画像が横位置になって取り込まれることがあります。
 - RAW 画像および同時記録された JPEG 画像は、取り込まれないことがあります。
 - 保護した画像が、パソコン側で解除されることがあります。
 - OS のバージョンや使用するソフトウェア、ファイルサイズによっては、画像や画像に付属する情報が正しく取り込まれないことがあります。

印刷する

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影した画像は、カメラとプリンターをつないで印刷することができます。また、カメラで画像を指定しておき、一括印刷、写真店への印刷注文、フォトブックの注文や印刷をすることができます。

なお、ここでは、キヤノン製コンパクトフォトプリンター SELPHY CP シリーズを使って説明しています。プリンターによっては表示される画面やできることが異なります。プリンターの使用説明書もあわせて参照してください。

かんたん印刷

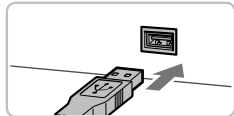
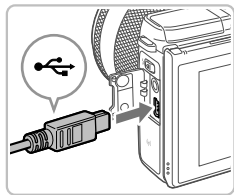
▶ 静止画 ▶ 動画

撮影した画像は、インターフェースケーブル (📖2) でカメラと PictBridge (ピクトブリッジ) 対応プリンター (別売) をつないで、かんたんに印刷できます。

1 カメラとプリンターの電源を切る

2 カメラとプリンターをつなぐ

- ふたを開き、ケーブルの小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます。
- ケーブルの大きい方のプラグをプリンターに差し込みます。プリンターとのつながりかたについては、プリンターの使用説明書を参照してください。



3 プリンターの電源を入れる



4 カメラの電源を入れる

- [▶] ボタンを押して電源を入れます。

5 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して画像を選びます。



6 印刷画面を表示する

- [●] を押したあと、[▶] を選び、もう一度 [●] を押します。



7 印刷する

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [印刷] を選び、[●] を押します。
- 印刷がはじまります。
- 別の画像を印刷するときには、印刷が終わったあと、手順5からの操作を繰り返します。
- 印刷が終わったらカメラとプリンターの電源を切り、ケーブルを抜きます。



- キヤノン製 PictBridge 対応プリンター（別売）については、「プリンター」(P.288) を参照してください。

印刷設定をする

▶ 静止画 ▶ 動画



1 印刷画面を表示する

- 「かんたん印刷」の手順 1～6 (📖309) の操作でこの画面を表示します。

2 設定する

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して項目を選び、[⊗] を押して切り換えた画面で [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して内容を選んだあと、[⊗] を押して印刷画面に戻ります。

🗨️	標準設定	プリンターの設定にしたいがいます。
	日付	日付を入れて印刷します。
	画像番号	画像番号を入れて印刷します。
	両方	日付と画像番号の両方を印刷します。
	切	-
📄	標準設定	プリンターの設定にしたいがいます。
	切	-
	入	撮影時の情報を使って最適な設定で印刷します。
	赤目 1	赤く写った目を補正します。
🗨️	印刷枚数	印刷枚数を指定します。
トリミング	-	印刷する範囲を指定します (📖312)。
用紙設定	-	用紙サイズやレイアウトなどを指定します (📖313)。

画像を切り抜いて印刷する（トリミング）

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の一部分を切り抜いて印刷することができます。



1 【トリミング】を選ぶ

- 「印刷設定をする」の手順 1 (📖 311) の操作で印刷画面を表示したあと、【トリミング】を選び、[OK] を押します。
- 切り抜く範囲を示す枠が表示されます。



2 切り抜く範囲を指定する

- [Q] ボタンか [🔲] ボタンを押すか [🌀] ホイールを回して枠の大きさを変えます。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して枠の位置を変えます。
- [INFO] ボタンを押すと枠が回転します。
- [OK] を押して設定します。

3 印刷する

- 「かんたん印刷」の手順 7 (📖 309) の操作で印刷します。



- 画像が小さすぎたり、縦横比によっては、トリミングできないことがあります。

用紙サイズやレイアウトを選んで印刷する

▶ 静止画 ▶ 動画



1 「用紙設定」を選ぶ

- 「印刷設定をする」の手順1 (📖 311) の操作で印刷画面を表示したあと、「用紙設定」を選び、[⊕] を押します。



2 用紙サイズを選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して内容を選び、[⊕] を押します。



3 用紙タイプを選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して内容を選び、[⊕] を押します。



4 レイアウトを選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して内容を選び、[⊕] を押します。
- 「複数画像」を選んだときは、[⊕] を押して切り換えた画面で [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して印刷枚数を選んだあと、[⊕] を押します。

5 印刷する

レイアウトで設定できる項目

標準設定	プリンターの設定にしたいがいます。
フチあり	フチをつけて印刷します。
フチなし	フチなしで印刷します。
複数画像	1枚の用紙に印刷する画像の枚数を選びます。
ID フォト	証明写真用の画像を印刷します。 記録画素数がLで、縦横比が3:2の画像にのみ指定できます。
固定サイズ	印刷する大きさを指定します。 L判、はがき、ワイドサイズでのみ指定できます。

証明写真を印刷する

▶ 静止画 ▶ 動画

1 [ID フォト] を選ぶ

- 「用紙サイズやレイアウトを選んで印刷する」の手順1～4(書313)の操作で[ID フォト]を選び、**[F6]**を押します。



2 長辺と短辺の長さを選ぶ

- [▲]**か**[▼]**を押すか**[●]**ホイールを回して項目を選び、**[F6]**を押して切り換えた画面で**[▲]**か**[▼]**を押すか**[●]**ホイールを回して長さを選んだあと、**[F6]**を押します。

3 印刷する範囲を選ぶ

- 手順2の画面で**[▲]**か**[▼]**を押すか**[●]**ホイールを回して「トリミング」を選びます。
- 「画像を切り抜いて印刷する(トリミング)」の手順2(書312)の操作で印刷する範囲を選びます。



4 印刷する

動画を印刷する

▶ 静止画 ▶ 動画



1 印刷画面を表示する

- 「かんたん印刷」の手順 1 ~ 6 (📖 309) の操作で動画を選び、この画面を表示します。

2 印刷方法を選ぶ

- [▲] か [▼] を押して [🔍] を選び [🔍] を押して切り換えた画面で [▲] か [▼] を押すか [🔍] ホイールを回して内容を選んだあと、[🔍] を押して印刷画面に戻ります。

3 印刷する

動画の印刷方法

1 コマ	表示されているシーンを静止画として印刷します。
連続コマ	動画から一定の間隔で抜き出したシーンを、1枚の用紙に並べて印刷します。[キャプション] を [入] にすると、フォルダ番号、画像番号、コマの経過時間を同時に印刷できます。



- 印刷中に **[Ⓜ]** を押したあと、**[OK]** を選んで **[Ⓜ]** を押すと印刷が中止されます。
- CP720 / CP730 以前のキヤノン PictBridge 対応プリンターでは、**[ID フォト]** や **[連続コマ]** は指定できません。

印刷指定 (DPOF)

▶ 静止画 ▶ 動画

カード内の画像から印刷したい画像や印刷枚数などを指定して、一括印刷 (📖 321) や写真店への印刷注文をすることができます (最大 998 画像)。なお、この指定方法は、DPOF (Digital Print Order Format) 規格に準拠しています。



- RAW 画像は指定できません。

印刷内容を指定する

▶ 静止画 ▶ 動画


印刷タイプや日付、画像番号といった印刷内容を設定できます。この設定は、印刷指定したすべての画像に共通して適用されます。



- **[MENU]** ボタンを押して、**[▶ 2]** タブの **[印刷設定]** を選び、**[Ⓜ]** を押します。
- **[▲]** か **[▼]** を押すか **[⦿]** ホイールを回して **[印刷の設定]** を選び **[Ⓜ]** を押して表示された画面で、項目を選び設定します (📖 51)。

印刷タイプ	スタンダード	1枚の用紙に1枚の画像を印刷
	インデックス	1枚の用紙に縮小画像を複数印刷
	両方	スタンダードとインデックスの両方を印刷
日付	入	撮影日を入れて印刷
	切	—
画像番号	入	画像番号を入れて印刷
	切	—
印刷後 指定解除	入	印刷後、画像の印刷指定をすべて解除
	切	—



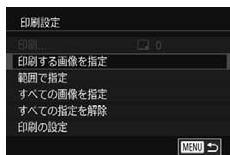
- プリンターまたは写真店によっては、設定した内容が反映されないことがあります。
- 他のカメラで設定したカードをこのカメラに入れると、が表示されることがあります。このカメラで設定を変えると、設定済みの内容がすべて書き換えられることがあります。
- [日付] を [入] に設定すると、お使いのプリンターによっては、日付が重複して印刷されることがあります。



- [インデックス] に設定したときは、[日付] と [画像番号] の両方を [入] にはできません。
- 一部のキヤノン製 PictBridge 対応プリンター（別売）では、インデックス印刷ができないことがあります。
- 日付の並びは、MENU (📖 51) の [🔧 2] タブの [日付 / 時刻] で設定した内容で印刷されます (📖 24)。

1 枚ずつ枚数を指定する

▶ 静止画 ▶ 動画



1 [印刷する画像を指定] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶ 2] タブの [印刷設定] を選び、[⊕] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [印刷する画像を指定] を選び [⊕] を押します (51)。

2 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して画像を選び、[⊕] を押します。
- 枚数指定ができるようになります。
- [インデックス] では、指定されると [✓] が表示され、もう一度 [⊕] を押すと解除されて [✓] が消えます。



3 枚数を設定する

- [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して枚数を指定します (最大 99 枚)。
- 手順 2 ~ 3 の操作を繰り返して、画像と枚数を指定します。
- [インデックス] では枚数の指定ができません。手順 2 の操作で画像のみを選んでください。
- [MENU] ボタンを押すと設定され、メニュー画面に戻ります。

範囲で指定する

▶ 静止画 ▶ 動画



- 「1枚ずつ枚数を指定する」の手順1 (📖318) の操作で「範囲で指定」を選び、[Ⓜ] を押します。
- 「範囲で指定する」の手順2～3 (📖194) の操作で指定します。
- [▲] か [▼] を押して「画像指定」を選び、[Ⓜ] を押します。

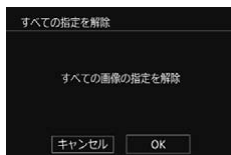
すべての画像を指定する

▶ 静止画 ▶ 動画



- 「1枚ずつ枚数を指定する」の手順1 (📖318) の操作で「すべての画像を指定」を選び、[Ⓜ] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[Ⓜ] を押します。

すべての指定を解除する



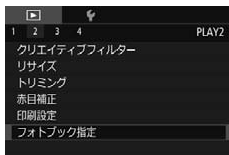
- 「1枚ずつ枚数を指定する」の手順1 (📖318) の操作で「すべての指定を解除」を選び、[Ⓜ] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[Ⓜ] を押します。

フォトブック指定

▶ 静止画 ▶ 動画

カード内の画像からフォトブックに使いたい画像を指定(最大 998 画像)し、ソフトウェアを使ってパソコンに取り込むと、指定した画像が専用のフォルダにコピーされます。インターネットでフォトブック注文するときや、お使いのプリンターで印刷するときに便利です。

指定方法を選ぶ



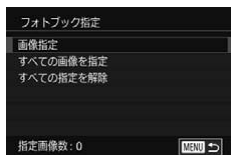
- [MENU] ボタンを押して、[▶ 2] タブの [フォトブック指定] を選んだあと、指定方法を選びます。



- 他のカメラで設定したカードをこのカメラに入れると、[!] が表示されることがあります。このカメラで設定を変えると、設定済みの内容がすべて書き換えられることがあります。

1 枚ずつ指定する

▶ 静止画 ▶ 動画



1 「画像指定」を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」(320) の操作で「画像指定」を選び、**[OK]** を押します。

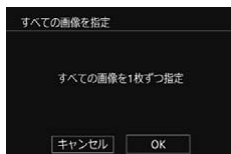


2 画像を選ぶ

- [◀]** か **[▶]** を押すか **[●]** ホイールを回して画像を選び、**[OK]** を押します。
- [✓]** が表示されます。
- もう一度 **[OK]** を押すと解除され、**[✓]** が消えます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。
- [MENU]** ボタンを押すと設定され、メニュー画面に戻ります。

すべての画像を指定する

▶ 静止画 ▶ 動画



- 「指定方法を選ぶ」(320) の操作で「すべての画像を指定」を選び、**[OK]** を押します。
- [◀]** か **[▶]** を押すか **[●]** ホイールを回して **[OK]** を選び、**[OK]** を押します。

すべての指定を解除する

▶ 静止画 ▶ 動画



- 「指定方法を選ぶ」(320) の操作で [すべての指定を解除] を選び、[OK] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [●] ホイールを回して [OK] を選び、[OK] を押します。

付録

カメラを使うときに役立つ情報

故障かな？と思ったら

「カメラが故障したのかな？」と考える前に、次の例を参考に確認してください。ただし、問題が解決しないときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

電源

電源ボタンを押してもカメラが動作しない

- バッテリーを充電してください (P.20)。
- バッテリーが正しい向きで入っているか確認してください (P.22)。
- カード／バッテリー収納部ふたが閉じているか確認してください (P.22)。
- バッテリーの端子が汚れているとバッテリー性能が低下します。綿棒などで端子を拭き、バッテリーを数回入れなおしてください。

バッテリーの消耗が早い

- 低温下ではバッテリー性能が低下します。バッテリーの端子部が他の金属にふれないようにして、ポケットなどで温めてからお使いください。
- バッテリーの端子が汚れているとバッテリー性能が低下します。綿棒などで端子を拭き、バッテリーを数回入れなおしてください。
- 上記を確認しても、充電したのにすぐ使えなくなるときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

バッテリーがふくらむ

- バッテリー特性のため安全上は問題ありません。ただし、バッテリーがふくらむことでカメラに入らなくなったときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

EF-M レンズを取り付けているときに電源を入り切りすると音が聞こえる

- カメラ内部を保護するため、電源が切れているときは絞りを絞り込んでカメラ内部に光が入らないようにするため、絞りが動く小さな音がします。

撮影

撮影できない

- ピントが合わないと撮影できません。シャッターボタンを半押ししたときに、枠が緑色になるようにしてピントを合わせてから撮影してください。
- 再生モードのとき (📖173) は、シャッターボタンを半押ししてください (📖44)。

暗い場所での画面表示がおかしい (📖48)

撮影中の画面表示がおかしい

- 次のときは、静止画には記録されませんが、動画には記録されます。注意してください。
 - 蛍光灯やLEDなどの照明下で撮影すると、画面がちらついたり横帯が表示されたりすることがあります。

シャッターボタンを押したら、画面に [🔋] が点滅表示されて撮影できない (📖65)

シャッターボタンを半押ししたときに、[🔋] が表示される (📖65)

- 手ブレ補正機能を使って撮影してください (📖144)。
- ストロボを上げて、ストロボモードを [🔋] にしてください (📖138)。
- ISO感度を高くしてください (📖114)。
- 三脚などでカメラを固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、手ブレ補正を使わないことをおすすめします (📖144)。

画像がボケて撮影される

- オートフォーカス (AF) で撮影してください。
- シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、撮影してください (📖44)。
- レンズの最短撮影距離より近づくとピントが合いません。最短撮影距離は、使用しているレンズで確認してください。なお、最短撮影距離は、カメラの上面の [📷] (撮像面マーク) から被写体までの距離です。
- [AF補助光(LED)の投光] を [0:する] にしてください (📖164)。
- 意図しない機能 (マニュアルフォーカスなど) が設定されていないか確認してください。
- フォーカスロック、AFロックで撮影してください (📖129、📖131)。

画像がブレて撮影される

- タッチシャッター機能を使って撮影するときは、撮影シーンによっては、画像がブレやすくなることがあります。カメラをしっかりと持って撮影してください。

シャッターボタンを半押ししても、AF フレームがオレンジ色で表示されピントが合わない

- 被写体の明暗差がある部分を画面中央にしてシャッターボタンを半押しするか、半押しを何度か繰り返すと AF フレームが緑色で表示され、ピントが合うことがあります。

被写体が暗すぎる

- ストロボを上げて、ストロボモードを [⚡] にしてください (📖138)。
- 露出補正で明るさを補正してください (📖112)。
- オートライティングオブティマイザで補正してください (📖117)。
- AE ロックまたは部分測光で撮影してください (📖112、📖113)。

被写体が明るすぎる (白トビする)

- ストロボを下げて、ストロボモードを [☀] にしてください (📖61)。
- 露出補正で明るさを補正してください (📖112)。
- AE ロックまたは部分測光で撮影してください (📖112、📖113)。
- 被写体にあたっている照明を弱めてください。

ストロボが光ったのに暗い画像になる (📖65)

- ストロボ撮影に適した距離で撮影してください (📖379)。
- 調光補正量や発光量で明るさを補正してください (📖140、📖158)。
- ISO 感度を高くしてください (📖114)。

ストロボ撮影した画像の被写体が明るすぎる (白トビする)

- ストロボ撮影に適した距離で撮影してください (📖379)。
- ストロボを下げて、ストロボモードを [☀] にしてください (📖61)。
- 調光補正量や発光量で明るさを補正してください (📖140、📖158)。

ストロボ撮影時、画像に白い点などが写る

- 空気中のちりなどにストロボ光が反射しました。

画像が粗い感じになる

- ISO 感度を低くして撮影してください (📖114)。
- 撮影モードによっては ISO 感度が高くなるため、粗い感じの画像になることがあります (📖91)。

画像に線状のノイズまたはモアレが写る

- 被写体により、画像に線状のノイズまたはモアレが記録されることがあります。特に以下の条件で発生しやすくなります。
 - 細かい水平方向の縞模様や、格子模様の被写体など
 - 太陽光や照明などの強い光源が撮影画面内にあるときや、撮影画面の近くにあるとき
 なお、このようなときは、以下の対応によりノイズやモアレの発生を低減できることがあります。
 - 撮影距離やズーム倍率を変えて、被写体の大きさを変える
 - 強い光源が撮影画面に入らないように構図を変える
 - レンズにフードを取り付けて、強い光がレンズに当たらないようにする
- TS-E レンズを使用してシフトやティルトを行ったときは、画像に線状のノイズまたはモアレが記録されることがあります。

目が赤く写る

- [赤目緩和機能] を [入] に設定してください (📖83)。ストロボ撮影のときは、ランプ (前面) (📖5) が点灯します。また、写される人がランプを見ているときに効果があります。「室内を明るくする」、「写したい人に近づく」と効果が上がります。
- 赤目補正で補正してください (📖211)。

カードへの画像の記録時間が長い、または連続撮影速度が遅くなった

- カードをこのカメラで物理フォーマットしてください (📖266)。

連続撮影が途中で止まる

- カメラを保護するため、1回の連続撮影が1000枚程度になると撮影が止まります。一度シャッターボタンから指を離してから撮影しなおしてください。

撮影機能やクイック設定メニューの設定ができない

- 設定できる項目は撮影モードによって変わります。「撮影機能一覧」、「クイック設定メニュー一覧」、「撮影タブメニュー一覧」、「C.Fn タブメニュー一覧」、「撮影機能画面」、「設定タブメニュー一覧」(📖340～📖361)で確認してください。

タッチ AF できない／タッチシャッターできない

- 画面の周辺部分をタッチしてもタッチ AF やタッチシャッターはできません。中央よりの位置をタッチしなおしてください。

動画撮影

正しい撮影時間が表示されない、または中断される

- カードをこのカメラで初期化するか、書き込み速度の速いカードを使ってください。撮影時間が正しく表示されないときも、カードには実際に撮影した時間の動画が記録されています。

バッファ警告 (📖335) がいっぱいまで表示され、撮影が自動的に終わった

- カメラの内部メモリーが少なくなりました。次の方法を試してください。
 - カードをこのカメラで物理フォーマットする (📖266)。
 - 画質を変える (📖80)。
 - 書き込み速度の速いカードを使う。

被写体がゆがんで見える

- 撮影中に被写体がカメラの前を素早く横切ったときは、ゆがんで見えることがあります。これは故障ではありません。

動画が一瞬止まって見える

- レンズによっては明るさが大きく変化した瞬間に画像がフレーム (コマ) 落ちたように見える動画が記録されることがあります。

再生

再生できない

- パソコンでファイル名やフォルダ構造を変えると再生できないことがあります。

再生が中断する、または音声途切れる

- このカメラで物理フォーマットしたカードを使ってください (📖266)。
- 動画を、読み込み速度の遅いカードにコピーして再生すると、再生が一瞬中断することがあります。
- パソコンで動画を再生するとき、パソコンの性能によっては、画像がフレーム (コマ) 落ちたり、音声途切れたりすることがあります。

動画を再生したときに音声が聞こえない

- 音声が小さいときは、音量を調整してください (📖174)。
- [🔊] モード (📖99) では音声が録音されていないため、音は出ません。

パソコン

画像をパソコンに取り込めない

- カメラとパソコンをケーブルでつないで取り込むときは、次の操作で画像の取り込み速度を遅くすることで、問題が解決できることがあります。
 - [▶] ボタンを押して再生モードにしたあと、[MENU] ボタンを押したまま、[▲] と [⊙] を同時に押します。表示された画面で [◀] か [▶] を押して [B] を選び、[⊙] を押します。

Wi-Fi

[▲] を押しても Wi-Fi メニューを表示できない

- 撮影モードからは Wi-Fi メニューを利用できません。再生モードに切り換えてください。
- 再生モードでも、拡大表示、一覧表示（インデックス表示）のとき、Wi-Fi メニューは表示できません。1 枚表示に切り換えてください。また、検索条件を指定して画像を表示しているときも Wi-Fi メニューは表示できません。検索した画像の再生状態を解除してください。
- カメラをプリンターとケーブルでつないでいるときは Wi-Fi メニューは表示できません。ケーブルを外してください。

カメラに接続先を登録できない

- カメラに登録できる接続情報は、あわせて 20 件までです。不要な接続情報を削除してから新しい接続先を登録してください (📖 259)。
- Web サービスの登録は、パソコンまたはスマートフォンを使って設定してください (📖 234)。
- スマートフォンの登録は、スマートフォンに専用アプリケーションをインストールしてから行ってください (📖 219)。
- Wi-Fi の電波状態が悪くなるため、電子レンジや Bluetooth など、2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。
- 本製品と接続先の機器（アクセスポイントなど）を近づけて、その間に物を置かないでください。

アクセスポイントに接続できない

- アクセスポイントが、カメラの対応チャンネル (📖 375) で通信していることを確認してください。また、アクセスポイントのチャンネル選択が自動のときは、カメラが対応するチャンネルのいずれかに手動で固定することをおすすめします。

画像を送信できない

- 接続先の空き容量が不足しています。接続先の空き容量を増やしてから再度送信してください。
- 接続先のカメラに入れているカードのスイッチが「LOCK」側（書き込み禁止）になっています。スイッチを書き込みできる方へ切り換えてください。
- RAW 画像はカメラへ送信したりテレビに表示することはできません。なお、スマートフォンで RAW 画像を選ぶと JPEG 画像として取り込まれます。また、クラウドシンクロでは RAW 画像も送信されます。
- クラウドシンクロでアクセスポイントを経由して画像が送信されたとき (📄252) は、パソコンで画像のファイル名やフォルダ名を変えたり移動したりすると、CANON iMAGE GATEWAY や Web サービスに送信されません。パソコンに送信された画像のファイル名やフォルダ名を変えたり移動したりする前に、CANON iMAGE GATEWAY や Web サービスに画像が送信されていることを確認してください。

画像をリサイズして送信できない

- もとの画像より大きい記録画素数にはリサイズできません。
- 動画はリサイズできません。

画像の送信に時間がかかる／無線接続が切断されてしまう

- 複数の画像を送信すると時間がかかることがあります。送信時に [S2] または [S3] を選択してリサイズすると、送信時間を短くできます (📄251)。
- 動画を送信すると非常に時間がかかることがあります。
- Wi-Fi の電波状態が悪くなるため、電子レンジや Bluetooth など、2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。なお、📶 が表示されていても、画像の送信に時間がかかることがあります。
- 本製品と接続先の機器（アクセスポイントなど）を近づけて、その間に物を置かないでください。

カメラを譲渡または廃棄するので、Wi-Fi の接続情報を消したい

- Wi-Fi の設定を初期化してください (📄261)。

画面に表示されるメッセージ一覧

画面にメッセージが表示されたときは、次のように対応してください。

撮影、再生中

カードがありません

- カードが正しい向きで入っていません。カードを正しい向きに入れます (☞22)。

カードがロックされています

- カードのスイッチが「LOCK」側（書き込み禁止）になっています。スイッチを書き込みできる方へ切り換えます (☞22)。

記録できません

- カードが入っていない状態で撮影しました。撮影するときは、カードを正しい向きで入れます (☞22)。

カードが異常です (☞266)

- 使えるカード (☞3) を初期化して正しい向きに入れても (☞22) 同じ表示が出るときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

カード残量が足りません

- カードの空き容量がないため、撮影 (☞60、☞85、☞109) や編集 (☞206) はできません。画像を消して (☞197) 空き容量を作るか、空き容量のあるカードに交換します (☞22)。

タッチ AF 解除されました

- タッチ AF で選んだ被写体が認識できなくなりました (☞130)。

バッテリーを充電してください (☞20)

画像がありません

- カードに表示できる画像が入っていません。

保護されています (☞191)

認識できない画像です／互換性のない JPEG です／画像が大きすぎます
／再生できません (MOV) ／再生できません (MP4)

- 非対応の画像やデータが壊れている画像は表示できません。
- パソコンで加工したり、ファイル名を変えたりした画像や、このカメラ以外で撮影した画像は、表示できないことがあります。

拡大できない画像です／回転できない画像です／処理できない画像です
／処理できません／指定できない画像です

- パソコンで編集した画像やファイル名を変えた画像、このカメラ以外で撮影した画像は、以下の機能が使えないことがあります。また、動画では、*の機能が使えません。

拡大 (📖188)*、回転 (📖201) *、レーティング (📖204)、編集 (📖206)*、印刷指定 (📖316)*、フォトブック指定 (📖320)*

指定範囲が正しくありません

- 画像を範囲指定 (📖194、📖200、📖319) するとき、始点に終点より遅い番号の画像、または終点に始点より早い番号の画像を指定しようとしていました。

指定枚数の上限を超えています

- 印刷指定 (📖316) やフォトブック指定 (📖320) の画像を 998 枚より多く指定しました。指定する画像を 998 枚以下にします。
- 印刷指定 (📖316) やフォトブック指定 (📖320) を正しく保存できませんでした。指定枚数を減らして、もう一度指定します。
- 保護 (📖191)、消去 (📖197)、レーティング (📖204)、印刷指定 (📖316)、フォトブック指定 (📖320) で、501 枚以上の画像を指定しようとしていました。

ファイル名が作成できません

- カード内の画像を保存するフォルダの番号が最大 (999) になっていて、各フォルダに保存されている画像の番号も最大 (9999) になっているため、フォルダの作成や撮影した画像の記録ができません。MENU (📖51) の [🔍1] タブで [画像番号] を [オートリセット] に変えるか (📖264)、カードを初期化します (📖265)。

レンズエラーを検知しました

- カメラとレンズの通信不良です。レンズの接点を清掃してから正しく取り付けてください。
- 頻繁に表示されるときは故障が考えられますので、別紙の修理受付センターへご相談ください。

カメラがエラーを検知しました (エラー番号)

- 撮影直後に表示されたときは、撮影されていないことがあります。再生して画像を確認してください。
- 頻繁に表示されるときは故障が考えられますので、エラー番号 (Exx) を控えて、別紙の修理受付センターへご相談ください。

ファイルエラー

- パソコンで加工したり、このカメラ以外で撮影した画像は、プリンターにつないでも正しく印刷 (📖309) できないことがあります。

印刷エラー

- 用紙サイズの設定を確認してください (📖313)。正しく設定されていてもこのエラーが表示されるときは、プリンターの電源を入れなおして、もう一度設定してください。

インク吸収体が満杯です

- お使いのキヤノン製インクジェットプリンターに付属のパーソナル機器修理受付センター、またはお近くの修理受付窓口でインク吸収体の交換を依頼してください。

Wi-Fi

接続に失敗しました

- アクセスポイントを認識できませんでした。アクセスポイントの設定を確認してください (📖227)。
- 接続先が見つかりませんでした。カメラの電源を入れ直し、接続をやり直してください。
- 接続先の機器が、接続できる状態になっているか確認してください。

アクセスポイントが特定できません

- 複数のアクセスポイントの WPS ボタンが同時に押されました。接続をやり直してください。

アクセスポイントが見つかりませんでした

- アクセスポイントの電源が入っているか確認してください。
- アクセスポイントを手動で指定している場合は、入力した SSID が正しいか確認してください。

パスワードが正しくありません / Wi-Fi のセキュリティー設定が正しくありません

- アクセスポイントのセキュリティー設定を確認してください (📖226)。

IP アドレスが重複しています

- 他の機器と IP アドレスが重複しないように、IP アドレスを設定し直してください。

接続が切断されました / 受信に失敗しました / 送信に失敗しました

- Wi-Fi の環境が悪い可能性があります。
- 電子レンジや Bluetooth など、2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。
- 本製品と接続先の機器（アクセスポイントなど）を近づけて、その間に物を置かないでください。
- 接続先の機器でエラーが発生していないか確認してください。

送信に失敗しました

カードが異常です

- 初期化したカードを正しい向きで入れても同じ表示が出るときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

受信に失敗しました

カード残量が足りません

- 画像を受信するカメラに入っているカードに空き容量がないため、画像を受信できません。画像を消して空き容量を増やすか、空き容量のあるカードに交換してください。

受信に失敗しました

カードがロックされています

- 画像を受信するカメラに入っているカードのスイッチが「LOCK」側（書き込み禁止）になっています。スイッチを書き込みできる方へ切り換えてください。

受信に失敗しました

ファイル名が作成できません

- 画像を受信するカメラのフォルダ番号が最大値（999）で、かつ画像番号も最大値（9999）のときは受信できません。

サーバーの空き容量が不足しています

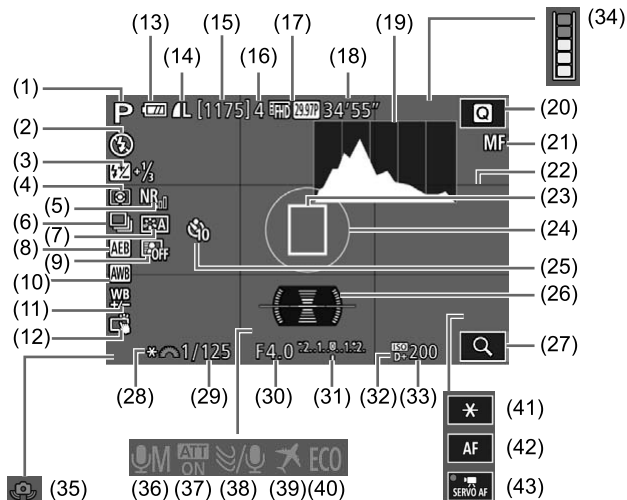
- CANON iIMAGE GATEWAY にアップロードされている画像を削除して、空き容量を増やしてください。
- クラウドシンクロ (☞252) で送信した画像をパソコンに保存してください。

ネットワーク設定を確認してください

- お使いのネットワーク回線を使ってインターネットに接続できるか確認してください。

画面の表示内容一覧

撮影時






- | | |
|-----------------------------------|--------------------------------|
| (1) 撮影モード (340)、シーンアイコン (67) | (9) オートライティングオブティマイザ (117) |
| (2) ストロボモード (138)、LED ライト (298) | (10) ホワイトバランス (119) |
| (3) ストロボ調光補正／発光量 (140、 158) | (11) ホワイトバランス補正 (121) |
| (4) 測光モード (113) | (12) タッチシャッター (72) |
| (5) 高感度撮影時のノイズ低減 (148) | (13) バッテリー残量表示 (336) |
| (6) 連続撮影 (73) | (14) 静止画の画質 (圧縮率・記録画素数) (75) |
| (7) ピクチャースタイル (123) | (15) 撮影可能枚数 |
| (8) AEB (116) | (16) 連続撮影可能枚数 |

- | | |
|----------------------------------|------------------------|
| (17) 動画の画質 (記録画素数・フレームレート) (📖80) | (30) 絞り数値 (📖153) |
| (18) 撮影可能時間 | (31) 露出補正 (📖112) |
| (19) ヒストグラム (📖179) | (32) 高輝度側・階調優先 (📖118) |
| (20) クイック設定メニュー (📖49) | (33) ISO 感度 (📖114) |
| (21) マニュアルフォーカス (📖135) | (34) バッファ警告 (📖328) |
| (22) グリッドライン (📖48) | (35) 手ブレ警告 (📖65) |
| (23) AF フレーム (📖128) | (36) 録音モード (📖107) |
| (24) 測光枠 (📖113) | (37) アッテネーター (📖108) |
| (25) セルフタイマー (📖70) | (38) ウィンドカット (📖108) |
| (26) 水準器 (📖82) | (39) エリア設定 (📖271) |
| (27) 拡大 (📖135) | (40) エコモード (📖268) |
| (28) AE ロック (📖112) | (41) 動画 AE ロック (📖106) |
| (29) シャッタースピード (📖152) | (42) AF/MF 切り換え (📖104) |
| | (43) 動画サーボ AF (📖104) |

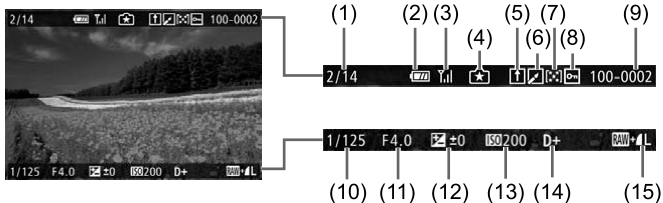
バッテリーの残量表示

バッテリーの状態は、画面にマークやメッセージで表示されます。

画面表示	内容
	十分です。
	少し減っていますが、まだ使えます。
 (赤く点滅)	残量が少なくなってきました。充電してください。
[バッテリーを充電してください]	残量がありません。すぐに充電してください。

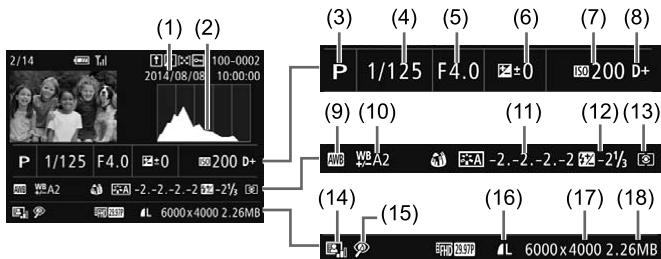
再生時

情報表示 1



- | | |
|------------------------|-------------------------|
| (1) 再生画像 / 対象画像数 | (9) フォルダ番号 - 画像番号 |
| (2) バッテリー残量 | (10) シャッター速度 |
| (3) Wi-Fi 通信状態 | (11) 絞り数値 |
| (4) [★] モードへの設定反映可能 | (12) 露出補正量 |
| (5) クラウドシンクロ送信済み | (13) ISO 感度 |
| (6) 編集済み* ¹ | (14) 高輝度側・階調優先 |
| (7) レーティング | (15) 記録画質* ² |
| (8) 保護 | |
- * 1 クリエイティブフィルター、リサイズ、トリミング、赤目補正を行った画像に表示されます。
- * 2 トリミングした画像では [📏] と表示されます。

情報表示 2



- | | |
|---------------|-----------------------|
| (1) 撮影日時 | (10) ホワイトバランス補正量 |
| (2) ヒストグラム | (11) ピクチャースタイル設定内容 |
| (3) 撮影モード | (12) 調光補正量 |
| (4) シャッター速度 | (13) 測光モード |
| (5) 絞り数値 | (14) オートライティングオブティマイザ |
| (6) 露出補正量 | (15) 赤目補正 |
| (7) ISO 感度 | (16) 記録画質* |
| (8) 高輝度側・階調優先 | (17) 記録画素数 |
| (9) ホワイトバランス | (18) 画像サイズ |

*トリミングした画像では [㊦] と表示されます。

情報表示 3

レンズ名、焦点距離、RGB ヒストグラムが表示されます。なお、長いレンズ名の一部が表示されないことがあります。画面上部の表示は情報表示 2 と同じです。

情報表示 4

ピクチャースタイルの情報が表示されます。画面上部の表示は情報表示 2 と同じです。

情報表示 5

長秒時露光と高感度撮影時のノイズ低減の設定が表示されます。画面上部の表示は情報表示 2 と同じです。

情報表示 6

レンズ光学補正データ、周辺光量補正、色収差補正が表示されます。画面上部の表示は情報表示 2 と同じです。

動画操作パネル一覧

「見る」(📖 174) で表示される動画操作パネルでは、次の操作ができます。

▶	再生
▶	スロー再生 ([◀] か [▶] を押して再生速度を変更) (音声は再生されません) ([◀] か [▶] を押すか [🌀] ホイールを回して再生速度を変更) (音声は再生されません)
◀	前スキップ*または前のチャプター (📖 216) ([🔍] を押したままにすると連続してスキップ)
◀◀	フレーム戻し ([🔍] を押したままにすると早戻し)
▶▶	フレーム送り ([🔍] を押したままにすると早送り)
▶	次スキップ*または次のチャプター (📖 216) ([🔍] を押したままにすると連続送り)
🗑️	チャプター消去 (ダイジェスト動画を選んでいるとき (📖 216) に表示)
✂️	編集 (📖 213)
🖨️	PictBridge 対応プリンターとつないだとき (📖 309) に表示

* 約 4 秒前または後のフレームを表示



- 動画再生中に [◀] か [▶] を押すと、前スキップ / 次スキップまたは前後のチャプターへのジャンプができます。
- スクロールバーをタッチしたり、左右方向にドラッグしたりすると、表示するフレームを変えられます。

















撮影機能一覧

機能	撮影モード	C	M	Av	Tv	P	A+	A-
		露出補正 (M112)	○	○	○	○	○	-
ISO 感度 (M114)	AUTO	*2	○	○	○	○	○	○
	100 ~ 6400	*2	○	○	○	○	-	-
	8000、10000、12800	*2	○	○	○	○	-	-
ストロボ (M138)	オート	*2	-	-	-	○	○	○
	常時発光	*2	○	○	○	○	-	-
	スローシンクロ	*2	-	○	-	○	*3	*3
	発光禁止	*2	○	○	○	○	○	○
外付けストロボの発光 (M297)	*2	○	○	○	○	○	○	
ストロボ調光補正 (M140)	*2	○	○	○	○	-	-	
ストロボ発光量 (M158)	*2	○	○	○	-	-	-	
絞り数値 (M153)	*2	○	○	-	-	-	-	
シャッタースピード (M152)	*2	○	-	○	-	-	-	
バルブ撮影 (M157)	*2	○	-	-	-	-	-	
プログラムシフト (M113)	*2	-	-	-	○	-	-	
AE ロック (M106、M112)、FE ロック (M141)	*2	○	○	○	○	-	-	
動画記録中 AE ロック、露出補正 (M106)	*2	○	○	○	○	-	-	
マニュアルフォーカス (M135) *6	*2	○	○	○	○	-	-	
動画記録中のマニュアルフォーカス切り換え (M104)	*2	○	○	○	○	-	-	
AF 枠の移動 (M130)	*2	○	○	○	○	-	-	

								HDR										
*1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	○	○	-	○	-	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-
	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-
	○	-	-	-	-	*3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-
*4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	*5	*5
	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*5
	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	-	-	○	○	○	○

機能	撮影モード	撮影モード						
		C	M	Av	Tv	P	A+ A-	A+ A-
タッチ AF (📖130)		*2	○	○	○	○	○	○
顔セレクト (📖130)		*2	○	○	○	○	○	○
拡大表示 (📖135)		*2	○	○	○	○	-	-
タッチシャッター (📖72)		*2	○	○	○	○	○	○
動画記録中の静止画撮影 (📖105) *8		*2	○	○	○	○	○	○
情報表示切り換え (📖48、📖111)	カスタム表示 1/ カスタム表示 2/ 情報表示なし	*2	○	○	○	○	○	○
	撮影機能画面	*2	○	○	○	○	-	-

- * 1 [明るさ] で設定
- * 2 設定できる内容は登録されている撮影モードに従う
- * 3 選択不可。ただし状況に応じて [🔧]
- * 4 [明るさ] の設定に連動
- * 5 AE ロックのみ
- * 6 EF レンズまたは EF-S レンズのスイッチで MF に切り替えたときはマニュアルフォーカス
- * 7 撮影のみ可。被写体の指定は不可
- * 8 静止画は、動画と同じ縦横比で撮影

							HDR									
○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	-	-	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
○	○	○	○	○	○	○	○	*7	○	○	-	○	○	○	-	-
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○

○ 選択可能または自動設定 - 選択不可

クイック設定メニュー一覧

機能		撮影モード							
		C	M	Av	Tv	P	A+	A-	
AF 方式 (128)	AF	*1	○	○	○	○	○	○	
	AF	*1	○	○	○	○	-	-	
AF 動作 (132)	ONESHOT	*1	○	○	○	○	○	○	
	SERVO	*1	○	○	○	○	-	-	
記録画質 (75)		「撮影タブメニュー一覧」 (348) を参照してください。							
動画記録 サイズ (80)	[NTSC] 設定時	29.97P / 23.98P	*1	○	○	○	○	○	○
		59.94P / 29.97P	*1	○	○	○	○	○	○
	[PAL] 設定時	25.00P	*1	○	○	○	○	○	○
		50.00P / 25.00P	*1	○	○	○	○	○	○
ドライブモード (73)		*1	○	○	○	○	○	○	
		*1	○	○	○	○	○	-	
セルフタイマー / リモコン (70)		*1	○	○	○	○	○	○	
		*1	○	○	○	○	○	○	
ホワイトバランス (119)		*1	○	○	○	○	○	○	
		*1	○	○	○	○	-	-	
		*1	○	○	○	○	-	-	
WB 補正 (121)		*1	○	○	○	○	-	-	

								HDR									
*2	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○
*2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
*2	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
*2	-	-	-	○	-	-	○	-	○	○	-	○	-	○	-	-	-

*3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
*3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*4	○	○	○	○	○	○
*3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
*3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*4	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○

機能	撮影モード	C	M	Av	Tv	P	A+	
		ピクチャースタイル (123)		*1	○	○	○	○
		*1	○	○	○	○	-	-
	/ / / / / / 	*1	○	○	○	○	-	-
		*1	○	○	○	○	-	-
オートライティングオプティ マイザ (117)		*1	○	○	○	○	-	-
	/	*1	○	○	○	○	-	-
		*1	○	○	○	○	○	○
測光モード (113)		*1	○	○	○	○	○	○
	/ /	*1	○	○	○	○	-	-
静止画アスペクト比 (79)	3:2	*1	○	○	○	○	○	○
	4:3 / 16:9	*1	○	○	○	○	○	-
	1:1	*1	○	○	○	○	○	-

* 1 設定できる内容は登録されている撮影モードに従う

* 2 メニューの 2] タブで設定

* 3 メニューの 5] タブで設定

* 4 縦横比の設定に連動して自動設定 (99)

* 5 [モノクロ] を [OFF] 以外にすると自動設定

* 6 メニューの 1] タブで設定

* 7 動画記録サイズの縦横比に連動して自動設定

							HDR										
-	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
○	-	-	-	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
*5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
○	-	-	-	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
-	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
*6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-	-
*6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*7	*7
*6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-	-

○ 選択可能または自動設定 - 選択不可

撮影タブメニュー一覧

機能		撮影モード		C	M	Av	Tv	P	A+		
1	記録画質 (📖75)	JPEG 画像設定	—	*1	○	○	○	○	○	○	—
				*1	○	○	○	○	○	○	○
		/ / / / / / 	*1	○	○	○	○	○	○	○	—
		RAW 画像設定	—	*1	○	○	○	○	○	○	○
				*1	○	○	○	○	○	○	○
	静止画アスペクト比 (📖79)		[クイック設定メニュー一覧] (📖344) 参照								
	撮影情報表示設定 (📖161)		*1 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○								
	鏡像表示 (📖46)	入 / 切	*1 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○								
	撮影画像の確認時間 (📖84) *2	切 / 2 秒 / 4 秒 / 8 秒 / ホールド	*1 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○								
	タッチシャッター (📖72)	する	*1 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○								
		しない	*1 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○								
	撮影画面表示設定 (📖294) *3	省電力優先	*1 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○								
		画面表示優先	*1 ○ ○ ○ ○ ○ ○ —								

							HDR									
-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○

















○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	-
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-





機能		撮影モード		C	M	Av	Tv	P	A+	A-	
📷 2	AF 動作 (📖132)		「クイック設定メニュー一覧」 (📖344) 参照								
	AF 方式 (📖128)		「クイック設定メニュー一覧」 (📖344) 参照								
	コンティニユアス AF (📖133)	する	*1	○	○	○	○	○	○	○	○
		しない	*1	○	○	○	○	○	○	○	○
	AF+MF (📖134)	入	*1	○	○	○	○	○	-	-	-
		切	*1	○	○	○	○	○	-	-	-
	MF ピーキング設定 (📖137)		*1	○	○	○	○	○	-	-	-
	手ブレ補正 設定 (📖144)	手ブレ補正 *4	切	*1	○	○	○	○	○	-	○
			入	*1	○	○	○	○	○	○	○
		ダイナミック IS *5	1	*1	○	○	○	○	○	○	○
2			*1	○	○	○	○	○	○	○	
レンズ光学補正 (📖146)		*1	○	○	○	○	○	○	○	○	



○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-
○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

機能		撮影モード		C	M	Av	Tv	P	A+	A-	
AEB 設定 (📖116)				*1	○	○	○	○	-	-	
ISO 感 度設定 (📖114)	ISO 感度	「撮影機能一覧」(📖340) 参照									
	ISO オート	*1	○	○	○	○	○	-	-		
高輝度側・階調優先 (📖118)				*1	○	○	○	○	-	-	
オートライティングオプティマイザ (📖117)		「クイック設定メニュー一覧」 (📖344) 参照									
測光モード (📖113)		「クイック設定メニュー一覧」 (📖344) 参照									
3*6 📷 スト ロ ボ 制 御	ストロボの発光 (📖138)		「撮影機能一覧」(📖340) 参照								
	E-TTL II 調光方式 (📖142)	評価調光 / 平均調光	*1	○	○	○	○	○	-	-	
	赤目緩和機能 (📖83)		入 / 切	*1	○	○	○	○	○	○	
	内 蔵 ス ト ロ ボ 機 能 設 定	発光モード (📖158)	E-TTL II	*1	○	○	○	○	○	○	
			マニュアル 発光	*1	○	○	○	-	-	-	
	シンク □設定 (📖142)	先幕シンク □ 後幕シンク □	先幕シンク □	*1	○	○	○	○	○	○	
			後幕シンク □	*1	○	○	○	○	-	-	
	📷調光補正		「撮影機能一覧」(📖340) 参照								
	外部ストロボ機能設定 (📖299)				*1	○	○	○	○	-	-
	外部ストロボカスタム機能設定 (📖301)				*1	○	○	○	○	-	-
設定初期化 (📖143、📖302)				*1	○	○	○	○	-	-	

							HDR										
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-
○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-
○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
*7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

機能		撮影モード	C	M	Av	Tv	P		
 4 *B	MWB 画像選択 (📖120)		*1	○	○	○	○	-	-
	WB 補正 (📖121)		「クイック設定メニュー一覧」 (📖344) 参照						
	ピクチャースタイル (📖123)		「クイック設定メニュー一覧」 (📖344) 参照						
	高感度撮影時のノイズ低減 (📖148)	標準	*1	○	○	○	○	○	○
		しない / 弱め / 強め / マルチショットノイズ低減機能	*1	○	○	○	○	-	-
	長秒時露光のノイズ低減 (📖150)	しない	*1	○	○	○	○	○	○
		自動 / する	*1	○	○	○	○	-	-
	ダイジェスト形式 (📖63)	静止画入り / 静止画なし	-	-	-	-	-	-	○
	AF 自動切り換え (📖69)	する	-	-	-	-	-	○	-
		しない	○	○	○	○	○	○	○
 設定記憶 (📖86)	しない / する	-	-	-	-	-	-	-	

							HDR										
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○

○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-




















○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○ 選択可能または自動設定 - 選択不可

C.Fn タブメニュー一覧

機能		撮影モード	C	M	Av	Tv	P	Ⓐ ⁺
C.Fn I: 露出 ( 163)	ISO 感度拡張	0: しない	*	○	○	○	○	○
		1: する	*	○	○	○	○	-
	セーフティシフト	0: しない	*	○	○	○	○	○
		1: する	*	-	○	○	-	-
C.Fn II: AF ( 163)	AF 補助光 (LED) の投光	0: する	*	○	○	○	○	○
		1: しない	*	○	○	○	○	-
C.Fn III: その他 ( 163)	操作ボタン カスタマイズ	シャッター/AE ロック	*	○	○	○	○	-
		ダイヤル/ホイール	*	○	○	○	○	-
		M-Fn ボタン	*	○	○	○	○	-
		 ボタン	*	○	○	○	○	-
		 ボタン	*	○	○	○	○	-
	レンズなし レリーズ	0: しない	*	○	○	○	○	○
		1: する	*	○	○	○	○	-
	電源オフ時の レンズ収納	0: する	*	○	○	○	○	○
		1: しない	*	○	○	○	○	-
	カスタム機能 (C.Fn) 一括解除 ( 163)			*	○	○	○	○

* 設定できる内容は登録されている撮影モードに従う

								HDR									
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○

○ 選択可能または自動設定 - 選択不可

設定タブメニュー 一覧

タブ	項目	参照ページ
🔊 1	フォルダ作成	📖 264
	画像番号	📖 264
	カードの初期化	📖 265
	ビデオ方式	📖 266
	表示先切り換え* ¹	📖 296
	水準器	📖 82
🔊 2	エコモード	📖 268
	節電	📖 42
	液晶の明るさ	📖 270
	エリア設定	📖 271
	日付 / 時刻	📖 272
	日本語入力設定	📖 57
	言語🗨️	📖 272
🔊 3	電子音	📖 273
	機能ガイド	📖 273
	タッチ操作	📖 273
	センサークリーニング	📖 274
🔊 4	Wi-Fi 設定	📖 217
	認証マーク表示	📖 277
	カスタム撮影モード (C モード)* ²	📖 168
	著作権情報	📖 277
	カメラ設定初期化* ³	📖 279
	ファームウェア📷 Ver.**.* * ⁴	📖 279

* 1 電子ビューファインダー取り付け時のみ表示

* 2 [C] [M] [Av] [Tv] [P] モードでのみ選択可

* 3 [C] モードでは設定不可

* 4 [C] [M] [Av] [Tv] [P] [Pv] [Pv] モードでのみ選択可

マイメニュータブメニュー一覧

タブ	項目	参照ページ
★ 1	マイメニューの設定	📖 170

再生タブメニュー一覧

タブ	項目	参照ページ
▶ 1	保護	📖 191
	回転	📖 201
	消去	📖 197
	レーティング	📖 204
	スライドショー	📖 190
	ダイジェスト動画の一覧 / 再生	📖 180
	画像の検索	📖 184
▶ 2	クリエイティブフィルター	📖 210
	リサイズ	📖 206
	トリミング	📖 208
	赤目補正	📖 211
	印刷設定	📖 311
	フォトブック指定	📖 320
▶ 3	画像切り換え効果	📖 175
	一覧表示の効果	📖 182
	スクロール再生	📖 175
	縦横自動回転	📖 203
	再生開始位置	📖 175
▶ 4	再生情報表示設定	📖 178
	拡大倍率設定 (約)	📖 188

再生モードのクイック設定メニュー一覧

項目	参照ページ
保護	📖 191
回転	📖 201
レーティング	📖 204
画像の検索	📖 184
動画再生	📖 175
ダイジェスト動画のリンク再生	📖 180
印刷	📖 309
リサイズ	📖 206
トリミング	📖 208
クリエイティブフィルター	📖 210
設定を反映して撮影	📖 89

日ごろの取り扱いについて

- カメラは精密機器です。落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- カメラを磁石やモーターなどの、強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像が消えたりすることがあります。
- カメラや画面に水滴や汚れがついたときは、眼鏡拭きなどのやわらかい布で拭き取ってください。ただし、強くこすったり、押ししたりしないでください。
- 有機溶剤を含むクリーナーなどでは、絶対にカメラや画面を拭かないでください。
- レンズにゴミがついているときは、市販のプロアーで吹き飛ばすだけにしてください。汚れがひどいときは、別紙の修理受付センターにご相談ください。
- カメラを寒いところから急に暑いところへ移すと、カメラに結露（水滴）が発生することがあります。カメラを寒いところから暑いところへ移すときは結露の発生を防ぐため、カメラをビニール袋に入れて袋の口を閉じ、周囲の温度になじませてから取り出してください。
- バッテリーはビニール袋などに入れて保管してください。また、バッテリーの性能を維持するために、長期間使わないときは1年に1回程度充電し、使い切ってから保管してください。
- 結露が発生したときは、故障の原因となりますのでカメラを使わないでください。レンズを取り外し、バッテリー／電池、カードをカメラから取り出して、水滴が消えてから、カメラを使ってください。
- カメラやレンズの接点を触らないでください。カメラの動作不良の原因になることがあります。
- レンズを取り外すと撮像素子が見えますが、損傷のおそれがありますので、撮像素子には触らないでください。
- 指などでシャッターの動作を阻害しないでください。故障の原因になります。
- レンズを取り外したときは、接点やレンズ面を傷つけないように、取り付け面を上にして置き、ダストキャップを取り付けてください。

- 撮像素子の前面には、外部から入り込むゴミのほかに、ごくまれにカメラ内部の潤滑剤などが付着することがあります。撮像素子の自動清掃後に汚れが画像に写り込むときは、別紙の修理受付窓口に撮像素子の清掃をお申し付けください。
- カメラ本体とレンズのマウント部分を、定期的に市販のレンズクリーナー（布製）で拭くことをおすすめします。

主な仕様

型式

型式	デジタル一眼ノンフレックス AF・AE カメラ
記録媒体	SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカード * UHS-I 対応
撮像画面サイズ	約 22.3 × 14.9 mm
使用レンズ	キヤノン EF-M、EF*、EF-S* レンズ群 *マウントアダプター EF-EOS M が必要です (有効撮影画角は、表記焦点距離の約 1.6 倍に相当)
レンズマウント	キヤノン EF-M マウント

撮像素子

形式	CMOS センサー
カメラ部有効画素	約 2420 万画素
総画素数	約 2470 万画素
アスペクト比	3 : 2
ダスト除去機能	電源入 / 切時の自動実行、任意実行

記録形式

記録フォーマット	DCF2.0
画像タイプ	JPEG、RAW (14bit、キヤノン独自) RAW+JPEG 同時記録可能
記録画素数	L (ラージ) : 約 2400 万 (6000 x 4000) 画素 M (ミドル) : 約 1240 万 (4320 x 2880) 画素 S1 (スモール 1) : 約 550 万 (2880 x 1920) 画素 S2 (スモール 2) : 約 350 万 (2304 x 1536) 画素 S3 (スモール 3) : 約 35 万 (720 x 480) 画素 RAW (ロウ) : 約 2400 万 (6000 x 4000) 画素

撮影時の画像処理

ピクチャースタイル	オート、スタンダード、ポートレート、風景、ニュートラル、忠実設定、モノクロ、ユーザー設定 1 ~ 3
ホワイトバランス	オート、プリセット (太陽光、日陰、くもり、白熱電球、白色蛍光灯、ストロボ)、マニュアル ホワイトバランス補正可能 *ストロボ色温度情報通信対応
ノイズ低減	長秒時露光、高感度撮影に対応可能
画像の明るさ自動補正	オートライティングオプティマイザにより対応
高輝度側・階調優先	可能
レンズ光学補正	周辺光量補正、色収差補正

オートフォーカス

方式	ハイブリッド CMOS AF III 方式 (1 点 AF、顔 + 追尾優先 AF)
測距点	49 点 (最大)
測距輝度範囲	EV2 ~ 18 (常温・ISO100)
AF 動作	ワンショット AF、サーボ AF
AF 補助光	内蔵 (LED ランプ)

露出制御

測光方式	撮像素子によるリアルタイム測光 評価測光 (384 分割) 部分測光 (撮影画面の約 10%) スポット測光 (撮影画面の約 2%) 中央部重点平均測光
測光輝度範囲	EV1 ~ 20 (常温・ISO100)
露出制御方式	プログラム AE、シャッター優先 AE、絞り優先 AE、マニュアル露出
ISO 感度 (推奨露光指数)	手動設定 ISO100 ~ 12800、拡張時 25600 相当 自動設定可能
露出補正	手動: 1/3 段ステップ ± 3 段 AEB: 1/3 段ステップ ± 2 段 (手動露出補正との併用可能)
AE ロック	自動: ワンショット AF・評価測光時、合焦と同時に AE ロック 手動: AE ロックボタン押しによる

シャッター

形式	電子制御式、フォーカルプレーンシャッター
シャッター速度	1/4000 ~ 30 秒 (すべての撮影モードを合わせて)、バルブ、ストロボ同調最高シャッター速度=1/200 秒

ストロボ

内蔵ストロボ	折りたたみ式手動ポップアップストロボ ガイドナンバー約 5 (ISO100・m) 焦点距離約 18mm (35mm フィルム換算：約 29mm) 相当の画角に対応 充電時間約 3 秒
外部ストロボ	EX シリーズスピードライト (カメラ側操作で機能設定可能)
調光方式	E-TTL II 自動調光
ストロボ調光補正	1/3 段ステップ± 2 段
FE ロック	可能
シンクロ端子	なし

ドライブ、セルフタイマー関係

ドライブモード	1枚撮影、連続撮影
連続撮影速度	最高約 4.2 コマ / 秒
連続撮影可能枚数	JPEG : 約 1000 枚 RAW : 約 5 枚 RAW+JPEG ラージ / ファイン : 約 4 枚 * 当社試験基準 UHS-I 対応 16 GB カードを使用し、当社試験基準 (ISO100、ピクチャースタイル:スタンダード設定時) で測定
セルフタイマーモード	切 / セルフタイマー 2 秒 / セルフタイマー 10 秒 / リモコン

静止画撮影機能

アスペクト比切り換え	3 : 2、4 : 3、16 : 9、1 : 1
フォーカスモード	AF、MF (手動ピント合わせ、約 5 倍 / 10 倍拡大確認可能)、AF + MF
コンティニュアス AF	可能
タッチシャッター	可能
グリッド表示	2 種類
クリエイティブフィルター	撮影モードとして搭載
被写界深度確認	可能

動画撮影機能

記録形式	MP4
映像	MPEG-4 AVC/H.264 可変 (平均) ビットレート方式
音声	MPEG-4 AAC-LC
記録サイズと フレームレート	1920 x 1080 (Full HD) : 29.97fps (NTSC) /23.98fps* (NTSC) /25.00fps (PAL) 1280 x 720 (HD) : 59.94fps (NTSC) /50.00fps (PAL) 640 x 480 (SD) : 29.97fps (NTSC) /25.00fps (PAL) *実際のフレームレートは 23.976fps
ファイルサイズ	1920 x 1080 (29.97fps/23.98fps/ 25.00fps) : 172.6MB/分 1280 x 720 (59.94fps/50.00fps) : 115.4MB/分 640 x 480 (29.97fps/25.00fps) : 22.4MB/分
フォーカス方式	ハイブリッド CMOS AF III 方式* (1点AF、顔 + 追尾優先AF) 手動ピント合わせ *測距輝度範囲 : EV2 ~ 18 (常温・ISO100)
フォーカスモード	AF、MF (手動ピント合わせ)、AF+MF
測光方式	評価測光
サーボ AF	可能
測光輝度範囲	EV 1 ~ 20 (常温・ISO100)
露出制御	動画撮影用プログラム AE、マニュアル露出
露出補正	1/3 段ステップ± 3 段
ISO 感度 (推奨露光指数)	自動露出撮影時 : ISO100 ~ 3200 (Full HD) / ISO100 ~ 6400 (HD/SD) 自動設定 マニュアル露出時 : ISO100 ~ 3200 (Full HD) /ISO100 ~ 6400 (HD/SD) 自動 / 任意設定、 H (ISO 6400 (Full HD) /ISO 12800 (HD/ SD) 相当) の感度拡張が可能

ジオラマ風動画	可能
録音	内蔵ステレオマイク 外部ステレオマイク端子装備 録音レベル調整可能、ウィンドカット機能（内蔵マイク使用時）あり、アッテネーター機能あり
グリッド表示	2種類

液晶モニター

形式	TFT 式カラー液晶モニター
画面サイズ / ドット数	ワイド 3.0 型 (3 : 2) / 約 104 万ドット
角度調整	可能
明るさ調整	手動 (5 段階)
メニュー表示言語	日本語、英語
機能ガイド	表示可能

再生機能

画像表示形式	1枚表示、1枚+情報表示（簡易情報、撮影情報、ヒストグラム、レンズ情報、ピクチャースタイル、ノイズ低減、各種補正データ）、インデックス表示（6/12/42/110枚）、画像回転可能
拡大ズーム倍率	約1.5～10倍
ハイライト警告	ハイライト部分点滅表示
画像送り	1枚/10枚/100枚/検索画像（撮影日/人物/動画/静止画/レーティング）/スクロール再生
画像回転	可能
レーティング	可能
動画再生	可能（液晶モニター、HDMI出力）スピーカー内蔵
画像プロテクト	可能
スライドショー	全画像/画像検索による絞り込み画像 切り換え効果：切/フェード

撮影後の画像処理

同一機種で撮影した画像のみ可能

クリエイティブフィルター	ラフモノクロ、ソフトフォーカス、魚眼風、油彩風、水彩風、トイカメラ風、ジオラマ風
リサイズ	可能
赤目補正	可能

ダイレクトプリント機能

方式	PictBridge (USB and Wireless LAN)
印刷対応画像	JPEG 画像、RAW 画像 (同一機種で撮影した RAW 画像のみ表示用 JPEG を印刷)
印刷指定	DPOF バージョン 1.1 準拠

カスタマイズ機能

カスタム機能	6 種
マイメニュー登録	可能
著作権情報	設定と付加可能

インターフェース

デジタル端子	パソコン通信、ダイレクトプリント用 (Hi-Speed USB 相当)
HDMI ミニ出力端子	タイプ C (解像度自動切り換え)
外部マイク入力端子	Φ 3.5 mm ステレオミニジャック
ワイヤレスリモコン	リモートコントローラー RC-6 に対応

無線 LAN

準拠規格	IEEE 802.11b/g/n
伝送方式	DS-SS 変調方式 (IEEE 802.11b) OFDM 変調方式 (IEEE 802.11g/n)
通信距離	約 15 m * スマートフォンと通信時 * 送受信アンテナ間に障害物、遮蔽物がなく、他の機器との電波干渉がない場合
送信周波数 (中心周波数)	周波数: 2412 ~ 2462 MHz チャンネル: 1 ~ 11ch
接続方法	インフラストラクチャーモード*、カメラアクセスポイントモード、アドホックモード * Wi-Fi Protected Setup 対応
セキュリティ	認証方式: オープン、共有キー、WPA-PSK、WPA2-PSK 暗号化: WEP、TKIP、AES

LAN 機能

カメラ間で画像を送受信	1 枚送信、画像選択送信、リサイズ送信
スマートフォンと通信	スマートフォンで画像の閲覧/操作/受信 NFC 機能で接続したスマートフォンへ画像を送信 スマートフォンでカメラをリモートコントロール
Wi-Fi 対応プリンターで印刷	Wi-Fi 対応プリンターへ印刷画像を送信
Web サービスへ画像を送信	登録した Web サービスへカメラ内の画像やリンク先を送信
メディアプレーヤーで画像閲覧	DLNA 対応メディアプレーヤーを利用して画像を閲覧

電源

使用電池	バッテリーパック LP-E17、1 個 * AC アダプターキット ACK-E17 使用により、AC 駆動可能
撮影可能枚数の目安 (CIPA 試験基準による)	常温 (23℃) 約 250 枚 / 低温 (0℃) 約 185 枚
動画撮影可能時間	常温 (23℃) 約 1 時間 40 分 / 低温 (0℃) 約 1 時間 35 分 (フル充電のバッテリーパック LP-E17 使用時)

大きさ・質量

大きさ	約 110.9 (幅) × 68.0 (高さ) × 44.4 (奥行) mm
質量	約 366 g (CIPA ガイドラインによる: 本体 + バッテリーパック + カード含む) 約 319 g (本体のみ、レンズキャップ除く)

動作環境

使用可能温度	0℃～+ 40℃
使用可能湿度	85%以下

1枚のカードに撮影できる枚数

16 GB のカード使用時

記録画質	ファイルサイズ (約・MB)	撮影可能枚数 (約)	連続撮影可能 枚数(約)
L	9.0	1680	1000
L	5.8	2612	1000
M	5.8	2612	1000
M	3.6	4152	1000
S1	3.0	5061	1000
S1	2.0	7592	1000
S2	1.8	8377	1000
S3	0.3	48592	1000
RAW	30.2	500	5
RAW + JPEG	RAW と JPEG の合計	385	4

- ファイルサイズ、撮影可能枚数、連続撮影可能枚数は、キヤノン試験基準 16 GB カードを使用し、試験基準（アスペクト比 3:2、ISO100、ピクチャースタイル：スタンダード設定時）で測定した時の数値。これらの数値は、条件により異なる
- 連続撮影可能枚数の数値は、当社試験基準 UHS-I 対応、16 GB カード使用時の枚数

1枚のカードに撮影できる時間

16 GB のカード使用時

画質	ファイルサイズ (約)	総記録時間 (約)
4K UHD 29.97P 4K UHD 23.98P 4K UHD 25.00P	172.6 MB/分	1 時間 26 分 5 秒
Full HD 59.94P Full HD 50.00P	115.4 MB/分	2 時間 8 分 27 秒
VGA 29.97P VGA 25.00P	22.4 MB/分	10 時間 22 分 35 秒

- メモリーカードの容量いっぱい、または約 29 分 59 秒のいずれかになるまで連続撮影可能
- カードによっては、29 分 59 秒に満たなくても、撮影が終わることがあります。SD スピードクラス 4 以上のカードを使用することをおすすめします。動画中に静止画を撮影するときはさらに高速なカードが必要です。

内蔵ストロボで撮影できる距離の目安

(約・m)

ISO 感度	EF-M18-55mm F3.5-5.6 IS STM 取り付け時	
	広角側：F3.5	望遠側：F5.6
100	0.5 - 1.4	0.5 - 0.9
200	0.5 - 2.0	0.5 - 1.3
400	0.5 - 2.9	0.5 - 1.8
800	0.7 - 4.0	0.5 - 2.5
1600	1.0 - 5.7	0.6 - 3.6
3200	1.5 - 8.1	0.9 - 5.1
6400	2.1 - 11.4	1.3 - 7.1
12800	2.9 - 16.2	1.8 - 10.1
H(25600相当)	4.1 - 22.9	2.6 - 14.3

バッテリーパック LP-E17

形式	充電式リチウムイオン電池
公称電圧	DC7.2 V
容量	1040 mAh
使用可能温度	充電時：+ 5°C～+ 40°C 撮影時：0°C～+ 40°C
使用可能湿度	85 % 以下
大きさ	約 33.0 (幅) × 14.0 (高さ) × 49.4 (奥行) mm
質量	約 45 g

バッテリーチャージャー LC-E17

充電可能電池	バッテリーパック LP-E17
充電時間	約 2 時間 (常温時)
定格入力	AC100 ~ 240 V (50/60 Hz)
定格出力	DC8.4 V/700 mA
使用可能温度	+ 5°C ~ + 40°C
使用可能湿度	85 %以下
大きさ	約 67.3 (幅) × 27.7 (高さ) × 92.2 (奥行) mm
質量	約 85 g

- 記載データはすべて当社試験基準、または CIPA 試験基準 / ガイドラインによります。
- 大きさ、最大径、長さ、質量は CIPA ガイドラインによります (カメラ本体のみの質量を除く)。
- 製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。
- 他社製のレンズを使用して不具合が生じた場合は、そのレンズメーカーへお問い合わせください。



数字

- 1点 (AF フレームモード) 128
- 1枚表示 37

アルファベット

A

- AC アダプターキット 285, 291
- AEB 撮影 116
- AE ロック 112
- AF フレーム 128
- AF ロック 131
- Av (撮影モード) 153

B

- B/W (モノクロ撮影) 124

C

- CANON iIMAGE GATEWAY 234
- C (撮影モード) 163

D

- DC カプラー 291
- DLNA 218
- DPOF 316

F

- FEB 300
- FE ロック 141

H

- HDMI ケーブル 288, 289

I

- ISO 感度 114

M

- M (撮影モード) 155
- MF (手動ピント合わせ) 135
- MF ピーキング 137
- MWB 120

P

- P (撮影モード) 110
- PictBridge (ピクトブリッジ) 288, 309

Q

- Q メニュー → クイック設定メニュー

R

- RAW 76

S

- SD/SDHC/SDXC カード → カード

T

- Tv (撮影モード) 152

W

- Web サービスへの送信 239
- Wi-Fi 機能 217

かな

あ

- 赤目補正 211
- アクセサリ 284
- 圧縮率 75
- 後幕シンクロ 300

い

色あい (ホワイトバランス) 119
色温度 121
色収差補正 146
色の濃さ 125
印刷 309
インストール 306
インデックス表示 182

う

ウィンドカット
108

え

エコモード 268
エラー表示 331

お

オートモード (撮影モード) 34, 60
オートライティングオプティマイザ
117
お気に入り設定 204
音 264

か

カード 3
海外で使う 271
階調優先 118
回転 201
顔 + 追尾優先 AF 129
拡大表示 188
各部の名称 5
画質 → 圧縮率 (画質)
カスタム機能 163
画像
消す 197
再生 → 見る
表示時間 84
保護 191
画像番号 264
画像を送る 234
画像をパソコンに取り込む 307
家庭用電源 291
カメラ
設定初期化 279
カメラアクセスポイントモード 233
カメラへの送信 247
画面
表示一覧 335, 337
表示言語 27
メニュー → クイック設定メ
ニュー、メニュー

き

魚眼風 (撮影モード) 97
記録画素数 (画像の大きさ) 75
近接撮影 92

- く**
クイック設定メニュー
 一覧 344
 基本操作 49
クラウドシンクロ 252
クリーニング (撮像素子) 274
クリエイティブアシスト (撮影モード)
 86
クリエイティブフィルター (撮影モード)
 94
グリッドライン 48
クローズアップ (撮影モード) 92
- け**
消す 197
検索 184
- こ**
高感度撮影時のノイズ低減 148
故障 324
ゴミの写り込み防止 274
コントラスト 125
- さ**
サーボ AF 132
再生 → 見る
先幕シンクロ 300
撮影
 撮影情報 335
三脚ねじ穴 5
残量表示 336
- し**
ジオラマ風 (撮影モード) 99
シャープネス 125
ジャンプ表示 186
充電 20
周辺光量補正 146
消去 → 消す
常時発光 139
初期状態 → 設定初期化
白黒画像 103
- す**
水彩風 (撮影モード) 98
ズーム 34
ストラップ 20
ストロボ
 常時発光 138
 スローシンクロ 139
 調光補正 140
 発光禁止 139
スポーツ (撮影モード) 92
スマートフォンへの送信 219
スライドショー 190
スローシンクロ 139
- せ**
世界時計 271
接続情報の編集 / 消去 257
設定初期化 279
節電 42
セルフタイマー 70
 2秒セルフタイマー 71
センサークリーニング 274
全消去 200

そ

- 測光方式 113
- ソフトウェア
 - インストール 306
 - 使用説明書 305
 - パソコンへの取り込み 253, 307
- ソフトフォーカス (撮影モード) 102

た

- ダイレクトプリント 374
- タッチ AF 130
- タッチシャッター 72
- タッチパネル 6
- 縦位置画像回転表示 203
- 縦横比を変える 79
- 端子 289, 291, 309

ち

- 忠実設定 123
- 調光補正 140
- 長時間露光 157
- 調色 125
- 長秒時露光のノイズ低減 150

て

- 手ブレ 33
- 手ブレ補正 144
- 手持ち夜景 (撮影モード) 92
- テレビで見る 289
- 電源 284 → AC アダプターキット、→ バッテリー、→ バッテリーチャージャー (充電器)
- 電子ダイヤル 6
- 電池 → 日付/時刻 (日付/時刻用電池)
 - 節電 42

と

- トイカメラ風 (撮影モード) 101
- 動画
 - 画質 (記録画素数 / フレーム数) 75
 - 編集 213
- トリミング (画像の切り抜き) 208, 312

に

- 日時 → 日付/時刻
- ニュートラル 123

ね

- ネックストラップ → ストラップ

の

- ノイズ低減
 - 高感度 148
 - 長秒時 150

は

- ハイダイナミックレンジ (撮影モード) 95
- パソコンへの取り込み 253, 307
- 発光禁止 139
- 発光モード 299
- バッテリー
 - エコモード 268
 - 残量表示 336
 - 充電 20
 - 節電 42
- バッテリーチャージャー (充電器) 2, 284
- バルブ撮影 157

ひ

- ピクチャースタイル 123
- ピクトブリッジ (PictBridge) 288, 309
- 日付/時刻
 - 世界時計 271
 - 設定 24
 - 日付/時刻用電池 26
 - 変更 26
- 表示一覧 335, 337
- 表示言語 27
- 表示時間 84
- ピント合わせ
 - AF フレーム 128
 - AF ロック 131
 - MF ピーキング 137
 - サーボ AF 132
 - タッチ AF 130
- ピント位置拡大 135

ふ

- ファームウェア 279
- フィルター効果 125
- 風景 123
- 風景 (撮影モード) 91
- フォーカスゾーン
 - マニュアルフォーカス 135
- フォーカスロック 129
- フォトブック指定 320
- 付属品 2
- プラスムービーオート (撮影モード) 63
- プリント → 印刷
- プログラム AE 110

へ

編集

- 赤目補正 211
- トリミング (画像の切り抜き) 208
- リサイズ (画像を小さくする) 206

ほ

- ポートレート (撮影モード) 91
- 保護 191
- ホワイトバランス (色あい) 119

ま

- マクロ撮影 92
- マニュアルフォーカス 135
- マニュアルホワイトバランス 120
- マルチショットノイズ低減機能 148

み

- 見る 37
 - 1 枚表示 37
 - インデックス表示 182
 - 拡大表示 188
 - 画像の検索 184
 - ジャンプ表示 186
 - スライドショー 190
 - テレビで見る 289

め

- メニュー
 - 一覧 340
 - 基本操作 51
- メモリーカード → カード

ゆ

- 油彩風 (撮影モード) 97

ら

ラフモノクロ（撮影モード） 103

ランプ 58, 83

り

リサイズ（画像を小さくする） 206

リストストラップ → ストラップ

リモート撮影 255

料理（撮影モード） 93

れ

レーティング 204

レンズ 28

 ロック解除 29

ろ

露出

 AEロック 112

 FEロック 141

 補正 112

わ

ワイヤレスストロボ撮影 299

Wi-Fi (無線 LAN) について

- 本製品には、電波法に基づく認証を受けた無線装置が内蔵されており、証明ラベルは無線設備に添付されています。モデルナンバーは、PC2064 です。
- 無線 LAN が使える国や地域について
 - 無線 LAN 機能の使用は、国や地域ごとの法令等により規制されていることがあるため、違反すると罰せられることがあります。そのため、無線 LAN 機能が使用できる国や地域については、キヤノンの Web サイトで確認してください。
なお、それ以外の国や地域で無線 LAN 機能を使用した際のトラブル等については、弊社は一切責任を負いかねます。
- 次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解、または改造すること
 - 本製品上の証明ラベルをはがすこと
- 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により、戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。
- 本製品には、米国製暗号化ソフトウェアが搭載されているため、米国輸出管理規制（EAR）の対象となり、米国禁輸国への輸出や持ち出しはできません。
- ご使用になる無線 LAN の設定については、必ず控えを取ってください。本製品に登録した無線 LAN の設定は、誤操作、電波や静電気の影響、事故、故障などによって変質したり消失したりする場合があります。万一に備え、無線 LAN の設定は控えを取っておいてください。弊社の責によらずに内容の変質や消失が生じた結果による、直接または間接の損害および逸失利益について、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本製品を譲渡、廃棄、または修理の依頼をするときは、必要に応じて無線 LAN の設定の控えを取った上で、無線 LAN の設定を初期化（消去）してください。
- 紛失や盗難などによる損害の補償はいたしかねます。
紛失や盗難などによって、本製品に登録されている接続先への不正アクセス・利用がされるなどの結果、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。

- 本書に記載している使用方法をお守りください。
本製品の無線 LAN 機能は、この使用説明書に記載している範囲内でお使いください。それ以外の用途や用法で使用した結果、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 医療機器や電子機器の近くでは、本製品の無線 LAN 機能は使用しないでください。
無線 LAN 機能が医療機器や電子機器の動作に影響を及ぼす恐れがあります。

電波干渉について

- 本製品は、他の電波を発する機器から、電波干渉を受ける場合があります。これらの機器からできるだけ遠く離すか、ご利用時間を分けるなどして、電波干渉を避けて使用してください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、およびアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- ① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、および特定小電力無線局、およびアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- ② 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、お客様相談センターにご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- ③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談センターへお問い合わせください。

2.4 DS/OF 4

この表示は 2.4 GHz 帯を使用している無線機器であることを意味します。

- 本製品は、他の電波を発する機器から、電波干渉を受ける場合があります。これらの機器からできるだけ遠く離すか、ご利用時間を分けるなどして、電波干渉を避けて使用してください。

セキュリティについて

Wi-Fi は電波を使って通信するため、LAN ケーブルを使う有線 LAN よりもセキュリティに注意する必要があります。

Wi-Fi をお使いになるときは、次の点に注意してください。

- 使用権限があるネットワークだけを使う
本製品は、周辺の Wi-Fi ネットワークを検索して画面に表示します。そのため、使用する権限がない（知らない）ネットワーク名も表示されることがあります。しかし、それらのネットワークに接続しようとしたり接続して利用したりすると、不正アクセスと見なされる恐れがあります。使用する権限があるネットワークだけを利用し、それ以外のネットワークには接続しないように注意してください。

また、セキュリティに関する設定が適切に行われていないときは、次のような問題が発生する恐れがありますので注意してください。

- 通信の傍受
悪意ある第三者によって Wi-Fi の電波を傍受され、通信内容を盗み見られる恐れがあります。
- ネットワークへの不正アクセス
悪意ある第三者によって、お使いのネットワークに不正に侵入され、情報の盗難・改ざん・破壊をされるといった被害に遭う恐れがあります。また、別の人物を装ってネットワークに不正な情報を流す「なりすまし」通信がされたり、「踏み台」と呼ばれる別の不正アクセスへの中継地点にされたりする恐れもあります。

こうした問題が発生する可能性を少なくするため、Wi-Fi のセキュリティを確保するための仕組みや機能を必ず使ってください。

Wi-Fi のセキュリティについて理解し、利便性とリスクのバランスをよく考えたセキュリティに関する設定を行った上で、本製品の Wi-Fi 機能をお使いいただくことをおすすめします。



この製品は、Wi-Fi 経由での PictBridge（ピクトブリッジ）でプリンターとつないで印刷できます。PictBridge とは、デジタルカメラとプリンターなどの対応機器を直接つないでかんたんに印刷するための規格です。なお、ネットワーク環境でも PictBridge を利用できる DPS over IP（ディーピーエス オーバーアイピー）という規格が制定され、本製品はその規格に対応しています。

Complies with
IDA Standards
DB00671

シンガポール IDA 規格の認可済み WLAN Module が組み込まれています。

注意

指定外のバッテリーを使うと、爆発などの危険があります。使用済みのバッテリーは、各自治体のルールにしたがって処分してください。



Li-ion

- 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

ホームページ：<http://www.jbrc.com>

- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

妨害電波自主規制について

この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。カメラユーザーガイドにしたがって正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

アフターサービス期間について

本製品のアフターサービス期間は、製品の製造打切り後 7 年間です。
なお、弊社の判断によりアフターサービスとして同一機種または同程度の仕様の製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応 OS が変更になることがあります。

商標、ライセンスについて

- DCF は、(社) 電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
- Microsoft、Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh、Mac OS は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。
- App Store、iPhone、iPad は、Apple Inc. の商標です。
- SDXC ロゴは SD-3C, LLC. の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- Wi-Fi[®]、Wi-Fi Alliance[®]、WPA[™]、WPA2[™] および Wi-Fi Protected Setup[™] は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- N-Mark は米国およびその他の国における NFC Forum, Inc. の商標または登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。
- 本機器は、Microsoft からライセンスされた exFAT 技術を搭載しています。
- This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

このガイドについて

- 内容を無断で転載することは、禁止されています。
- 記載されている数値はすべて当社試験基準によります。
- 内容および製品の仕様や外観を将来予告なく変更することがあります。
- イラストや画面表示は、実際と一部異なることがあります。
- 本製品を運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

この使用説明書に記載しているレンズ、アクセサリは、2014年9月時点のものです。それ以降に発売されたレンズ、アクセサリとの組み合わせにつきましては、お客様相談センターにお問い合わせください。



キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター **050-555-90002**

受付時間：9：00～18：00

(1月1日～1月3日は休ませていただきます)

- ※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9556 をご利用ください。
- ※ IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
- ※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

修理受付窓口

保証書でご確認ください。

キヤノンデジタルカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

一眼レフ/ミラーレスカメラ製品情報
canon.jp/eos

キヤノンサポートページ
<http://canon.jp/support>

CANON iIMAGE GATEWAY
<http://www.imagegateway.net>

リチウムイオン・バッテリーパック、チャージャーの「模倣品」にご注意下さい

国内・国外を問わず、ネットオークションでリチウムイオン・バッテリーパック、チャージャーの「模倣品」が頻繁に出回っておりますので十分にご注意ください。詳細は以下のURLよりご覧ください。

<http://cweb.canon.jp/e-support/info/battery-anno.html>



Li-ion

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。